

**NEC**

NECソリューションイノベータ

# InfoCage FileShell

NEC File Protection Edition

## 利用ガイド



InfoCage FileShell

Version 6.3

NEC File Protection Edition **利用ガイド**

(0630RU01)

# はじめに

このたびは、NEC ソリューションイノベータ株式会社の InfoCage FileShell をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

InfoCage FileShell は、電子ファイル自身にセキュリティ情報を持たせた暗号化をおこなうことで、利用者の操作性を損なうことなく重要な情報を永続的に保護する機密情報保護ソフトウェアです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、製品の取り扱いを十分にご理解ください。

## ■ 商標について

- ・ Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ InfoCage は NEC ソリューションイノベータ株式会社の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

## ■ 免責事項

本書および本システムは、ライセンス契約に基づいて使用することができます。

ライセンス契約で明示的に定められていないかぎり、NEC ソリューションイノベータ株式会社は製品、およびその関連文書について、明示的にも暗黙的にも、商品性に関する保証、特定目的への適合性に関する保証、取り扱い、使用、または取引行為に伴う保証について一切の責任を負いません。

本書中のサンプル画面で使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

## 本書について

本書は本製品を正しく運用し、効果的に活用するための手引きです。運用を開始する前や運用中に、機能・操作を確認するためにご利用ください。




本書は、InfoCage FileShell NEC File Protection Edition(以降は「NFP」と記載します)の利用者を対象としています。

また、本書は操作手順や画面の表示を主に Windows 10 を例に記載しています。適宜、お使いのオペレーティングシステムに読みかえてください。

ご注意：本書の一部、または全部を流用・複写することはできません。

## 本書中の記号について

本書中では、以下の記号を使用しています。これらの記号の意味を正しくご理解になり、本書をお読みください。

記 号	説 明
 <b>Notice</b>	システムの取り扱いで守らなければならない事柄や特に注意すべき点、確認すべき点を説明します。
 <b>参照</b>	関連する内容が記載されているページを紹介しています。
 <b>Operation</b>	操作手順を示します。

## 本書の記載内容について

本書では、主に FileShell 利用者が、NFP を使用する場合の FileShell クライアントの設定、操作について記載しています。上記以外の操作方法については、説明文中の参照先マニュアルを確認してください。

なお、本書中で説明している「FileShell 管理者」および「FileShell 利用者」のそれぞれの役割は、以下のとおりです。

### ● FileShell 管理者

NFP の運用に関する作業をおこないます。

- NFP 権利ポリシーテンプレートの管理
- FileShell ポリシーの管理
- クライアントインストーラーの作成

### ● FileShell 利用者

FileShell 管理者から配布されたクライアントインストーラーを PC にインストールし、FileShell クライアントを使用します。また、状況に応じて FileShell 管理者から配布された FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーテンプレートを FileShell クライアントに適用します。

## 参考資料について

本書中では、参考資料として以下のガイドを参照するように説明しています。

項 目	ガ イ ド 名	番 号
クライアント利用ガイド	InfoCage FileShell クライアント利用ガイド	0630U <b>nn</b>

\* 末尾の「**nn**」には、「01」、「02」などの数字(版数)が入ります。  
版数は、プログラムやマニュアルに変更があった場合に更新されます。

## 用語の定義

本書では、システム操作の説明に以下のような用語を用いています。本書を確認するにあたって前提としてご理解ください。

用 語	説 明
NEC File Protection Edition(NFP)	オンプレミスまたはクラウドの RMS 基盤を使用せず、NEC 独自の方式により「ファイルの保護」や「利用の制限(権限による制御)」などをおこなう仕組みのことです。 「NFP 権利ポリシー認証機能」が利用できるサーバー認証版と、サーバーレスでも利用可能な鍵配布版の 2 種類があります。
NFP 権利ポリシーテンプレート / NFP 権利ポリシーテンプレート	NFP で、ファイルを保護/保護解除するために使用する「共通鍵」やファイル利用時の「権限」および有効期限の設定が埋め込まれた情報のことです。
NFP 権利ポリシーファイル	NFP 権利ポリシーテンプレートの情報が記録されたファイル(xml 形式)のことです。
NFP 権利ポリシー認証機能	NFP 形式で保護されたファイルを閲覧・編集する際に、ユーザーが保護ファイルに対してアクセスする権限を持っているかを FileShell サーバーに確認し、認証する機能です。
権限	NFP 権利ポリシーテンプレートに含まれる、ファイルの制御に関する情報のことです。
共通鍵	NFP 権利ポリシーテンプレートに含まれる、ファイルの保護/保護解除する際に使用される情報のことです。
公開鍵	FileShell 利用者が NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 管理者に要求する際に生成するファイル(req 形式)のことです。
パスワード認証	パスワード暗号化された NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 利用者の PC でインポートする際におこなわれる認証のことです。
公開鍵認証	公開鍵暗号化された NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 利用者の PC でインポートする際におこなわれる認証のことです。
インポート	暗号化された NFP 権利ポリシーファイルをパスワード認証または公開鍵認証により復号し、使用可能な状態にすることです。 インポートが完了すると、NFP 権利ポリシーテンプレートに設定された権限に基づいてファイルの保護/保護解除を実行できるようになります。
エクスポート	FileShell 管理者の PC などで作成した NFP 権利ポリシーテンプレートを FileShell 利用者向けに NFP 権利ポリシーファイルとして生成することです。 エクスポートには、パスワード暗号化と公開鍵暗号化の 2 つの方法があります。
バックアップ	FileShell 管理者の PC などで作成した NFP 権利ポリシーテンプレートをバックアップ用途で NFP 権利ポリシーファイルとして生成することです。
FileShell ポリシー	FileShell の動作に必要な、NFP 権利ポリシーテンプレート、保護設定およびアプリケーション設定などの情報のことです。
FileShell 設定ファイル	FileShell ポリシーに含まれる情報が記録されたファイル(fsconf 形式)のことです。

# 目次

---

<b>第 1 章</b>	<b>NEC File Protection Edition について</b>	<b>1</b>
1.1	特長	1
1.2	機能	1
1.3	権限について	2
1.4	保護に使用する NFP 権利ポリシーテンプレートについて	3
<b>第 2 章</b>	<b>FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーテンプレートの適用</b>	<b>4</b>
2.1	FileShell サーバーを使用せずにポリシーを適用する	4
2.1.1	FileShell ポリシーを FileShell 利用者の PC に適用する	5
2.1.2	NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 利用者の PC に適用する	6
<b>第 3 章</b>	<b>FileShell クライアントの操作</b>	<b>8</b>
3.1	クライアントでできる主な操作・機能	8
3.1.1	サーバー認証版 NFP のユーザー認証について	8
3.2	保護ファイルかどうかの確認	9
3.2.1	アイコンオーバーレイの鍵アイコンマークでの確認	9
3.2.2	エクスプローラーのプロパティ画面での確認	10
3.3	保護されたファイルを開く	11
3.3.1	保護ファイルを開く前の確認について	12
3.3.2	保護ファイルの操作制限について	13
3.4	エクスプローラーの右クリックメニューから可能な操作	14
3.4.1	保護	14
3.4.2	保護（権利ポリシーと保護形式を選択）	16
3.4.3	アクセス権限の確認	16
3.4.4	保護解除	19
3.5	タスクトレイアイコンから可能な操作	21
3.5.1	巡回ツール	21
3.5.2	更新の確認	22
3.5.3	バージョン情報	24
3.6	クライアント設定	25
3.6.1	クライアント設定画面（メニュー）	25
3.6.2	サーバー設定	26
3.6.3	クライアント設定画面での共通操作	30
3.6.4	対象ファイル	31
3.6.5	権利ポリシーテンプレート設定	33
3.6.6	手動適用	59
3.6.7	自動適用	62

3.6.8	共有フォルダー保護.....	66
3.6.9	巡回ツール設定 .....	70
3.6.10	キャッシュ管理.....	76
3.6.11	アプリケーション設定 .....	79
3.6.12	メンテナンス設定ツール .....	85
3.6.13	表示設定.....	87
3.6.14	バージョン情報 .....	90
3.7	ファイルの保護・保護解除結果の詳細確認 .....	91
3.8	NFP 権利ポリシーテンプレートのパスワード認証動作 .....	92
3.9	有効期限設定時の動作 .....	93
<b>第 4 章</b>	<b>その他 .....</b>	<b>95</b>
4.1	NFP 権利ポリシー確認ツールについて .....	95

# 第1章

# NEC File Protection Edition について

## 1.1 特長

NEC File Protection Edition(NFP)は、NEC 独自の方式により、「ファイルの保護」や「利用の制限(権限による制御)」などの運用を可能とします。

なお、NFP では、オンプレミスまたはクラウドの RMS 基盤を必要としません。

## 1.2 機能

NFP には、次のような機能があります。

### ● 重要なファイルの保護

ファイルを保護する機能です。

FileShell クライアントがインストールされている PC のローカルディスクや共有フォルダーに新規作成、更新されたファイルは、NFP 権利ポリシーテンプレートに基づき自動的に保護されます。ファイルを手動で保護することも可能です。

### ● 権限による操作の制御

NFP 権利ポリシーテンプレートにより保護されたファイルをその権限に基づいて操作を制限する機能です。

### ● 有効期限設定による閲覧制限

ファイルを開くことができる有効期限を設定する機能です。配布された NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限が過ぎた場合、この NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されているファイルを開くことができなくなります。

保護されたファイルを社外(取引先や遠隔地の拠点など)へ送付する際に閲覧期間を制限する、部署異動などの際に対象者のクライアント内に残っているファイルを NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限超過後は開けないようにするなどの運用が可能です。

なお、有効期限を設定なし(無期限)にすることも可能です。

### ● NFP 権利ポリシーテンプレートの管理

NFP 権利ポリシーテンプレートの管理に FileShell サーバーを利用する場合、FileShell 管理者は FileShell サーバーにて、FileShell 利用者の PC へ適用する保護ルール(ポリシー)を一元管理でき、FileShell 利用者の PC に自動配布、自動適用できます。

NFP 権利ポリシーテンプレートの管理に FileShell サーバーを利用しない場合は、FileShell 管理者が、NFP 権利ポリシーファイルを新規作成／適用／配布するためにファイルとしてエクスポートし、管理します。

この場合、エクスポートした NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 利用者の環境へインポートすることで、NFP 権利ポリシーテンプレートの設定を新規に適用／保持している設定を更新します。

いずれの場合も、FileShell 管理者が NFP 権利ポリシーファイルをエクスポートし、社内、または社外(取引先や遠隔地の拠点など)に送付することで、保護されたファイルをやりとりすることが可能です。

NFP 権利ポリシーファイルのエクスポートは、FileShell 管理者やエクスポートを許可されたユーザーがパスワードを設定しエクスポートをおこなう方法と、NFP 権利ポリシーテンプレートの要求者が FileShell 管理者やエクスポートを許可されたユーザーに公開鍵を送付し、その情報を元にエクスポートをおこなう方法の 2 種類があります。



## 1.3 権限について

設定可能な権限について説明します。

権限には以下の種類があります。

基本権限	権限の内容
フルコントロール	閲覧権限／編集権限に加え、印刷／抽出／保護の解除をおこなうことができます。 *「作成者フルコントロール」が設定されている場合、ファイルを保護したユーザーは、そのファイルに対しこの権限を保有します。
編集	閲覧権限に加え、ファイルの編集／保存ができます。保護の解除はできません。
閲覧	ファイルの閲覧のみできます。ファイルの編集はできません。
印刷	ファイルの印刷をおこなうことができます。
抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ファイルの内容をクリップボードコピー (Ctrl+C 等) により取得できます。</li> <li>•PrintScreen キーによる画面のキャプチャを取得できます。</li> </ul>

権限	操作				
	閲覧	編集	印刷	抽出	保護解除
フルコントロール	○	○	○	○	○
編集	○	○	×	×	×
閲覧	○	×	×	×	×
印刷	○	×	○	×	×
抽出	○	×	×	○	×

\* 「フルコントロール」権限のユーザー以外の場合でも、自身で保護をおこなったファイルにかぎり、保護解除をおこなうことが可能となる、「作成者フルコントロール」が FileShell 管理者により設定されている場合があります。

「作成者フルコントロール」の設定は、[クライアント設定]の[権利ポリシーテンプレート設定]から確認することができます。



[権利ポリシーテンプレート設定]からの確認方法については、「3.6.5.12 詳細表示」を参照してください。

\* NFP 権利ポリシーテンプレートに有効期限が設定されており、かつ有効期限を超過した場合は、この NFP 権利ポリシーテンプレートを使用したファイルに対する操作(ファイルの保護、保護ファイルの保護解除および利用)がおこなえなくなります。

ただし、NFP 権利ポリシーテンプレートに「作成者フルコントロール」が設定されている場合、自身で保護をおこなったファイルは、有効期限を超過した場合でも操作が可能です。



有効期限については、「3.9 有効期限設定時の動作」を参照してください。

## 1.4 保護に使用する NFP 権利ポリシーテンプレートについて

ファイルの保護に使用する NFP 権利ポリシーテンプレートには、以下の種類があります。

### ● サーバー認証版

V6.1 以上の FileShell でサポートする NFP 権利ポリシーテンプレートです。

サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルは、FileShell サーバーと通信可能な環境(オンライン状態)で 사용할 ことができます。

また、管理者により、「オフラインで利用できる期間」が設定されている場合には、その設定範囲内でオフライン状態でのファイルの閲覧・編集が可能です。

### ● 鍵配布版

V4.0 以上の FileShell でサポートする NFP 権利ポリシーテンプレートです。

鍵配布版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルは、保護に使用された NFP 権利ポリシーテンプレートが適用されている環境で、オンライン／オフラインを問わず 사용할 ことができます。

- \* ファイルがどの NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されているかを確認する方法については、「3.2 保護ファイルかどうかの確認」を参照してください。
- \* クライアントにインポートされている NFP 権利ポリシーテンプレートの確認方法については、「3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定」を参照してください。

## 第2章

## FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーテンプレートの適用

FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーテンプレートを適用する手順について説明します。

FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーファイルをクライアントに適用するには、運用形態により以下 2 つの方法があります。

\* ご利用の環境の運用形態については FileShell 管理者に確認してください。

### ● FileShell サーバーをご利用の場合

FileShell サーバーのポリシー配信機能で適用します。この場合、ポリシーの適用に際し FileShell 利用者が特に操作をおこなう必要はありません。

\* FileShell サーバーへの接続設定については、FileShell 管理者に確認してください。

### ● FileShell サーバーをご利用でない場合

FileShell 管理者から配布された FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーファイルを、FileShell クライアントのインポート機能で適用します。適用方法については、「2.1 FileShell サーバーを使用せずにポリシーを適用する」を参照してください。

## 2.1 FileShell サーバーを使用せずにポリシーを適用する

FileShell サーバーをご利用でない環境で、FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーテンプレートを適用する方法について説明します。

\* FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーテンプレートは FileShell 管理者により、FileShell クライアントのインストーラーに添付され、インストール時に適用されている場合があります。本章の手順での各ポリシー適用の可否については、FileShell 管理者に確認してください。

FileShell ポリシーおよび NFP 権利ポリシーテンプレートの概要は以下のとおりです。

### ● FileShell ポリシー

「FileShell ポリシー」には、FileShell の動作に必要な、NFP 権利ポリシーテンプレート、保護設定およびアプリケーション設定などの情報が記録されています。

配布の際は、FileShell 管理者が FileShell ポリシーから FileShell 設定ファイル(fsconf 形式)を作成し、FileShell 利用者に配布します。

FileShell 利用者は FileShell 管理者から配布された FileShell 設定ファイルを[クライアント設定]からインポートします。



FileShell ポリシーの適用については、「2.1.1 FileShell ポリシーを FileShell 利用者の PC に適用する」を参照してください。

### ● NFP 権利ポリシーテンプレート

「NFP 権利ポリシーテンプレート」には、NFP 権利ポリシーテンプレートの名前と説明、保護/保護解除に使用する「共通鍵」やファイル利用時の「権限」および有効期限の設定情報が含まれています。

FileShell 管理者が NFP 権利ポリシーテンプレートから NFP 権利ポリシーファイル(xml 形式)をエクスポートで作成し、これを FileShell 利用者に配布します。

FileShell 利用者は、FileShell 管理者から配布された NFP 権利ポリシーファイルを[クライアント設定]からインポートします。



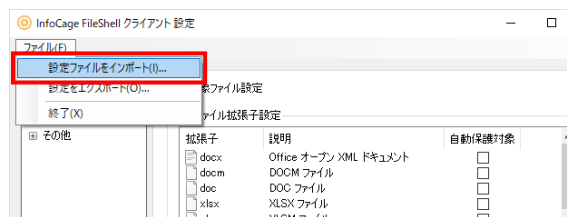
NFP 権利ポリシーテンプレートの適用については、「2.1.2 NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 利用者の PC に適用する」を参照してください。

### 2.1.1 FileShell ポリシーを FileShell 利用者の PC に適用する

FileShell サーバーをご利用でない環境で、FileShell 設定ファイルを適用する手順を説明します。

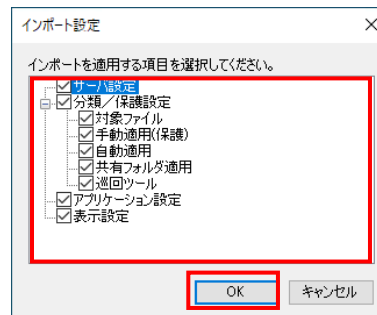


1. FileShell 管理者から配布された FileShell 設定ファイルをインポートします。  
タスクトレイからクライアント設定を起動し、[ファイル]メニューから、[設定ファイルをインポート]をクリックします。

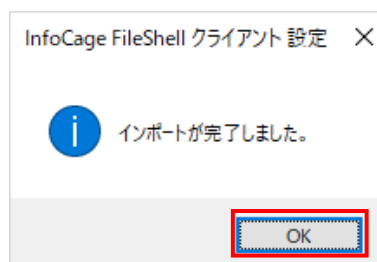


2. [開く]画面が表示されます。  
FileShell 管理者から配布された FileShell 設定ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
3. インポート設定画面でインポートを適用する項目のみチェックを ON にし、[OK]をクリックします。

\* デフォルトはすべてチェック ON です。  
適用する項目については、FileShell 管理者に確認してください。



4. インポート完了画面が表示されます。[OK]をクリックします。



## 5. クライアント設定を終了します。



FileShell設定ファイルのインポートについては、「3.6 クライアント設定」の項目を参照してください。

- \* 「FileShell 設定ファイル」のインポートが完了すると、インポートをおこなったユーザーにのみ設定が適用されます(同一 PC 内の他のユーザーには適用されません)。同一 PC 内の他のユーザーにも NFP 権利ポリシーテンプレートを適用する場合は、ユーザーごとにインポートをおこなう必要があります。
- \* FileShell 設定ファイルのインポートをおこなった場合、NFP 権利ポリシーテンプレートは「未変換」の状態となります。パスワード認証が完了していないため、この状態のままでは使用できません。この NFP 権利ポリシーテンプレートを使用してファイルの保護/保護解除などの操作をおこなう場合は、パスワード認証をおこない、使用可能な状態にする必要があります。



NFP 権利ポリシーテンプレートのインポート動作については、「3.8 NFP 権利ポリシーテンプレートのパスワード認証動作」を参照してください。

以上で、FileShell 設定ファイルを適用する手順は、終了です。

## 2.1.2 NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 利用者の PC に適用する

FileShell サーバーをご利用でない環境で、NFP 権利ポリシーファイルを適用する方法を説明します。

NFP 権利ポリシーファイルを適用するには、インポート機能を使用します。  
適用する方法には、以下の種類があります。

- FileShell 管理者が設定したパスワードを入力して適用
- NFP 権利ポリシーテンプレートを要求するために「公開鍵」を出力して FileShell 管理者に送付し、これをもとにエクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルを適用

### 2.1.2.1 パスワードを入力して NFP 権利ポリシーファイルを適用する

FileShell 管理者が設定したパスワードを入力して NFP 権利ポリシーファイルを適用する手順を説明します。



1. FileShell 管理者は NFP 権利ポリシーファイルをパスワードを設定してエクスポートします。



NFP 権利ポリシーファイルのエクスポート方法については、「3.6.5.7 エクスポート (パスワード暗号)」を参照してください。

2. FileShell 管理者は手順 **1** でエクスポートした NFP 権利ポリシーファイルとパスワードを FileShell 利用者に配布します。

- \* NFP 権利ポリシーファイルを配布する場合、情報漏えい防止の観点から、アクセス制限された共有フォルダーを使用するなどの適切な方法でおこなってください。  
特に、パスワード設定した NFP 権利ポリシーファイルを配布する場合、パスワードは、外部に漏洩しないよう安全に管理をしてください。

### 3. FileShell 管理者から配布された NFP 権利ポリシーファイルをインポートします。



NFP 権利ポリシーファイルのインポートについては、「3.6.5.5 インポート（パスワード認証）」を参照してください。

- \* インポートの際、パスワード認証画面が表示されます。  
FileShell 管理者から通知されたパスワードを入力してください。

### 4. NFP 権利ポリシーテンプレートが PC に適用されます。

- \* インポートが完了すると、NFP 権利ポリシーテンプレートに設定された権限に基づいてファイルの保護/保護解除を実行できるようになります。



権限については、「1.3 権限について」を参照してください。



権限の確認方法については、「3.4.3 アクセス権限の確認」を参照してください。

- \* 設定は、インポートをおこなったユーザーにのみ適用されます(同一 PC 内の他のユーザーには適用されません)。  
同一 PC 内の他のユーザーにも NFP 権利ポリシーテンプレートを適用する場合は、ユーザーごとにインポートをおこなう必要があります。

以上で、パスワードを入力して NFP 権利ポリシーファイルを適用する手順は、終了です。

## 2.1.2.2 公開鍵をもとに生成された NFP 権利ポリシーファイルを適用する

「公開鍵」を出力して FileShell 管理者に送付し、これをもとにエクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルを適用する手順を説明します。

### Operation

#### 1. 公開鍵を作成し、FileShell 管理者に送付します。



公開鍵の作成については、「3.6.5.4 公開鍵の作成」を参照してください。

#### 2. FileShell 管理者は、手順 1 で FileShell 利用者から送付された公開鍵をもとに NFP 権利ポリシーファイルを作成し、FileShell 利用者に配布します。

#### 3. FileShell 管理者から配布された NFP 権利ポリシーファイルをインポートします。



NFP 権利ポリシーファイルのインポートについては、「3.6.5.6 インポート（公開鍵認証）」を参照してください。

#### 4. NFP 権利ポリシーテンプレートが FileShell 利用者の PC に適用されます。

- \* インポートが完了すると、NFP 権利ポリシーテンプレートに設定された権限に基づいてファイルの保護/保護解除を実行できるようになります。



権限については、「1.3 権限について」を参照してください。



権限の確認方法については、「3.4.3 アクセス権限の確認」を参照してください。

- \* 設定は、インポートをおこなったユーザーにのみ適用されます(同一 PC 内の他のユーザーには適用されません)。  
同一 PC 内の他のユーザーにも NFP 権利ポリシーテンプレートを適用する場合は、ユーザーごとにインポートをおこなう必要があります。

以上で、公開鍵をもとに生成された NFP 権利ポリシーファイルを適用する手順は、終了です。

## 第3章

# FileShell クライアントの操作

FileShell クライアントの動作および操作について説明します。

## 3.1 クライアントでできる主な操作・機能

FileShell クライアントが導入されたクライアントでは、以下のような操作・機能を利用することが可能です。

項目	内容	参照
保護ファイルを開く	FileShell で保護されたファイルを、対象アプリケーションで開きます。	3.3
保護する	保護されていないファイルを FileShell で保護します。	3.4.1
	巡回ツールを起動します。	3.5.1
保護解除する	FileShell で保護されたファイルを保護解除します。	3.4.4
アクセス権限を確認する	保護されているファイルに対して、自分に設定されているアクセス権限を確認します。	3.4.3
動作設定を変更する	クライアント設定画面を表示します。	3.6

### 3.1.1 サーバー認証版 NFP のユーザー認証について

サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルに対し、閲覧・編集のために開く、保護を解除する、設定されたアクセス権限を確認するなどの操作をおこなった際には、保護ファイル情報を FileShell サーバーから取得するためのユーザー認証がおこなわれます。

この際、以下のダイアログが表示されますので、認証のために必要な情報を入力して、ユーザー認証をおこなってください。

#### ユーザー認証画面

\* FileShell サーバーからのポリシー配布方式により、表示される画面が異なります。

##### ID 配布方式の場合

The dialog box titled "InfoCage FileShell" contains a "ユーザー認証" (User Authentication) section. It includes a message: "NFP 形式の保護ファイル情報を FileShell サーバーから取得するために必要な認証情報を入力してください。" (Please enter authentication information required to retrieve NFP format protected file information from the FileShell server). Below the message are three input fields: "ユーザーID:" with the value "user1@dummy.local", "パスワード:" with masked dots, and "ドメイン名:" with the value "dummy.local". At the bottom are "OK" and "キャンセル(C)" buttons.

##### 簡易配布方式の場合

The dialog box titled "InfoCage FileShell" contains a "ユーザー認証" (User Authentication) section. It includes a message: "NFP 形式の保護ファイル情報を FileShell サーバーから取得するために必要な認証情報を入力してください。" (Please enter authentication information required to retrieve NFP format protected file information from the FileShell server). Below the message are two input fields: "ユーザーID:" with the value "user1@dummy.local" and "NFP 利用権限 ID:" with the value "01234567-1234-abcd-0123-fedcba123456". At the bottom are "OK" and "キャンセル(C)" buttons.

- \* 入力する情報は、「3.6.2.1 ユーザーID とサーバー設定」で FileShell クライアントに設定されているものを使用してください。
- \* ユーザー認証は、管理者が設定した認証有効期間(既定の設定では 7 日)が経過するたびに、該当操作をおこなったタイミングでおこなわれます。

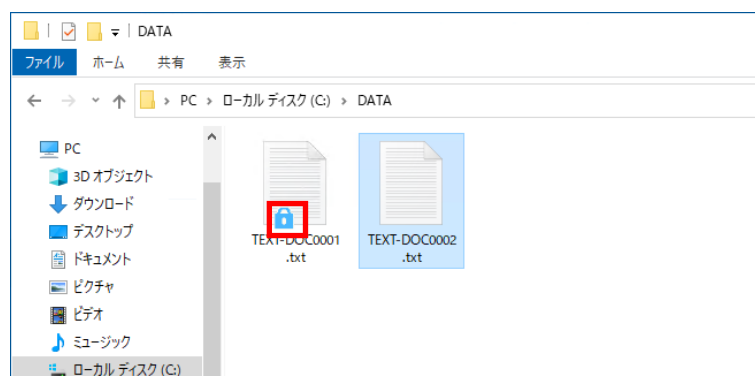
## 3.2 保護ファイルかどうかの確認

ファイルが保護されているかどうかの確認は以下の方法でおこないます。

### 3.2.1 アイコンオーバーレイの鍵アイコンマークでの確認

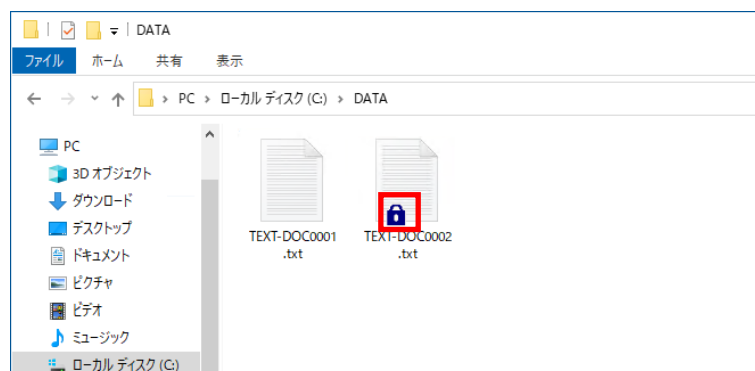
サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルには、エクスプローラー上のアイコンに

水色の鍵マーク  が表示されます。



鍵配布版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルには、エクスプローラー上のアイコンに紺色の

鍵マーク  が表示されます。

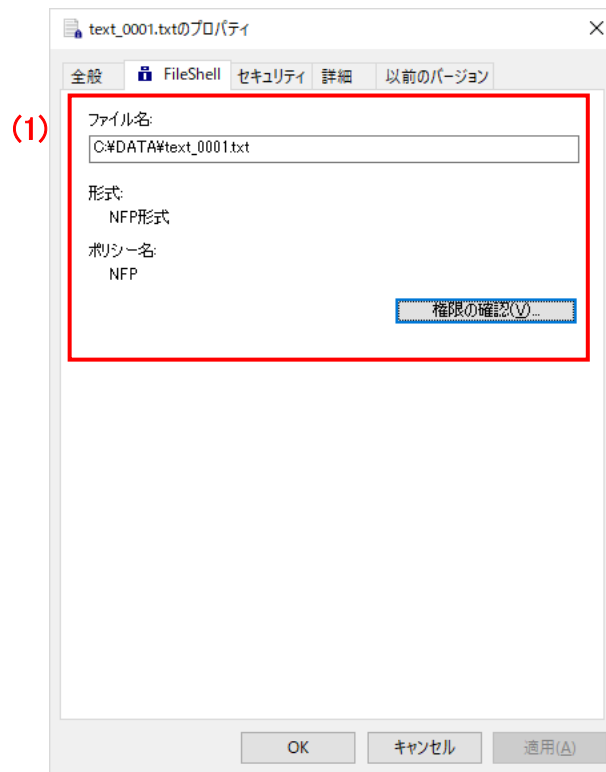


- \* FileShell で保護の適用対象の拡張子として設定されているファイルが対象です。
- \* アイコンオーバーレイの登録数上限を越えていた場合等、OS の制限により、アイコンに鍵マークが表示されない場合があります。



### 3.2.2 エクスプローラーのプロパティ画面での確認

保護されたファイルの場合、エクスプローラーのファイルのプロパティ画面に FileShell シートが表示されます。



\* 複数ファイルを選択してプロパティ画面を表示した場合は、FileShell シートは表示されません。

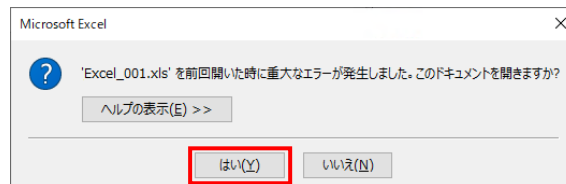
項目		内容
(1)	ファイル名	ファイル名を表示します。
	形式	ファイルの保護形式を表示します。
	ポリシー名	ファイルの保護に使用した権利ポリシー名を表示します。
	[権限の確認]ボタン	保有している権限に関する画面を表示します。

## 3.3 保護されたファイルを開く

保護されたファイルを開くときの動作、および操作方法について説明します。

### ▲ Notice

- NFP 形式で保護された Office ファイルを開いた際に、NFP 権利ポリシーの有効期限が切れていた場合や、サーバー認証版 NFP のサーバー認証のキャンセルをおこなった場合、下図のようなエラーメッセージが表示されることがあります。  
この場合、メッセージで[はい]を選択してファイルを開いたあと、Office アプリケーションをいったん終了し、ファイルを再度開くことで復旧することができます。



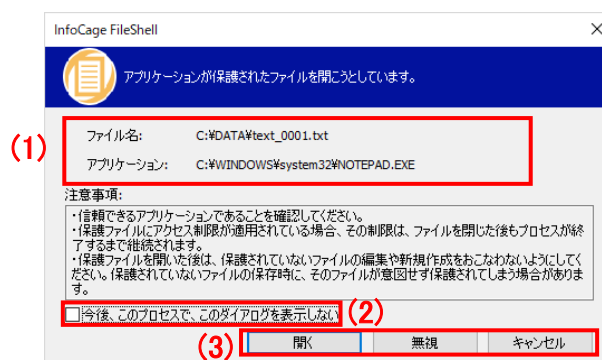
- \* NFP 形式の保護ファイルを保護ビューで閲覧することができるのは、Word, Excel, PowerPoint のみです。
- \* メールに添付された NFP 形式で保護された Office ファイルを Outlook にてプレビューで閲覧するには、Outlook をユーザー定義アプリケーションとしてアプリケーション設定に登録する必要があります。  
ただし、Outlook をアプリケーション設定で登録すると、データ送信時に、意図せずに保護が解除されて、情報が漏えいしてしまうおそれがあります。そのため、Outlook のユーザー定義アプリケーションとしてのご利用は推奨しません。(Outlook のプレビューでの閲覧を使用せず、添付ファイルを別の場所に保存してから対応アプリケーションで閲覧することを推奨します。)  
なお、インターネットからダウンロードしたファイルや電子メールの添付ファイルなど、既定で保護ビューで開かれるファイルを編集モードで開くには、当該ファイルのプロパティでファイルのブロックの解除をおこなってください。
- \* NFP 形式の保護ファイルを保護ビューで閲覧する場合、ローカルディスク空き容量が保護ファイルの 4 倍必要となります。(例: 保護ファイルのサイズが 250KB のとき、保護ビューで開くためには 1MB の空き容量が必要です。これは Office アプリケーションや FileShell が、ローカルディスク上に一時ファイルを作成するためです。)
- \* NFP 形式で保護された Office ファイルを、Office アプリケーションの「ファイル」メニューで「名前を付けて保存」を選択して保存した際は、必ず保存したファイルに鍵アイコンが付与されているかどうかを確認し、保護が解除されている場合は、必要に応じて手動にてファイルの再保護をおこなってください。  
Office アプリケーションの「ファイル」メニュー>「名前を付けて保存」を選択し、表示された画面から、直接ファイルを保存(※)すると、保護が解除されて保存される場合があります。また、このときファイルを開いているユーザーが、当該保護ファイルの編集権限を持たない場合であっても、ファイル保存できる場合があります(この場合、保護が解除された状態で保存されます)。  
(※) Office アプリケーションの「ファイル」メニュー>名前を付けて保存>参照から「名前を付けて保存」ダイアログを表示して保存した場合は、本事象は発生しません(保護された状態で保存されます。なお、同ダイアログからの保存では、編集権限がない保護ファイルの場合、名前を付けて保存することはできません)。
- \* NFP 形式で保護された Office ファイルをエクスプローラーで Office 文書に貼りつける、ドラッグ&ドロップで Office 文書に貼りつけるなどの操作をおこなうと、保護ファイルに付与されている NFP のアクセス権限が削除されます。アクセス権限を保持するにはオブジェクトの挿入からパッケージとして貼りつけてください。
- \* SharePoint や OneDrive などの Web サイトやクラウドストレージに格納された NFP 形式の保護ファイルを、ブラウザや Teams などのアプリケーション上で直接開くことはできません。  
いったんローカルディスクにダウンロードした上で、開いてください。

\* NFP 形式で保護された Office ファイルを、SharePoint や OneDrive などの Web サイトやクラウドストレージからダウンロードする場合は、ダウンロードが完了するまで開かないでください。

ダウンロード中に開いた場合などに Office アプリケーションから修復に関するメッセージが表示される場合がありますが、このとき修復をおこなうと、保護ファイルに付与されている NFP のアクセス権限が削除される場合があります(この場合、修復したファイルを保存すると、保護が解除された状態で保存されます)。

### 3.3.1 保護ファイルを開く前の確認について

保護されたファイルを開く際に下記画面が表示されます。



項目		内容
(1)	ファイル名	開こうとする保護ファイル名を表示します。
	アプリケーション	保護ファイルを開くアプリケーション名を表示します。
(2)	[今後、このプロセスで、このダイアログを表示しない]チェックボックス	保護ファイルを開くときに本ダイアログを表示しない場合にチェックを入れます。
(3)	[開く]ボタン	保護ファイルを開きます。
	[無視]ボタン	保護解除せずに対象の保護ファイルを開きます。 * アプリケーションの動作によっては、開いたファイルが文字化けしたり、ファイル形式エラーが表示されたりする場合があります。 * [今後、このプロセスで、このダイアログを表示しない]チェックボックスが ON の場合は無効となります。
	[キャンセル]ボタン	保護ファイルを開かずキャンセルします。

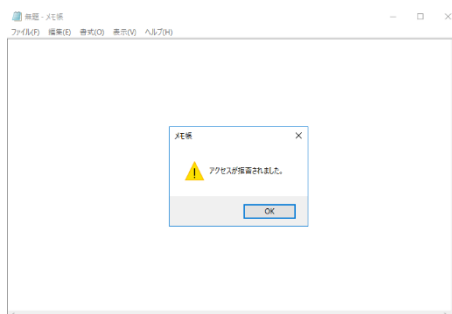
### 3.3.2 保護ファイルの操作制限について

保護されたファイルは、アプリケーションのメニューから開く／ファイルをダブルクリックする等、通常の操作で使用できます。ただし、保護されたファイルが保有する権限情報によって、利用者に可能な操作が制御されます。

#### ● 閲覧が許可されている場合



#### ● 閲覧が許可されていない場合



権限と許可される操作は、以下の表で確認してください。

権限	許可される操作
フルコントロール	保護ファイルの閲覧・保存・印刷・抽出ができます。 保護ファイルの保護解除ができます。
閲覧	保護ファイルの閲覧(内容参照)ができます。
編集	保護ファイルの編集(閲覧・保存)ができます。
印刷 (*1)	印刷ができます。
抽出(*2) (*3)	保護ファイルのクリップボードコピー (Ctrl+C など) ができます。 保護ファイルの画面キャプチャ(PrintScreen など) ができます。

(\*1) FileShell は、Windows 標準の印刷命令を監視し、印刷権限を持たない利用者の場合は無効化する制御をおこないます。

(\*2) FileShell は Windows 標準のクリップボードコピーを監視し、抽出権限を持たない利用者の場合は無効化する制御をおこないます。

(\*3) FileShell は PrintScreen キーの押下を監視し、抽出権限を持たない利用者の場合は無効化する制御をおこないます。

#### **▲ Notice**

・ 抽出権限をもたない保護ファイルを開いた場合、以後、アプリケーションから他の平文や保護されたファイルが開けなくなる場合があります。この場合、アプリケーションをいったん終了してから、ファイルを開いてください。

・ サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルは、「名前を付けて保存」で保存することはできません。別のファイルとして保存する必要がある場合は、あらかじめ元のファイルをコピーして、上書き保存をおこなってください。

## 3.4 エクスプローラーの右クリックメニューから可能な操作

エクスプローラーを右クリックして表示される[InfoCage FileShell]メニューからは以下の操作が可能です。

項目	内容	参照
保護(NFP 形式)	ファイルを NFP 形式で保護、または、既に NFP 形式で保護されているファイルを再保護します。	3.4.1
保護 (権利ポリシーと保護形式を選択)	権利ポリシーと保護形式を選択してファイルを保護します。	3.4.2
アクセス権限の確認	保護されているファイルに対して、自分に設定されているアクセス権限を確認します。	3.4.3
保護解除	NFP 形式で保護されているファイルの保護を解除します。	3.4.4

### 3.4.1 保護

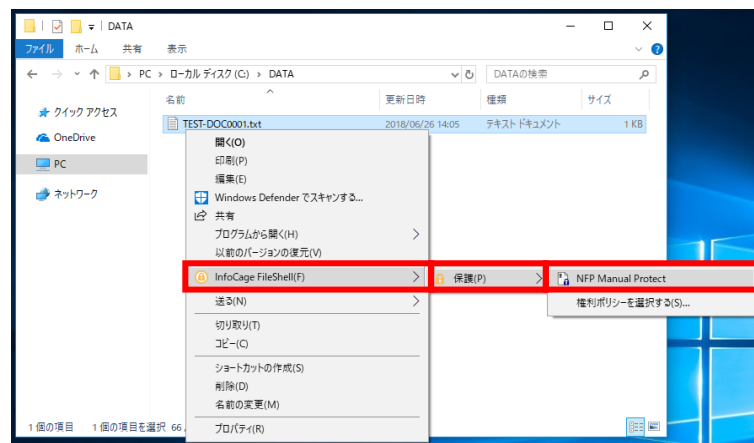
エクスプローラー上の操作で、NFP 形式の権利ポリシーを使用してファイルを保護する方法について説明します。



#### Notice

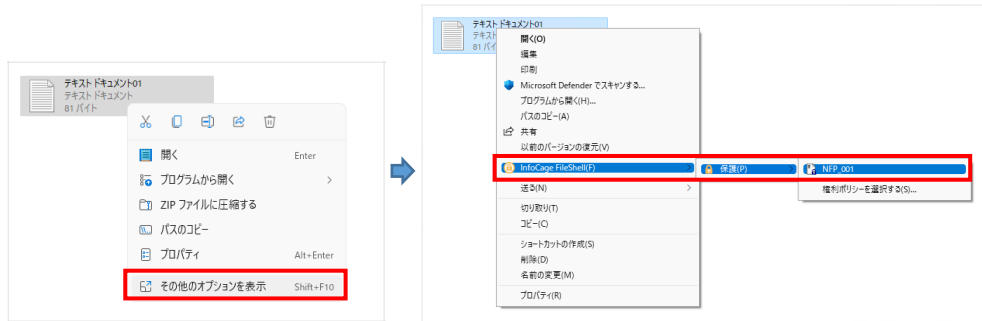
- ファイルの保護が終わるまで保護をおこなっているファイルの操作はしないでください。
- 保護済みのファイルを選択して本操作をおこなった場合、指定した権利ポリシーで再保護 (権限の付け替え)をおこないます。ただし、選択した保護ファイルに対してフルコントロール権限を有していない場合は、再保護できません。
- 手動保護の保護対象外フォルダーに設定されている場合でも、そのフォルダー内にあるファイルまたはフォルダーを直接選択した場合、保護されます。

#### Operation

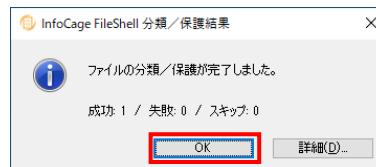
1. 保護したいファイルを選択し、右クリックメニューで表示される InfoCage FileShell メニューから[保護]を指定し、保護するファイルに設定する NFP 権利ポリシーテンプレートを選択します。



- \* NFP 形式の権利ポリシーの横には、以下のアイコンが表示されます
  - ・ サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートの場合  
水色の鍵マーク  の付いたアイコンが表示されます。
  - ・ 鍵配布版の NFP 権利ポリシーテンプレートの場合  
紺色の鍵マーク  の付いたアイコンが表示されます。
- \* Windows11 をご利用の場合は、右クリックメニューの[その他のオプションを表示]を選択したあと、InfoCage FileShell メニューを選択します。

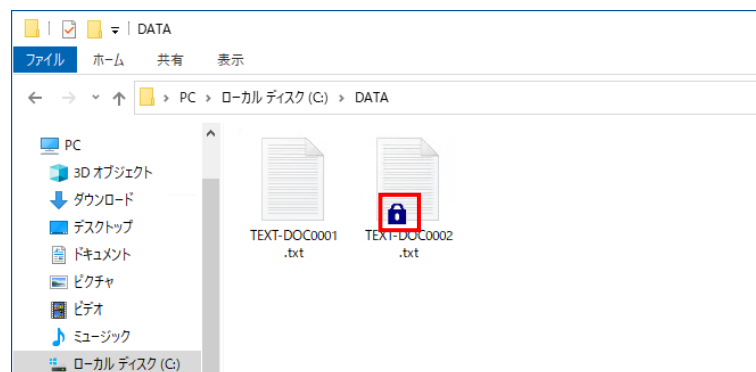


- 2.** ファイルの保護が完了すると、結果画面が表示されます。  
 処理結果に問題がなければ、[OK]をクリックします。  
 処理結果の内容を確認する場合は、[詳細]をクリックし、詳細画面を確認します。



詳細画面については、「3.7 ファイルの保護・保護解除結果の詳細確認」を参照してください。

- 3.** NFP でファイルの保護をおこなうと、文書保護ファイルを示す鍵マークが、アイコンに付与されて表示されます。



- \* 本手順中の画像は鍵配布版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護した場合のものです。
- \* 複数のファイルを選択した場合、保護対象のファイルのみ保護されます。フォルダーを選択した場合、フォルダーに格納されている保護対象のファイルのみが保護されます。

### 3.4.2 保護（権利ポリシーと保護形式を選択）

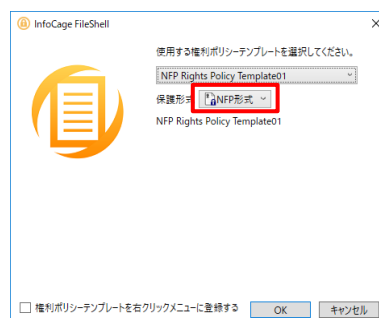
NFP の環境で、FileShell の右クリックメニューから、[保護] — [権利ポリシーを選択する]を使用してファイルの保護をおこなう際は、使用する権利ポリシーテンプレートのリストから、NFP 権利ポリシーテンプレートを選択してください。

なお、リストから NFP 権利ポリシーテンプレートを選択した場合は、[保護形式]に「NFP 形式」と表示されます。

権利ポリシーテンプレートの種類を確認する場合は、[クライアント設定]から[権利ポリシーテンプレート設定]を確認してください。

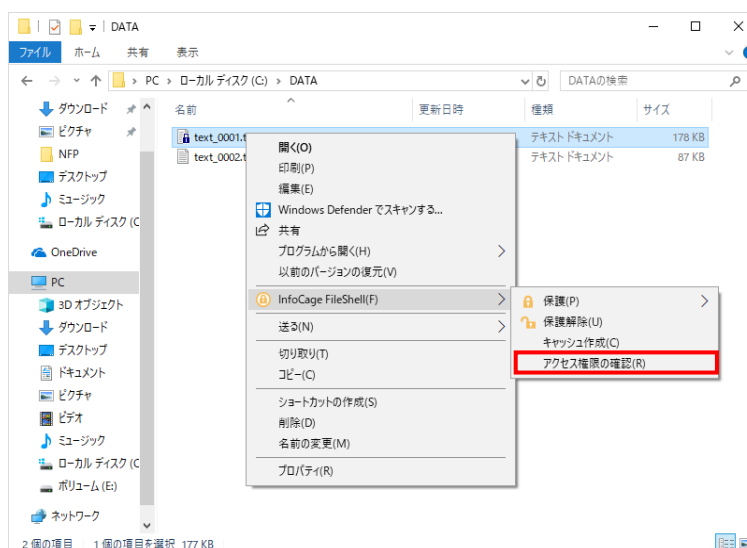


権利ポリシーテンプレート設定については、「3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定」を参照してください。



### 3.4.3 アクセス権限の確認

ファイルがどのような形式および権限で保護されているかの確認は、エクスプローラー上でおこないます。確認したいファイルを選択し、右クリックメニューで表示される InfoCage FileShell メニューから、[アクセス権限の確認]を指定します。また、[アクセス権限確認]画面で[詳細]をクリックすると、保護形式、暗号化方式および詳細なアクセス権限を確認することができます。



- \* Windows11 をご利用の場合は、右クリックメニューの[その他のオプションを表示]を選択したあと、InfoCage FileShell メニューを選択します。

NFP の環境では、[アクセス権限の確認]をおこなった場合、以下の画面が表示されます。

\* ファイルの保護に使用された NFP 権利ポリシーテンプレートによって、一部項目が異なります。

## アクセス権限確認画面

サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートで  
保護されたファイルの場合

InfoCage FileShell アクセス権限確認

(1) ファイル名  
TEST-DOC0001.txt

(2) NFP権利ポリシーテンプレート名 - 説明  
NFP01 - NFP権利ポリシー

(3) ファイル情報  
作成者  
ファイル形式 NFP形式  
暗号化方式 AES256

(4) 保有している権限

フルコントロール	はい
編集	はい
閲覧	はい
印刷	はい
抽出	はい

(5) コンテンツの有効期限 2021/12/01 21:00:00  
キャッシュの有効期限 無期限

OK

鍵配布版の NFP 権利ポリシーテンプレートで  
保護されたファイルの場合

InfoCage FileShell アクセス権限確認

(1) ファイル名  
TEST-DOC0002.txt

(2) NFP権利ポリシーテンプレート名 - 説明  
NFP02 - NFP権利ポリシー

(3) ファイル情報  
作成者  
ファイル形式 NFP形式  
暗号化方式 AES256

(4) 保有している権限

フルコントロール	はい
編集	はい
閲覧	はい
印刷	はい
抽出	はい

(5) コンテンツの有効期限 2021/12/01 21:00:00  
FileShellサーバーと接続せずに使用できる期限 2021/07/13 13:04:41

OK

項目		内容
(1)	ファイル名	ファイル名を表示します。
(2)	NFP 権利ポリシーテンプレート名 - 説明	このファイルの保護に利用した NFP 権利ポリシーテンプレートの名前と、その説明を表示します。
(3)	▼ファイル情報	
	作成者	ファイルの作成者を「ドメイン名¥ユーザー名」で表示します。 * ファイルの作成者がドメインに参加していない場合は、「PC名¥ユーザー名」を表示します。
	ファイル形式	ファイルの保護形式を表示します。 * 下記のように表示されます。 ・ NFP 形式
	暗号化方式	ファイルの暗号化方式を表示します。 * 下記のように表示されます。 ・ AES256
(4)	▼保有している権限	
	このファイルに使用されている NFP 権利ポリシーテンプレートの権限情報を表示します。	
	フルコントロール	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が、権限を有さない場合は「いいえ」が表示されます。 * ユーザーが[フルコントロール]の権限を有する場合は、他の項目もすべて「はい」と表示されます。
	編集	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が表示されます。
	閲覧	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が表示されます。 * ユーザーが[フルコントロール]、[編集]、[印刷]、[抽出]のいずれか



		の権限を有する場合は、本項目も「はい」と表示されます。
	印刷	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が表示されます。
	抽出	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が表示されます。
(5)	コンテンツの有効期限	<p>このファイルに使用されている NFP 権利ポリシーテンプレートに有効期限が設定されている場合のみ表示します。</p> <p>* 以下の場合は有効期限の影響を受けないため、表示しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「作成者フルコントロール」が設定されている NFP 権利ポリシーテンプレートを使用して、自身が保護をおこなったファイルのアクセス権限を確認した場合</li> </ul> <p>* 有効期限の表示形式は、OS の「日付と時刻の表示形式」の設定に依存します。</p>
	キャッシュの有効期限 * 本項目は、サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルにのみ表示される項目です。	<p>このファイルに使用されている NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限に、「オフラインで利用できる期間」が設定されている場合のみ表示されます。</p> <p>* FileShell サーバーから配布された NFP 権利ポリシーテンプレートに上記の設定が適用されている場合に表示されます。</p> <p>* 常にオフラインを許可する設定が適用されている場合は、「無期限」と表示されます。</p>
	FileShell サーバーと接続せずに使用できる期限 * 本項目は、鍵配布版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルにのみ表示される項目です。	<p>このファイルに使用されている NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限に、FileShell ポリシーを受信せずに使用できる期間が設定されている場合のみ表示されます。</p> <p>* FileShell サーバーから配布された NFP 権利ポリシーテンプレートに上記の設定がされている場合に表示されます。</p> <p>* 期限は FileShell サーバー接続時に更新されます。</p>

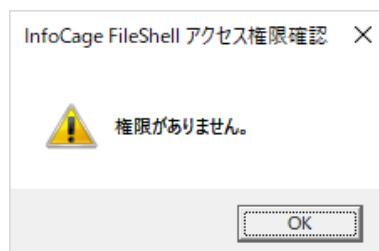
\* 権限情報の詳細については、「1.3 権限について」を参照してください。

\* 以下の場合は、エラーが表示され[アクセス権限の確認]画面を表示することはできません。

- ・このファイルの保護に利用した NFP 権利ポリシーファイルが PC に存在しない
- ・このファイルの保護に利用した NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限を超過している  
(「作成者フルコントロール」が設定されている NFP 権利ポリシーテンプレートを使用して、自身が保護をおこなったファイルのアクセス権限を確認する場合を除く)
- ・FileShell クライアントのインストール直後などで、初回におこなわれる NFP 権利ポリシーテンプレートのインポート(パスワード認証)をおこなう際、パスワードを誤って入力した



初回におこなわれる NFP 権利ポリシーテンプレートのインポート動作については、「3.8 NFP 権利ポリシーテンプレートのパスワード認証動作」を参照してください。



### 3.4.4 保護解除

ファイルの保護解除方法について説明します。

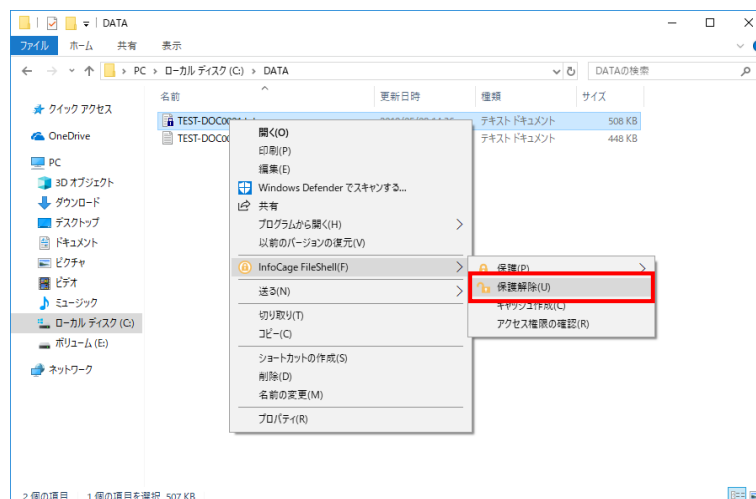
- \* 本機能は「フルコントロール」権限のユーザー、および「編集」権限のユーザーが自身で保護をおこなったファイルで、「作成者フルコントロール」が FileShell 管理者により設定されている場合に使用できます。「作成者フルコントロール」の設定は、[クライアント設定]の[権利ポリシーテンプレート設定]から確認することができます。
- \* サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルの保護を解除する際、認証のため FileShell サーバーとの通信が発生します。ただし、「オフラインで使用できる期間」が設定された NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルを解除する場合は、その設定期間内については FileShell サーバーとの通信は発生しません。



1. 保護を解除したいファイルを選択し、右クリックメニューで表示される InfoCage FileShell メニューから、[保護解除]を指定します。

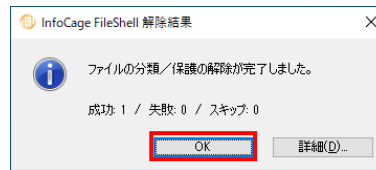
#### **Notice**

- ファイルの保護解除が終わるまで保護解除をおこなっているファイルの操作はしないでください。



- \* Windows11 をご利用の場合は、右クリックメニューの[その他のオプションを表示]を選択したあと、InfoCage FileShell メニューを選択します。
- \* 複数のファイルを選択した場合、保護されているファイルのみが保護解除されます。フォルダーを選択した場合、フォルダーに格納されている保護されているファイルのみが保護解除されます。
- \* ファイルの保護解除は、フルコントロール権限を所有している必要があります。保護解除に失敗した場合は、右クリックメニュー [InfoCage FileShell]-[アクセス権限の確認] を利用して、権限を確認してください。
- \* 自動保護対象フォルダー内での保護解除を禁止している場合、自動保護対象フォルダー内のファイルおよび保護対象共有フォルダー内のファイルは、ファイルの保護解除ができません。ファイルの保護解除をおこなう場合は、自動保護対象フォルダーおよび保護対象共有フォルダー以外にファイルを移動してから操作してください。
- \* 他組織(簡易配布)で保護された NFPv2 形式のファイルは保護解除できません。

2. 保護解除が完了すると、結果画面が表示されます。  
処理結果に問題がなければ、[OK]をクリックします。  
処理結果の内容を確認する場合は、[詳細]をクリックし、詳細画面を確認します。

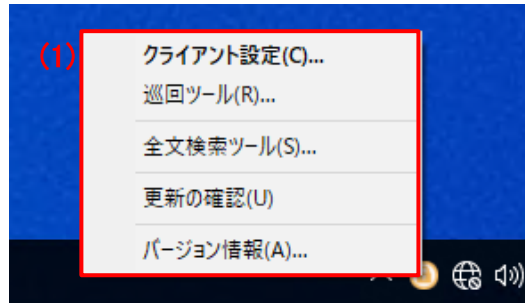


詳細画面については、「3.7 ファイルの保護・保護解除結果の詳細確認」を参照してください。

## 3.5 タスクトレイアイコンから可能な操作

FileShell のタスクトレイアイコンを右クリックして表示されるメニューからは以下の操作が可能です。

FileShell のタスクトレイアイコン



項目		内容	参照
(1)	クライアント設定	クライアント設定画面を表示します。	3.6
	巡回保護ツール	巡回保護ツールを起動します。	3.5.1
	全文検索ツール	全文検索ツールの検索画面を起動します。 * 全文検索ツールについては、『クライアント利用ガイド』の「第5章 全文検索ツール」を参照してください。	–
	更新の確認	更新の確認をおこないます。	3.5.2
	バージョン情報	FileShell クライアントのバージョンを表示します。	3.5.3

### ▲ Notice

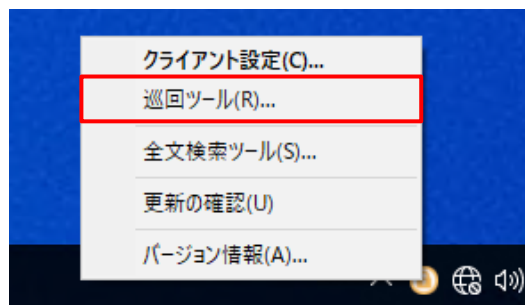
- 管理者の設定により、表示されない項目や実行ができない項目が存在する場合があります。

### 3.5.1 巡回ツール

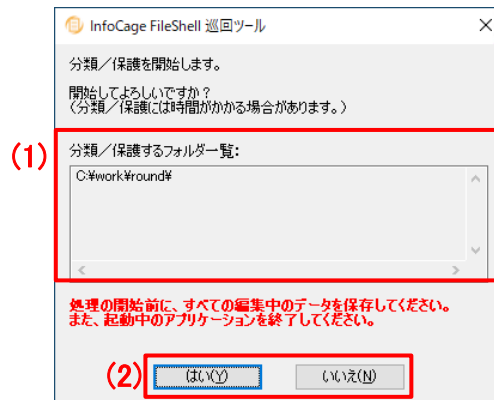
運用中に巡回ツールの適用対象フォルダーのファイルをすぐに保護する場合は、「巡回ツール」を利用します。

- \* 巡回ツールの適用対象フォルダーについては、「3.6.9 巡回ツール設定」を参照してください。

巡回ツールはタスクトレイの「InfoCage FileShell」アイコンを右クリックしてメニューから「巡回保護ツール」をクリックして起動します。



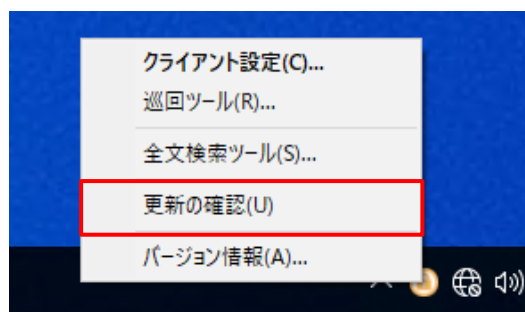
## 巡回ツール適用画面



	項目	内容
(1)	分類／保護するフォルダー一覧	巡回ツールの適用対象となっているフォルダーの一覧です。 * FileShell サーバーからポリシー受信をおこなう設定となっている場合、一覧に管理者によって設定された適用対象フォルダーが表示されます。 * 管理者によって設定された適用対象フォルダーが PC またはネットワーク内に存在しない場合、そのフォルダーは保護されません。
(2)	[はい]ボタン	巡回ツール適用を実行します。
	[いいえ]ボタン	巡回ツール適用を実行せずに終了します。 * 管理者によって巡回ツール適用をキャンセルできないように設定されている場合、[いいえ]をクリックすることができません。

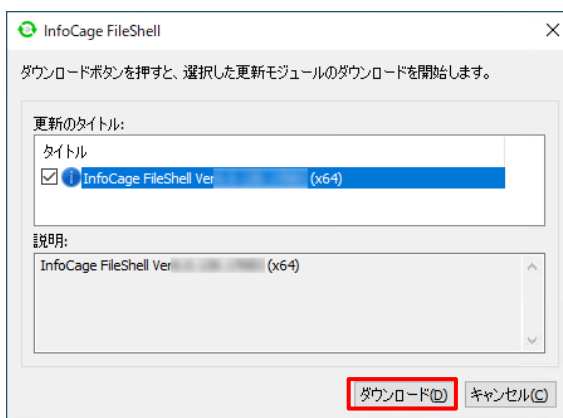
### 3.5.2 更新の確認

タスクトレイの「InfoCage FileShell」アイコンを右クリックしてメニューから「更新の確認」をクリックすると、FileShell クライアントのアップデートモジュールが存在するか確認できます。



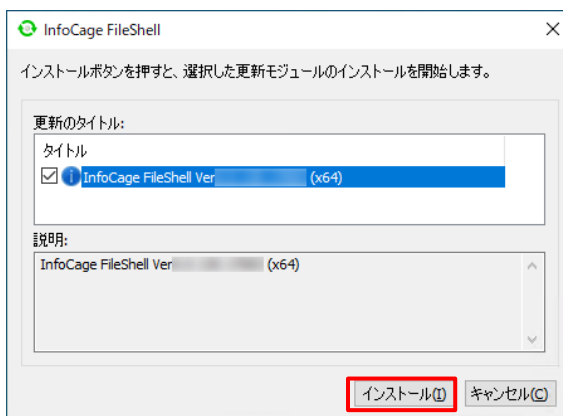
### 3.5.2.1 更新の確認画面

更新の確認画面が表示された場合は、ダウンロードボタンをクリックしてダウンロードを実行します。各モジュールのチェックボタンを外すことで、ダウンロード対象から除外することが可能です。



### 3.5.2.2 インストールの確認画面

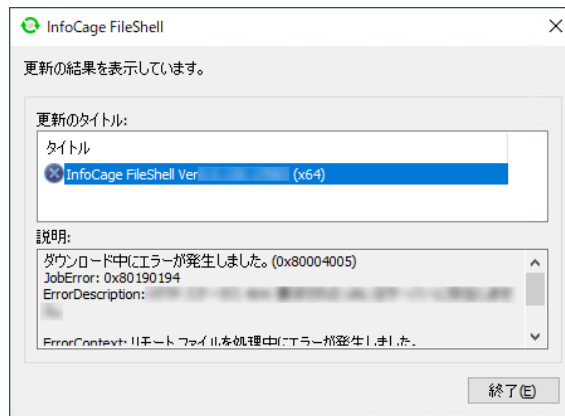
インストールの確認画面が表示された場合は、インストールボタンをクリックしてインストールを実行します。各モジュールのチェックボタンを外すことで、インストール対象から除外することが可能です。



### 3.5.2.3 エラー発生時の確認画面

ネットワーク不正等により、更新結果がエラーとなった場合には、[終了]を押し、更新の確認をやり直してください。

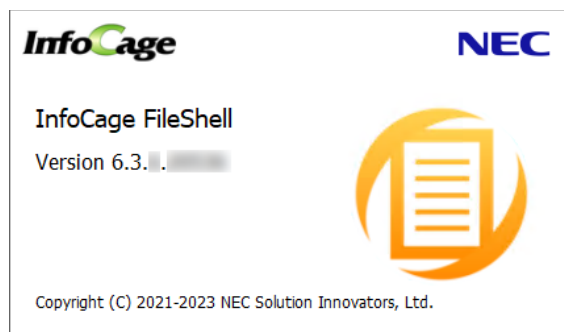
#### エラー画面例



### 3.5.3 バージョン情報

InfoCage FileShell クライアントのバージョンを表示します。

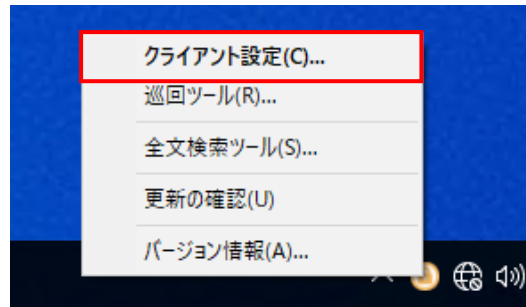
#### バージョン情報画面



## 3.6 クライアント設定

クライアント設定では、FileShell のクライアント設定情報を確認、もしくは、更新することができます。

クライアント設定ツールは、タスクトレイの InfoCageFileShell のアイコンを右クリックし、「クライアント設定」を選択して起動します。



### ⚠ Notice

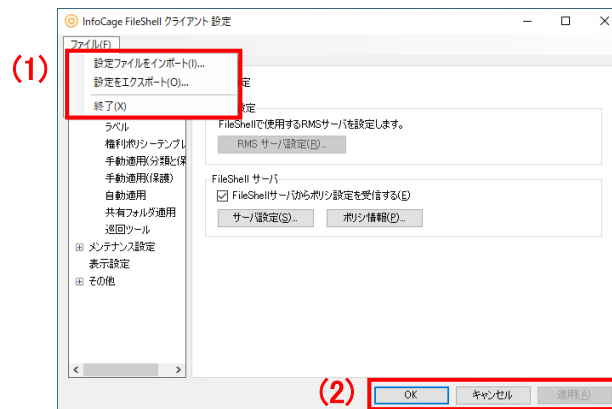
- 管理者の設定により、表示されない項目や実行ができない項目が存在する場合があります。

\* NFP のみで運用する環境では、下記の設定および操作をおこなうことはできません。

- ・ [表示設定] - [右クリックメニュー設定] の「キャッシュ作成に関するメニューを非表示にする」
- ・ キャッシュ作成設定

### 3.6.1 クライアント設定画面(メニュー)

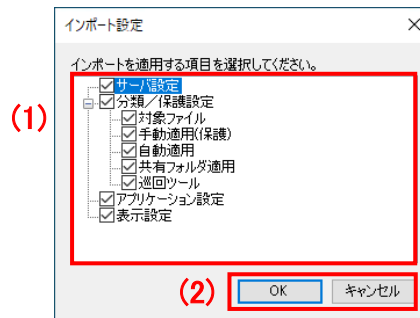
クライアント設定画面(メニュー)



項目		内容
(1)	[設定ファイルをインポート] メニュー	FileShell 設定ファイルをインポートします。
	[設定をエクスポート] メニュー	各設定を FileShell 設定ファイルにエクスポートします。
	[終了] メニュー	変更を適用し、クライアント設定画面を閉じます。
(2)	[OK] ボタン	変更を適用し、クライアント設定画面を画面を閉じます。
	[キャンセル] ボタン	変更を適用せず、クライアント設定画面を画面を閉じます。
	[適用] ボタン	変更を適用します。



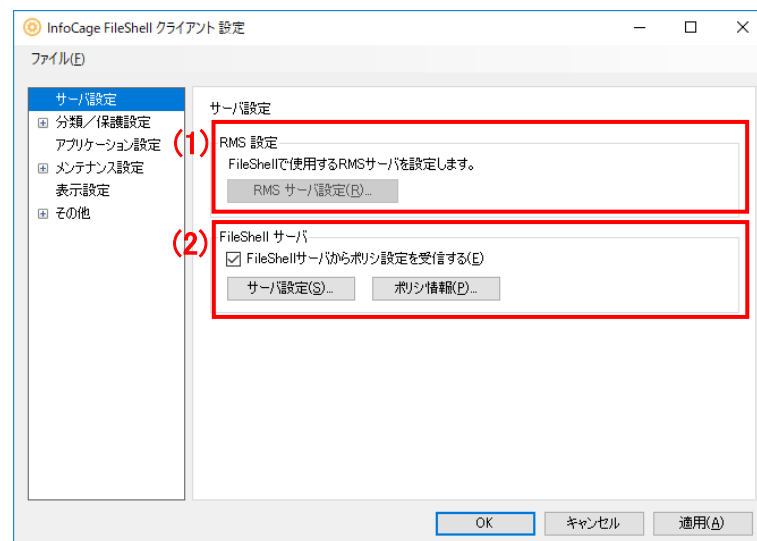
## インポート設定画面



項目		内容
(1)	設定項目一覧	設定項目の一覧を表示します。 * チェックボックスをクリックすることで、インポートする/しないを切り替えます。 * デフォルトはすべてチェックありです。
(2)	[OK] ボタン	インポートを実行します。
	[キャンセル] ボタン	キャンセルします。

## 3.6.2 サーバー設定

### サーバー設定画面



項目		内容	参照
(1)	▼RMS に関する設定です。		
	[RMS サーバ設定] ボタン	NFP では使用しません	—
(2)	▼FileShell サーバからのポリシー受信設定です。		
	FileShell サーバからポリシー設定を受信する	FileShell サーバからポリシー設定を受信するかどうかの設定です。	—
	[サーバ設定] ボタン	ユーザーID とサーバ設定画面を表示します。	3.6.2.1
	[ポリシー情報] ボタン	ポリシー情報画面を表示します。	3.6.2.2

### 3.6.2.1 ユーザーID とサーバー設定

運用中に FileShell サーバー名などに変更が生じた場合は、「サーバー設定ツール」で再設定します。

\* 表示される設定画面は、ご利用になる組織のポリシー配布方式により異なります。

#### ユーザー ID とサーバー設定画面 (ID 配布方式)

InfoCage FileShell

ユーザーIDとサーバ設定の入力

FileShell サーバ管理者から通知された以下の情報を入力し、[OK]をクリックしてください。  
サーバ：FileShell サーバのIPアドレス、サーバ名、もしくはURL  
ポート番号：FileShell サーバとの通信で利用するポート番号  
ユーザID：ユーザー認証に利用するメールアドレス  
パスワード：ユーザー認証に利用するパスワード  
組織ID(ドメイン)：ユーザIDに関連するドメイン名

[OK]をクリックすると FileShell サーバからポリシーを受信します。

(1) サーバ: fsserverv41  
ポート番号: 59630  
ユーザID: @fs.local  
パスワード: .....  
組織ID(ドメイン): fs.local

(2) [OK] [キャンセル(C)]

項目		内容
(1)	サーバ	FileShell サーバーの IP アドレス、サーバー名、もしくは URL を指定します。
	ポート番号	FileShell サーバーとの通信で利用するポート番号を指定します。
	ユーザ ID	ユーザー認証に利用するメールアドレスを指定します。
	パスワード	ユーザー認証に利用するパスワードを指定します。
	組織 ID (ドメイン)	ポリシー受信時に利用する組織 ID (ドメイン)を指定します。未設定でも動作可能です。
(2)	[OK]ボタン	ポリシー更新をおこないます。
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

## ユーザ ID とサーバー設定画面 (簡易配布方式)

InfoCage FileShell

### ユーザIDとサーバ設定の入力

FileShell サーバ管理者から通知された以下の情報を入力し、[OK]をクリックしてください。  
 サーバ: FileShell サーバのIPアドレス、サーバ名、もしくはURL  
 ポート番号: FileShell サーバとの通信で利用するポート番号  
 ユーザID: FileShell クライアントで利用するメールアドレス  
 NFP利用権限ID: NFP形式で保護されたファイルに対する権限を指定するID

[OK]をクリックすると FileShell サーバからポリシーを受信します。

サーバ: fsservv41

ポート番号: 59630

ユーザID: user01@simple.local

NFP利用権限ID: 9e7ef25d-ceb3-474b-b0a2-a30c93d64ff0

(2) OK キャンセル(C)

項目		内容
(1)	サーバ	FileShell サーバの IP アドレス、サーバ名、もしくは URL を指定します。
	ポート番号	FileShell サーバとの通信で利用するポート番号を指定します。
	ユーザ ID	ポリシー受信機能で利用するメールアドレスを指定します。
	NFP 利用権限 ID	NFP 形式で保護されたファイルに対する権限を指定する ID です。
(2)	[OK]ボタン	ポリシー更新をおこないます。
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

- \* 管理者の設定により、以下のメッセージが表示されサーバー設定ツールを起動できない場合があります。  
「管理者の設定により、このツールは起動できないようになっています。詳細については、管理者にお問い合わせください。」
- \* 管理者の設定により、値の変更ができないように設定されている場合があります。
- \* 管理者の設定により、表示されない項目があります。
- \* http/https ポリシー受信機能を使用する場合は、サーバーには URL を、ポート番号には URL へのアクセスで使用するポート番号を記載してください。URL 中に記載されたポート番号は使用しません。  
 例)           サーバー: http://Server01.test.com/IcfServerPolicyWebService/  
               ポート番号: 80

### 3.6.2.2 ポリシー情報

ポリシー情報では、FileShell のポリシー情報を確認、もしくは、更新することができます。

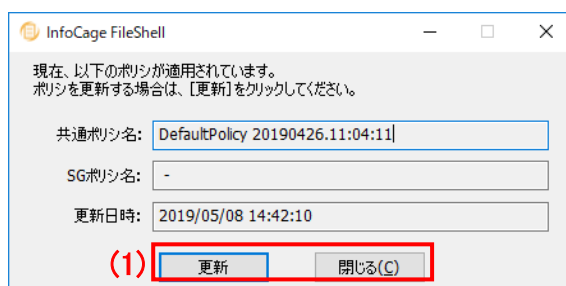
#### Notice

- 通常、ポリシーの更新は自動的におこなわれますので、FileShell クライアントでの特別な操作は必要ありません。更新時にオフラインになっていた場合や、長期間再ログオンせずに利用している場合等、ポリシーの自動更新ができていない場合には、手動でポリシーを更新することができます。
- ポリシー更新後は、自動的に巡回保護ツールが起動し、自動保護対象フォルダーの保護を開始します。ただし、管理者の設定によっては巡回保護ツールが表示されない場合があります。

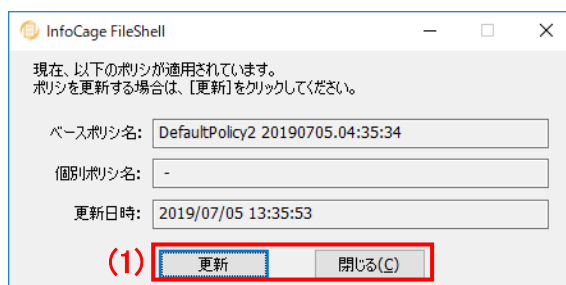


巡回保護ツールについては「3.6.9 巡回ツール設定」を参照してください。

#### ポリシー情報画面(ID 配布方式)



#### ポリシー情報画面(簡易配布方式)

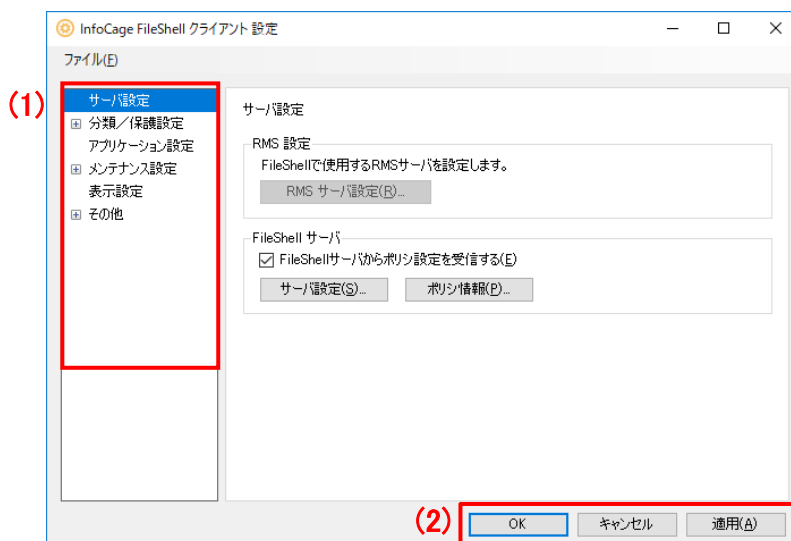


項目		内容
(1)	[更新]	ポリシー更新をおこないます。 * 成功の場合は、「ポリシーを更新しました。」メッセージが表示されます。失敗の場合は、「ポリシーを受信できませんでした。ユーザーIDとサーバーの情報が正しいか確認してください。」メッセージが表示されます。「ユーザーID とサーバー設定画面」を使用し、ユーザーID とサーバーの設定に問題がないか確認してください。
	[閉じる]	終了します。

### 3.6.3 クライアント設定画面での共通操作

クライアント設定画面上で変更した内容は、[OK]または[適用]をクリックすることで適用されます。

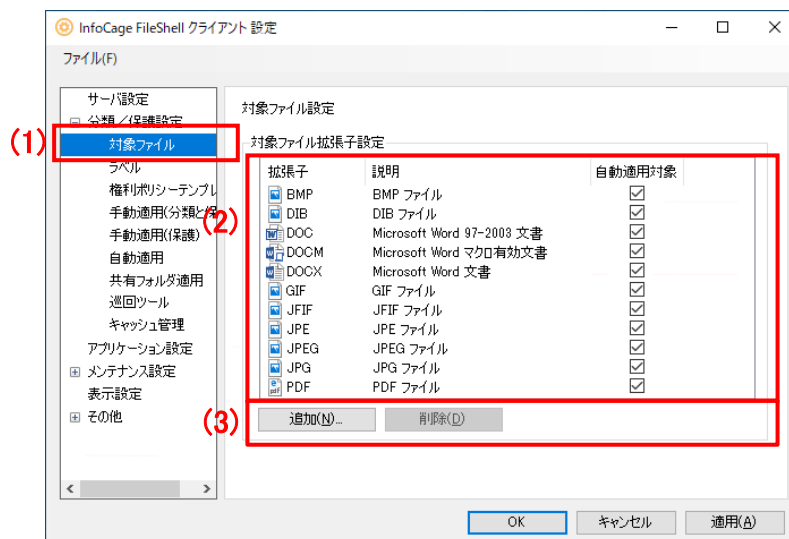
#### クライアント設定画面



項目	内容	参照
▼参照するメニューを選択します。		
(1) サーバー設定	FileShell を利用する接続サーバーに関する設定を確認します。	3.6.2
分類／保護設定	対象ファイル、権利ポリシーテンプレート、手動適用、自動適用、共有フォルダ適用、巡回ツール適用の設定を確認します。	3.6.4 3.6.5 3.6.6 3.6.7 3.6.8 3.6.9
アプリケーション設定	FileShell で使用するアプリケーションの設定をします。	3.6.11
メンテナンス設定	FileShell のメンテナンス情報を設定します。	3.6.12
表示設定	FileShell での表示について設定をします。	3.6.13
その他設定	バージョン情報などを確認します。	3.6.14
(2) [OK] ボタン	変更を適用し、画面を終了します。	—
[キャンセル] ボタン	キャンセルします。	—
[適用] ボタン	変更を適用します。	—

### 3.6.4 対象ファイル

#### 対象ファイル画面



項目		内容
(1)	分類／保護設定から[対象ファイル]を選択します	
(2)	対象ファイル拡張子設定 (拡張子リスト) 表示	適用対象にする拡張子の一覧および自動適用対象の設定を表示します。 * 自動適用対象の設定内容は以下のとおりです。 ・ チェック OFF: 手動適用が対象です。 ・ チェック ON: 手動適用、自動適用が対象です。
(3)	[追加]ボタン	拡張子の追加画面を開きます
	[削除]ボタン	選択されている拡張子を削除します
	[既定値に戻す] ボタン	既定値 (ポリシー受信した状態) に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合は表示されません。

## 拡張子の追加画面

拡張子の追加

追加する拡張子を入力してください。(各行に1つ)

(1) aaa  
bbb  
ccc

(2) ☐ 自動適用対象にする

(3) OK キャンセル

項目		内容
(1)	適用対象拡張子	分類／保護の適用対象となるファイルの拡張子を入力します。 * 複数入力可能です。 * 1行につき1つの拡張子を入力します。 * 拡張子先頭のピリオド(.)を含めずに入力してください。
(2)	[自動適用対象にする] チェックボックス	自動適用対象にするかどうかを設定します。 * チェック OFF: 手動適用が対象です。 * チェック ON: 手動適用、自動適用が対象です。
(3)	[OK]ボタン	適用対象拡張子を設定し対象ファイル画面に戻ります。
	[キャンセル] ボタン	キャンセルします。

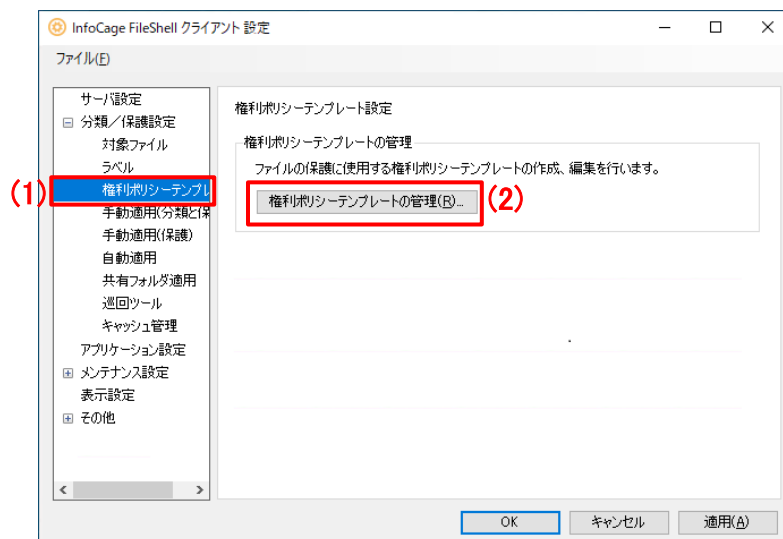
\* FileShell クライアントでは対象拡張子を内部データとして “|” で区切って保持します。

例) DOC|DOCX|XLS|XLSX|...

対象拡張子の設定では、設定した拡張子の文字数と、この区切り文字の数を合わせて、1024文字未満とする必要があります。

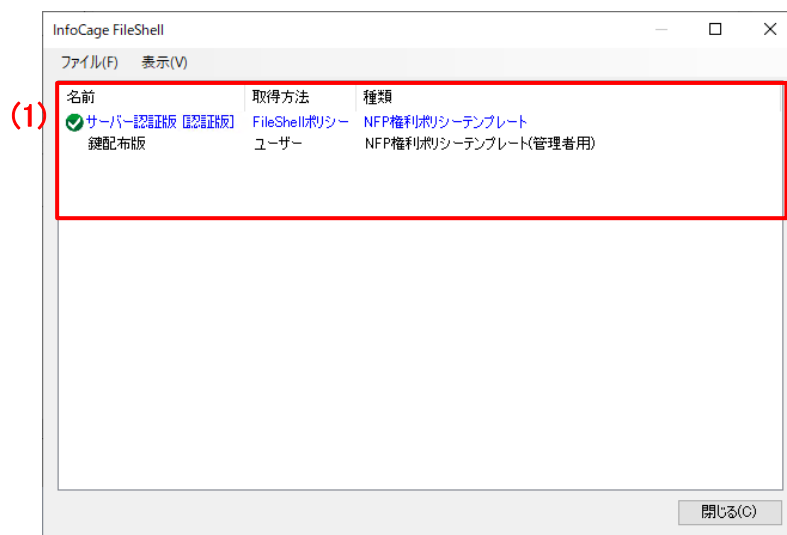
### 3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定

#### 権利ポリシーテンプレート管理のメイン画面



項目	内容
(1)	分類／保護設定から[権利ポリシーテンプレート]を選択します。
(2)	[権利ポリシーテンプレートの管理] ボタン ファイルの保護に使用する権利ポリシーテンプレートの作成、編集をおこないます。ボタンをクリックすると、[権利ポリシーテンプレート管理]画面を開きます。

#### 権利ポリシーテンプレートの参照、新規作成、編集画面

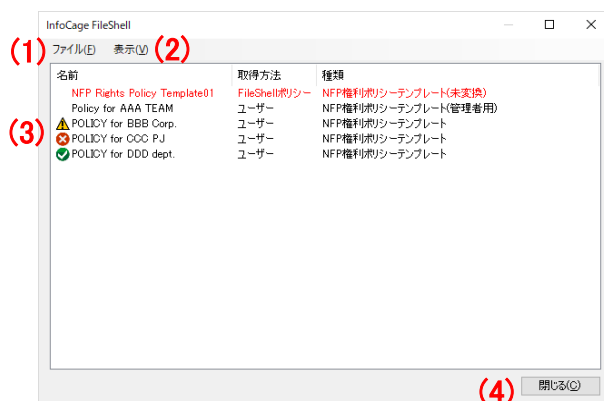


項目	内容
(1)	権利ポリシーテンプレート一覧 利用可能な権利ポリシーテンプレートを表示します。 * サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートの場合は、名前に[認証版]の文字が付加されます。

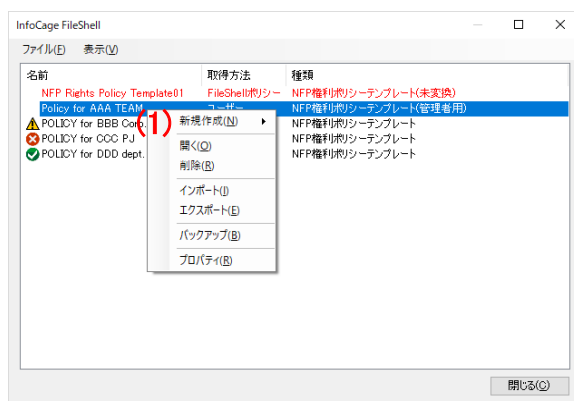


NFP の環境で、NFP 権利ポリシーテンプレートに関する操作をおこないます。

## 権利ポリシーテンプレート管理画面




## NFP 権利ポリシーテンプレートを選択して右クリックした場合







\* 権利ポリシーテンプレート管理画面の[ファイル]メニューと、NFP 権利ポリシーテンプレートを選択して右クリックした場合に表示されるメニューは、一部を除き内容が共通のため、下表の説明では、これらをあわせて(1)としています。

項目	内容	参照
▼ファイル メニュー		
(1) 新規作成 - NFP 権利ポリシーテンプレート	NFP 権利ポリシーテンプレートの新規作成画面を開きます。	3.6.5.3
新規作成 - 公開鍵(NFP 用)	公開鍵の作成画面を開きます。	3.6.5.4
開く	選択した NFP 権利ポリシーテンプレートを開きます。	3.6.5.12
削除	選択した NFP 権利ポリシーテンプレートを削除します。 * 複数の NFP 権利ポリシーテンプレートを選択して削除することもできます。 * 使用中の NFP 権利ポリシーテンプレート(青色)は削除できません。	—
インポート	NFP 権利ポリシーテンプレートのインポートをおこないます。	3.6.5.5 3.6.5.6
エクスポート	選択した NFP 権利ポリシーテンプレートのエクスポートをおこないます。	3.6.5.7 3.6.5.8

		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「NFP 権利ポリシーテンプレート(管理者用)」のみエクスポート可能です。</li> <li>「(管理者用)」の表示がない NFP 権利ポリシーテンプレートを選択した場合は、グレー表示となります。</li> </ul>	
	バックアップ	選択した NFP 権利ポリシーテンプレートをバックアップします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「NFP 権利ポリシーテンプレート(管理者用)」のみバックアップ可能です。</li> <li>「(管理者用)」の表示がない NFP 権利ポリシーテンプレートを選択した場合は、メニューは表示されません。</li> </ul>	3.6.5.9
	プロパティ	選択した NFP 権利ポリシーテンプレートのプロパティを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 右クリックメニューにのみ表示されます。</li> </ul>	3.6.5.11
	閉じる	権利ポリシーテンプレート管理画面を閉じ、クライアント設定画面に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「ファイル」メニューにのみ表示されます。</li> </ul>	—
(2)	表示 - 最新の状態に更新する	権利ポリシーテンプレート一覧を最新の状態に更新します。	—
(3)	権利ポリシーテンプレート一覧	インポート済みの NFP 権利ポリシーテンプレートの名前、取得方法および種類が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 表示の内容については、下部の表を参照してください。</li> <li>* 赤色で末尾に「未変換」と表示されている NFP 権利ポリシーテンプレートは、パスワード認証が未実施です。 パスワード認証は、NFP 権利ポリシーテンプレートをダブルクリック、右クリックメニューから「開く」を選択、およびファイルの保護などの NFP 権利ポリシーテンプレートを使用する操作をおこなうことで実行されます。</li> <li> パスワード認証については、「3.8 NFP 権利ポリシーテンプレートのパスワード認証動作」を参照してください。</li> <li>* 青色表示されている NFP 権利ポリシーテンプレートは、保護設定で使用中のものです。削除することはできません。</li> <li>* NFP 権利ポリシーテンプレートを選択し、右クリックした場合は、状態に応じたメニュー((1)を参照)が表示されます。</li> </ul>	—
(4)	[閉じる]ボタン	権利ポリシーテンプレート管理画面を閉じ、クライアント設定画面に戻ります。	—

\* (3)権利ポリシーテンプレート一覧に表示される内容と種類は以下のとおりです。

表示	表示の種類	説明
名前	—	NFP 権利ポリシーテンプレートの名前です。 OS の言語設定に合わせて日本語または英語で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 日本語および英語以外の言語環境設定では、英語で表示されます。</li> <li>* 有効期限が設定されている場合は、名前の左側にアイコンが表示されます。 各アイコンの意味は以下のとおりです。</li> </ul>

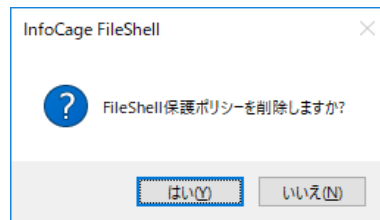
		 (OK): 有効期限まで 7 日以上の場合に表示されます。  (警告): 有効期限まで 7 日未満の場合に表示されます。  (超過): 有効期限を超過している場合に表示されます。  有効期限については、「3.9 有効期限設定時の動作」を参照してください。
取得方法	FileShell ポリシー	クライアントインストーラからのインストールや FileShell 設定ファイルをコマンドプロンプトからインポートをおこなう際、FileShell ポリシーに含まれている NFP 権利ポリシーテンプレートがインポートされた場合に表示します。 * この取得方法の NFP 権利ポリシーテンプレートはグレーで表示されます。削除することは出来ません。
	ユーザー	NFP 権利ポリシーテンプレートを操作中の PC で新規作成やインポートした場合、または FileShell 設定ファイルをクライアント設定からインポートをおこなう際、FileShell ポリシーに含まれている NFP 権利ポリシーテンプレートがインポートされた場合に表示します。
種類	NFP 権利ポリシーテンプレート	FileShell 管理者がエクスポートした NFP 権利ポリシーファイルをインポートした場合に表示します(標準利用者用設定)。 この NFP 権利ポリシーテンプレートをエクスポートすることはできません。
	NFP 権利ポリシーテンプレート (管理者用) *1	FileShell 管理者がバックアップした NFP 権利ポリシーファイルをインポートするか、ユーザーが NFP 権利ポリシーテンプレートを新規作成した場合に表示します。 この NFP 権利ポリシーテンプレートはエクスポートおよびバックアップすることが可能です。

\*1 管理者用の NFP 権利ポリシーテンプレートを削除する場合は、削除確認画面で[はい]をクリックしたあと、再確認画面が表示されます。  
再確認画面に表示されている管理者用 NFP 権利ポリシーテンプレートの名前を確認の上、削除する場合は[はい]を、取りやめる場合は「いいえ」または[キャンセル]をクリックしてください。

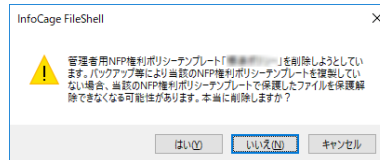
\* [いいえ]は、再確認画面に表示されている NFP 権利ポリシーテンプレートのみ削除を取りやめます。  
[キャンセル]は、複数の管理者用 NFP 権利ポリシーテンプレートを削除しようとしている場合に、再確認画面に表示されている NFP 権利ポリシーテンプレートも含め、それ以降の NFP 権利ポリシーテンプレートの削除を取りやめます。

\* 管理者用 NFP 権利ポリシーテンプレートをバックアップせず一覧から削除した場合、元に戻すことができません。  
この場合、この NFP 権利ポリシーテンプレートの権限や有効期限を変更してエクスポートすることができなくなるため、運用上支障が出る可能性があります。

## 削除確認画面

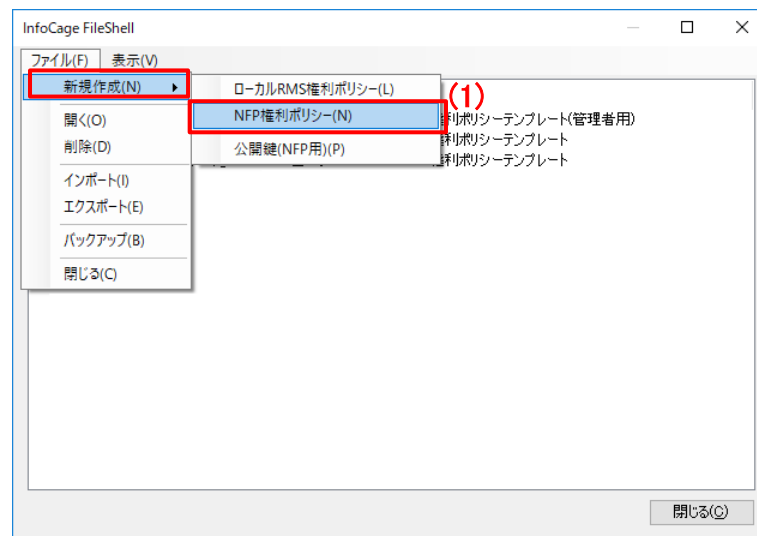


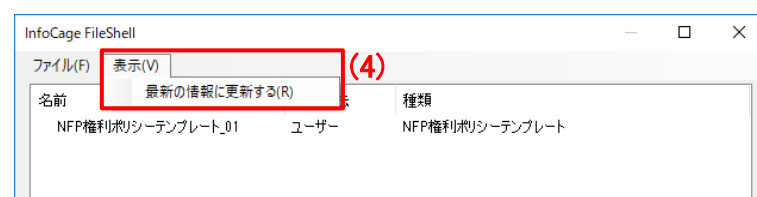
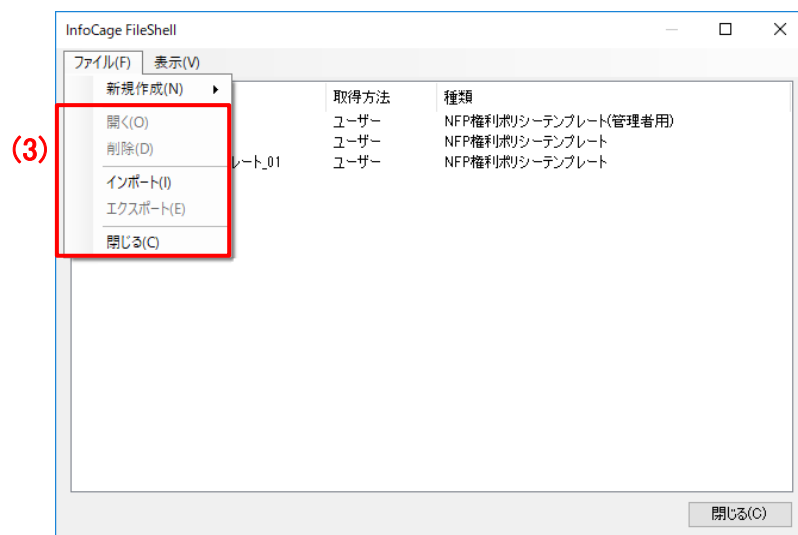
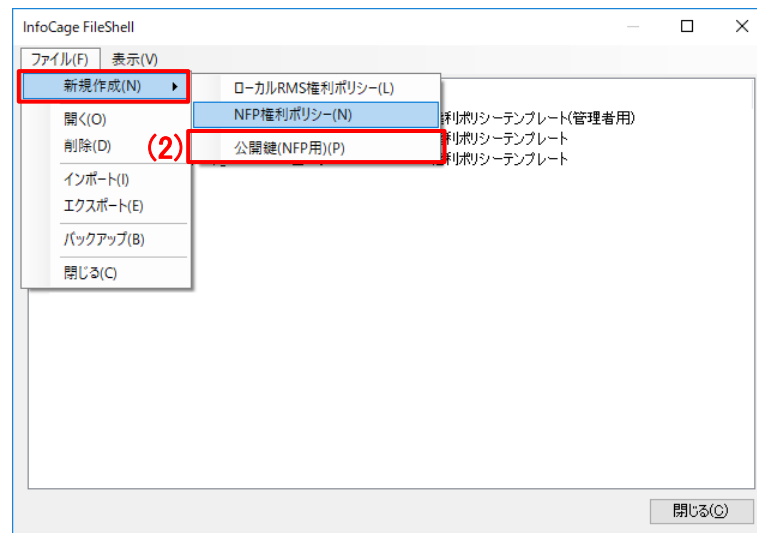
## 管理者用 NFP 権利ポリシーテンプレート 削除再確認画面



### 3.6.5.1 権利ポリシーテンプレート管理(メニュー)

#### 権利ポリシーテンプレート管理画面(メニュー)





項目		内容	参照
(1)	[ファイル]⇒[新規作成] ⇒[NFP 権利ポリシーテンプレート]メニュー	「NFP 権利ポリシーテンプレートの作成画面」を開きます。	—
(2)	[ファイル]⇒[新規作成] ⇒[公開鍵(NFP 用)]	NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 管理者に要求する際に使用する公開鍵を作成します。	3.6.5.4
	[ファイル]⇒[開く] メニュー	権利ポリシーテンプレートの作成画面を開きます。  * ポリシーテンプレート未選択時は無効となります。	—

(3)	[ファイル]⇒[削除] メニュー	<p>権利ポリシーテンプレートを削除します。</p> <p>* 使用中の権利ポリシーテンプレート(=青色)は削除できません。 そのため、青色の権利ポリシーを選択した場合、本項目は無効となります。 ポリシーテンプレート未選択時も同様に無効となります。</p>	—
	[ファイル]⇒[インポート] メニュー	<p>権利ポリシーテンプレートを xml 形式でインポートします。</p> <p>* ドラッグ&amp;ドロップにより、インポートする事もできます。</p>	—
	[ファイル]⇒[エクスポート] メニュー	<p>xml 形式の権利ポリシーテンプレートファイルをエクスポートします。</p> <p>* ポリシーテンプレート未選択時は無効となります。</p>	—
	[ファイル]⇒[閉じる] メニュー	「権利ポリシーテンプレート管理画面」を閉じます。	—
(4)	表示⇒[最新の情報に更新する] メニュー	権利ポリシーテンプレート一覧のリストを最新の情報に更新します。	—

### 3.6.5.2 NFP 権利ポリシーテンプレートの作成画面

#### 権利ポリシーテンプレートの作成画面

項目		内容	参照
(1)	[追加] ボタン	NFP 権利ポリシーテンプレートを新規に作成し、追加します。 * 新規作成で作成した NFP 権利ポリシーテンプレートは、作成したユーザーでのみ使用可能です。作成をおこなった PC 内の他のユーザーでこの NFP 権利ポリシーテンプレートを有効にする場合は、作成したユーザーでエクスポートをおこない、他のユーザーでログオン後にインポートをおこなう必要があります。	3.6.5.3
(2)	[OK] ボタン	追加した NFP 権利ポリシーテンプレートを保存し、終了します。	—
	[キャンセル] ボタン	追加した NFP 権利ポリシーテンプレートを保存せずに終了します。	—

### 3.6.5.3 新規作成

NFP 権利ポリシーテンプレートを新規作成する手順を説明します。

- \* 作成した NFP 権利ポリシーテンプレートは、すぐに使用可能となります。
- \* 新規作成で作成した NFP 権利ポリシーテンプレートは、作成したユーザーでのみ使用可能です。  
作成をおこなった PC 内の他のユーザーでこの NFP 権利ポリシーテンプレートを有効にする場合は、作成したユーザーでエクスポートをおこない、他のユーザーでログオン後にインポートをおこなう必要があります。



NFP 権利ポリシーファイルのエクスポート方法については、「3.6.5.7 エクスポート (パスワード暗号)」および「3.6.5.8 エクスポート (公開鍵暗号)」を参照してください。



NFP 権利ポリシーファイルのインポートについては、「3.6.5.5 インポート (パスワード認証)」および「3.6.5.6 インポート (公開鍵認証)」を参照してください。

- \* 新規作成した NFP 権利ポリシーテンプレートは、以下のように設定されます。

項目	設定
権限の種類	フルコントロール
作成者フルコントロール	設定あり
権利ポリシーテンプレートの種類	管理者用
有効期限	設定なし

#### Operation

1. 権利ポリシーテンプレート管理画面で[ファイル]メニューから、[新規作成] - [NFP 権利ポリシーテンプレート]を選択します。
  - \* 権利ポリシーテンプレート一覧の空白部分を右クリックして表示されるメニューからも、同様の操作をおこなうことができます。
2. NFP 権利ポリシーテンプレートの作成画面が表示されます。  
[追加]をクリックします。



3. 言語設定画面が表示されます。追加する言語、名前および説明を入力し、[OK]をクリックします。
- \* [名前]および「説明」は、ファイルの保護や設定などで NFP 権利ポリシーテンプレートを選択する際に表示されます。利用者が識別しやすい内容にしてください。

InfoCage FileShell

言語を選択し、NFP権利ポリシーテンプレートの名前と説明を入力してください。

言語(L): 日本語 (日本)

名前(N): 標準ポリシー

説明(D): 社内専用標準ポリシー

(4) OK キャンセル

項目		内容
(1)	言語	権利ポリシーテンプレート一覧で表示する言語を設定します。 * 日本語、英語、中国語(繁体字、台湾)、中国語(簡体字、中国)が選択できます。
(2)	名前	NFP 権利ポリシーテンプレートの名前を設定します。 * 1～256 文字で設定してください。
(3)	説明	NFP 権利ポリシーテンプレートの説明を設定します。 * 1～256 文字で設定してください。
(4)	[OK]ボタン	内容を確認し、NFP 権利ポリシーテンプレートの作成画面に戻ります。
	[キャンセル]ボタン	内容を破棄し、NFP 権利ポリシーテンプレートの作成画面に戻ります。

4. 言語を追加する場合は、手順 2～3 を繰り返します。
- \* 設定済みの内容を編集する場合は、NFP 権利ポリシーテンプレートの作成画面で、編集する言語をダブルクリックするか、編集する言語を選択し[編集]をクリックしてください。また、設定済みの内容を削除する場合は、言語を選択し[削除]をクリックしてください。
5. NFP 権利ポリシーテンプレートの作成画面に戻ります。
- [OK]をクリックし、権利ポリシーテンプレート管理画面に戻ります。
- \* リストに言語設定の登録がない場合は、[OK]をクリックすることはできません。

InfoCage FileShell

NFP権利ポリシーテンプレート名と説明を入力してください。

言語	ポリシー名	説明
日本語 (日本)	標準ポリシー	社内専用標準ポリシー
英語 (米国)	Standard policy	Standard policy for internal use only.

追加(A) 編集(E) 削除(R)

OK キャンセル

以上で、NFP 権利ポリシーテンプレートの新規作成は、終了です。

### 3.6.5.4 公開鍵の作成

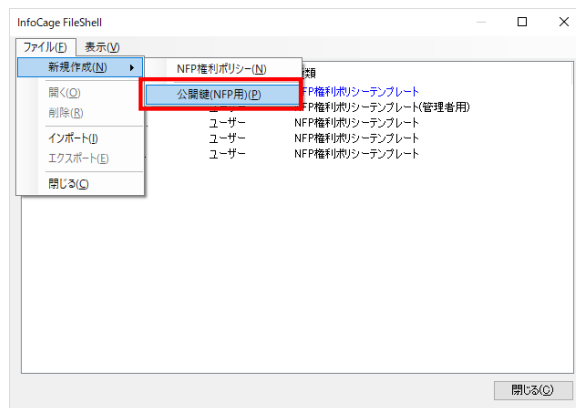
公開鍵を作成する手順を説明します。

公開鍵の作成は、NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 管理者に要求する際におこないます。

- \* 公開鍵は、作成したユーザー専用となります(作成した公開鍵を指定してエクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルをインポートしても、同一 PC 内の他のユーザーには適用されません)。  
同一 PC 内の他のユーザーに NFP 権利ポリシーテンプレートを適用する場合は、ユーザーごとに公開鍵を作成し、NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 管理者に要求する必要があります。



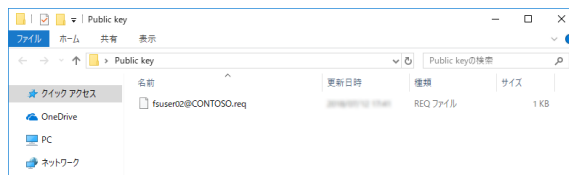
1. 権利ポリシーテンプレート管理画面の[ファイル]メニューから、[新規作成] - [公開鍵(NFP 用)]をクリックします。



2. [名前を付けて保存]画面が表示されます。  
任意のファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

- \* デフォルトのファイル名は「ユーザー名@ドメイン名(または PC 名).req」です。
- \* FileShell 管理者からファイル名の命名規則について指示が出ている場合は、その指示にしたがってください

3. 公開鍵(req 形式)が作成されます。



- \* 作成した公開鍵は、FileShell 管理者へ送付してください。
- \* 作成した公開鍵は、NFP 権利ポリシーファイルをインポートするまで削除しないでください。
- \* FileShell 管理者から公開鍵で暗号化された NFP 権利ポリシーファイルが配布されたあとは、「3.6.5.6 インポート (公開鍵認証)」で NFP 権利ポリシーテンプレートのインポートをおこなってください。

以上で、公開鍵の作成は、終了です。

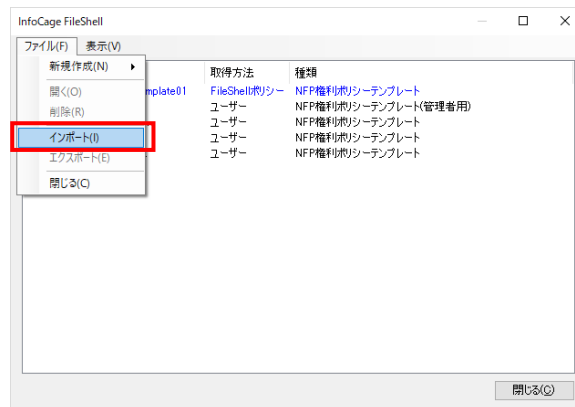
### 3.6.5.5 インポート (パスワード認証)

NFP 権利ポリシーファイルをパスワード認証を使用してインポートする手順を説明します。

- \* NFP 権利ポリシーテンプレートは、インポートをおこなったユーザーにのみ適用されます(同一 PC 内の他のユーザーには適用されません)。同一 PC 内の他のユーザーにも NFP 権利ポリシーテンプレートを適用する場合は、ユーザーごとに NFP 権利ポリシーファイルをインポートする必要があります。
- \* 権利ポリシーテンプレート一覧に既に同じ共通鍵の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在する場合は、上書きインポートとなります。ただし、管理者用の NFP 権利ポリシーテンプレートに対しては上書きインポートができません。



1. 権利ポリシーテンプレート管理画面の[ファイル]メニューから、[インポート]をクリックします。



2. [開く]画面が表示されます。  
パスワード暗号でエクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルを指定して、[開く]をクリックします。

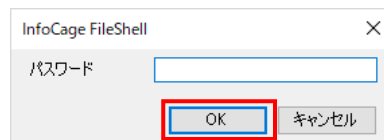
- \* バックアップされた NFP 権利ポリシーテンプレートをインポートすることもできます。



バックアップについては、「3.6.5.9 バックアップ」を参照してください。

- \* 権利ポリシーテンプレート管理画面に NFP 権利ポリシーファイルをドラッグ&ドロップしてインポートすることもできます。
- \* 公開鍵暗号でエクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルをパスワード認証でインポートすることは出来ません。

3. パスワード認証をおこないます。  
パスワード入力画面で、FileShell 管理者から通知されたパスワードを入力、[OK]をクリックします。



#### 4. NFP 権利ポリシーテンプレートがインポートされ、権利ポリシーテンプレート一覧に表示されます。



- \* パスワード暗号でエクスポートされたNFP権利ポリシーファイルをインポートした場合、そのNFP権利ポリシーテンプレートはエクスポートすることはできません。
- \* バックアップされた NFP 権利ポリシーテンプレートをインポートした場合、その NFP 権利ポリシーテンプレートをエクスポートすることができます。



エクスポートについては、「3.6.5.7 エクスポート (パスワード暗号)」を参照してください。

以上で、パスワード認証によるインポートは、終了です。

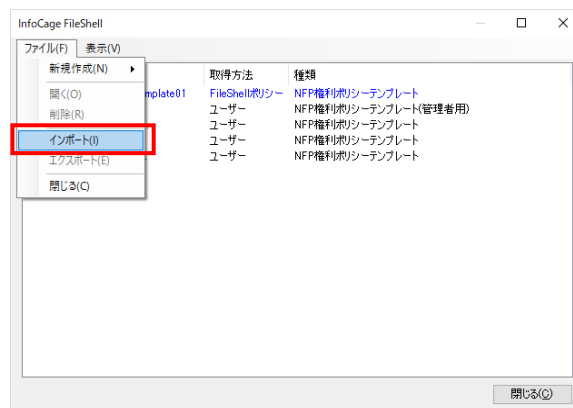
### 3.6.5.6 インポート (公開鍵認証)

NFP 権利ポリシーファイルを公開鍵認証を使用してインポートする手順を説明します。

- \* NFP 権利ポリシーテンプレートは、インポートをおこなったユーザーにのみ適用されます(同一 PC 内の他のユーザーには適用されません)。同一 PC 内の他のユーザーにも NFP 権利ポリシーテンプレートを適用する場合は、ユーザーごとに公開鍵を作成し、NFP 権利ポリシーファイルを FileShell 管理者に要求する必要があります。
- \* 権利ポリシーテンプレート一覧に既に同じ共通鍵の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在する場合は、上書きインポートとなります。ただし、管理者用の NFP 権利ポリシーテンプレートに対しては上書きインポートができません。



#### 1. 権利ポリシーテンプレート管理画面の[ファイル]メニューから、[インポート]をクリックします。



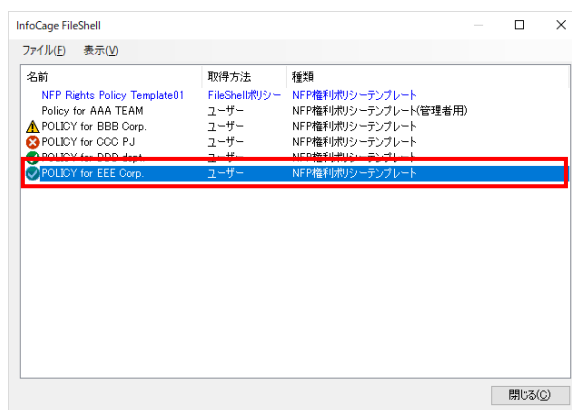
## 2. [開く]画面が表示されます。

公開鍵暗号でエクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルを指定して、[開く]をクリックします。

- \* 権利ポリシーテンプレート管理画面に NFP 権利ポリシーファイルをドラッグ&ドロップすることもできます。
- \* パスワード暗号でエクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルを公開鍵認証でインポートすることはできません。
- \* 使用中の PC およびユーザー以外で作成した公開鍵を使用して暗号化された NFP 権利ポリシーファイルをインポートすることはできません。

## 3. NFP 権利ポリシーテンプレートがインポートされ、権利ポリシーテンプレート一覧に表示されます。

- \* 公開鍵認証では、公開鍵を作成した PC に保存された情報を使用して認証をおこなうため、認証画面などは表示されません。



- \* 公開鍵暗号でエクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルをインポートした場合、その NFP 権利ポリシーテンプレートはエクスポートすることはできません。

以上で、公開鍵認証によるインポートは、終了です。

### 3.6.5.7 エクスポート (パスワード暗号)

NFP 権利ポリシーテンプレートをパスワード暗号でエクスポートする手順を説明します。

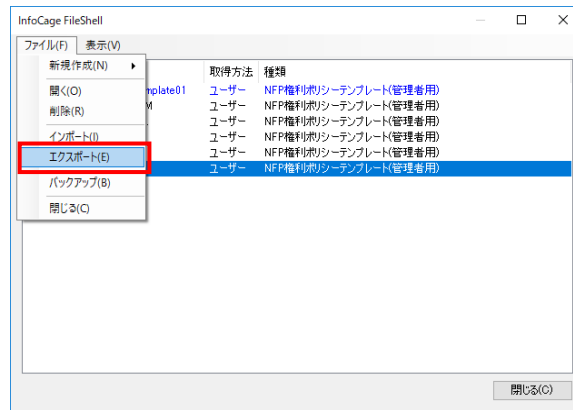
- \* この手順でエクスポートした NFP 権利ポリシーテンプレートは、以下のように設定されます。

項目	設定
権限の種類	※エクスポート時に設定
作成者フルコントロール	※エクスポート時に設定
権利ポリシーテンプレートの種類	標準利用者用
有効期限	※エクスポート時に設定

## Operation

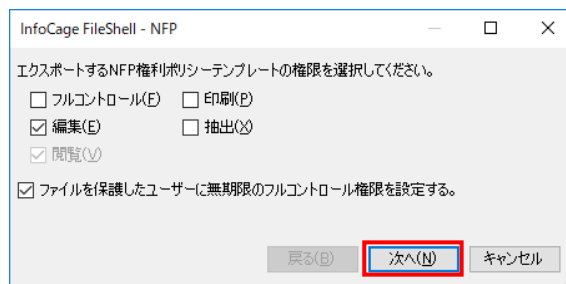
### 1. 権利ポリシーテンプレート管理画面の権利ポリシーテンプレート一覧でエクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートを選択し、[ファイル]メニューから、[エクスポート]をクリックします。

- \* 「NFP 権利ポリシーテンプレート(管理者用)」のみエクスポートをおこなうことが可能です。
- \* 権利ポリシーテンプレート一覧で NFP 権利ポリシーテンプレートを選択し、右クリックして表示されるメニューから、[エクスポート]をクリックして実行することもできます。



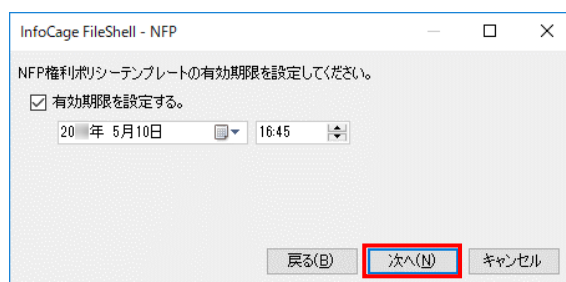
2. エクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートの権限を設定します。  
権限を設定し、[次へ]をクリックします。

- \* エクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートに「作成者フルコントロール」を設定しない場合は、[ファイルを保護したユーザーに無期限のフルコントロール権限を設定する]のチェックをはずします。



権限の詳細については、「1.3 権限について」を参照してください。

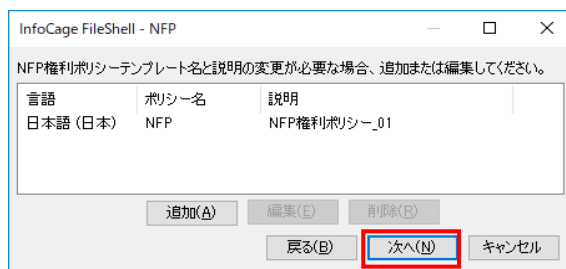
3. エクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限を設定します。  
有効期限を設定する場合は、チェックを ON にし、期限を設定してください。  
設定の完了後、[次へ]をクリックします。



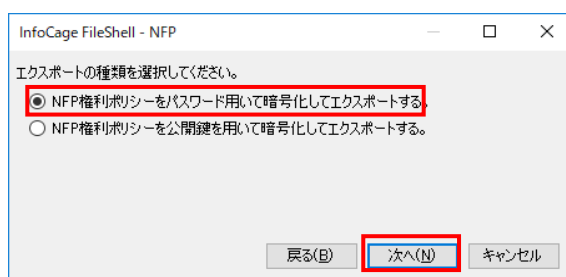
4. エクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートの名前および説明、言語の編集をおこないます。  
表示されている言語をダブルクリックして編集をおこなうか、[追加]をクリックして言語を追加してください。  
設定の完了後、[次へ]をクリックします。

- \* NFP 権利ポリシーテンプレートの名前および説明、言語の編集方法については、「3.6.5.3 新規作成」と同じです。
- \* この手順は、以下の場合などに設定します。

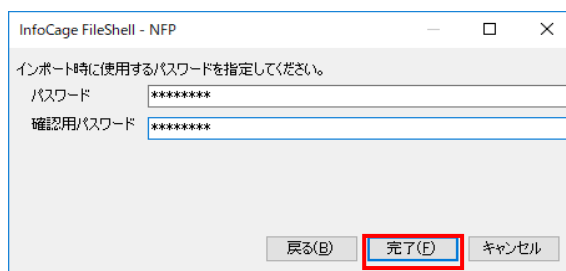
- NFP 権利ポリシーテンプレートを FileShell 利用者が識別しやすい名前や説明に変更しエクスポートする
  - NFP 権利ポリシーテンプレートに言語を追加しエクスポートする
- \* この手順で設定した内容は、エクスポートした NFP 権利ポリシーテンプレートにのみ反映されます。



5. エクスポート方式の選択画面が表示されます。  
[パスワードを用いて暗号化したファイルとしてエクスポートする]を選択し、[次へ]をクリックします。



6. パスワード暗号をおこないます。  
パスワード設定画面でパスワードを設定し、[完了]をクリックします。



- \* パスワードは、1～256 文字で設定してください。

7. [名前を付けて保存]画面が表示されます。  
任意のファイル名を入力し、[保存]をクリックします。
8. エクスポートされた NFP 権利ポリシーファイルが作成されます。



以上で、パスワード暗号でのエクスポートは、終了です。

### 3.6.5.8 エクスポート (公開鍵暗号)

FileShell 利用者が作成した公開鍵を指定して、NFP 権利ポリシーテンプレートをエクスポートする手順を説明します。



公開鍵の作成については、「3.6.5.4 公開鍵の作成」を参照してください。

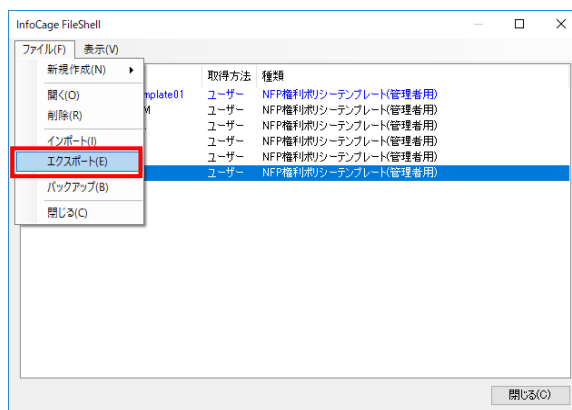
\* この手順でエクスポートした NFP 権利ポリシーテンプレートは、以下のように設定されます。

項目	設定
権限の種類	※エクスポート時に設定
作成者フルコントロール	※エクスポート時に設定
権利ポリシーテンプレートの種類	標準利用者用
有効期限	※エクスポート時に設定

#### Operation

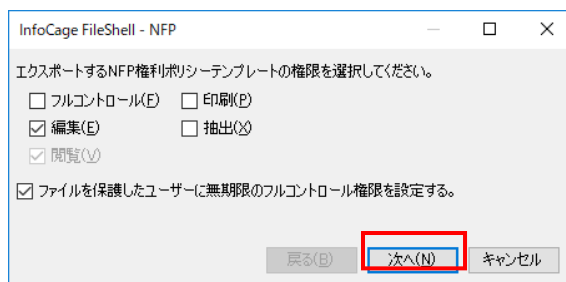
1. 権利ポリシーテンプレート管理画面の権利ポリシーテンプレート一覧でエクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートを選択し、[ファイル]メニューから、[エクスポート]をクリックします。

- \* 「NFP 権利ポリシーテンプレート(管理者用)」のみエクスポート可能です。
- \* 権利ポリシーテンプレート一覧で NFP 権利ポリシーテンプレートを選択し、右クリックして表示されるメニューから、[エクスポート]をクリックして実行することもできます。



2. エクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートの権限を設定し、[次へ]をクリックします。

- \* エクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートに「作成者フルコントロール」を設定しない場合は、[ファイルを保護したユーザーに無期限のフルコントロール権限を設定する]のチェックをはずします。



権限の詳細については、「1.3 権限について」を参照してください。

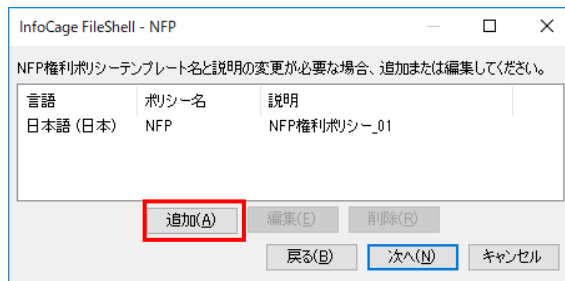


3. エクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限を設定します。  
有効期限を設定する場合は、チェックを ON にし、期限を設定してください。  
設定の完了後、[次へ]をクリックします

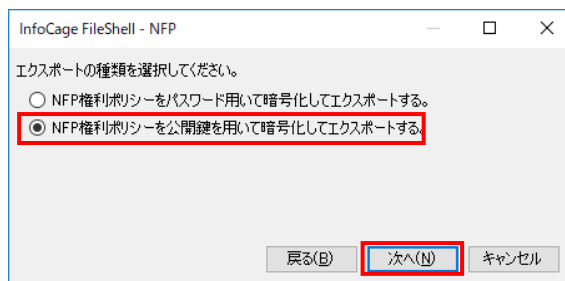


4. エクスポートする NFP 権利ポリシーテンプレートの名前および説明、言語の編集をおこないます。  
表示されている言語をダブルクリックして編集をおこなうか、[追加]をクリックして言語を追加してください。  
設定の完了後、[次へ]をクリックします。

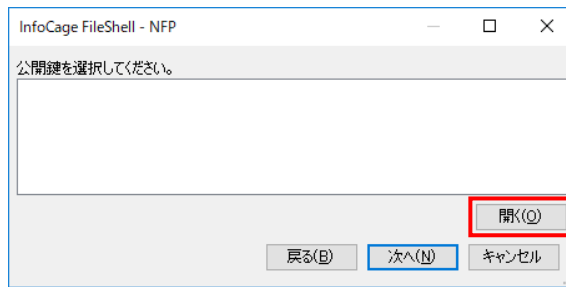
- \* NFP 権利ポリシーテンプレートの名前および説明、言語の編集方法については、「3.6.5.3 新規作成」と同じです。
- \* この手順は、以下の場合などに設定します。
  - NFP 権利ポリシーテンプレートを FileShell 利用者が識別しやすい名前や説明に変更しエクスポートする
  - NFP 権利ポリシーテンプレートに言語を追加しエクスポートする
- \* この手順で設定した内容は、エクスポートした NFP 権利ポリシーテンプレートにのみ反映されます。



5. エクスポート方式の選択画面が表示されます。  
[公開鍵を用いて暗号化したファイルとしてエクスポートする]を選択し、[次へ]をクリックします。

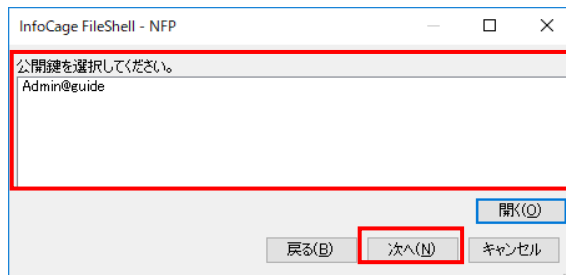


6. 公開鍵の選択画面が表示されます。  
公開鍵(req 形式)をリストにドラッグ&ドロップするか、[開く]をクリックします。

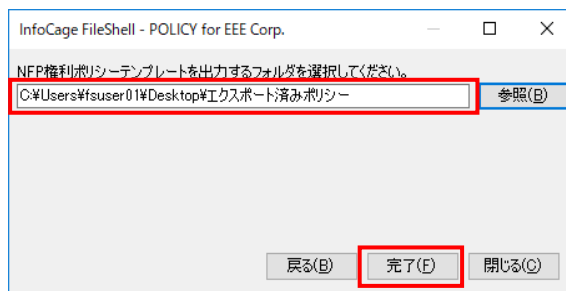


7. 手順 6 で「開く」をクリックした場合は、「開く」画面が表示されます。  
公開鍵(req 形式)を選択し、[開く]をクリックします。
- \* 公開鍵を複数指定することもできます。  
この場合は、事前送付された公開鍵を 1 つのフォルダーにまとめておく必要があります。

8. 公開鍵の指定画面に戻ります。  
手順 6 および 7 で指定した公開鍵が表示されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



9. 出力先フォルダーの指定画面が表示されます。  
NFP 権利ポリシーファイルを出力するフォルダーを指定し、[完了]をクリックします。



10. エクスポートされた NFP 権利ポリシーファイル(xml 形式)が作成されます。



- \* エクスポートした NFP 権利ポリシーファイルは、公開鍵(req ファイル)と同じ名前で出力されます。  
例) fsuser02@CONTOSO.req → fsuser02@CONTOSO.xml

- \* エクスポートした NFP 権利ポリシーファイルは、公開鍵を発行した FileShell 利用者へ送付してください。
- \* FileShell 利用者は、管理者から NFP 権利ポリシーファイルを受け取ったあと、「3.6.5.6 インポート（公開鍵認証）」で NFP 権利ポリシーテンプレートのインポートをおこないます。

以上で、公開鍵を指定しておこなうエクスポートは、終了です。

### 3.6.5.9 バックアップ

NFP 権利ポリシーテンプレートをバックアップする手順を説明します。

- \* バックアップは、NFP 権利ポリシーテンプレートを管理している FileShell クライアント PC の移行の際や故障への備えとして使用します。  
バックアップした NFP 権利ポリシーファイルは、他の FileShell クライアントでインポートすることができます。
- \* 上記の用途以外に、役職者など、部門単位等の複数管理者で NFP 権利ポリシーテンプレートを共有し、各管理者で任意の有効期限を設定して配布するなどの場合にも使用します。
- \* NFP 権利ポリシーテンプレートを管理している FileShell クライアント PC が故障したり、または、NFP 権利ポリシーテンプレートが破損した場合、配布している NFP 権利ポリシーテンプレートの言語の設定、権限、有効期限などの設定を変更することができなくなります。  
万一の事態に備え、NFP 権利ポリシーテンプレートのバックアップをおこなってください。
- \* バックアップしたファイルの格納先は、情報漏えい防止の観点から、アクセス制限された共有フォルダーに保管するなどし、設定したパスワードが外部に漏洩しないよう安全に管理をしてください。



NFP 権利ポリシーテンプレートのエクスポートについては、「3.6.5.7 エクスポート（パスワード暗号）」または「3.6.5.8 エクスポート（公開鍵暗号）」を参照してください。

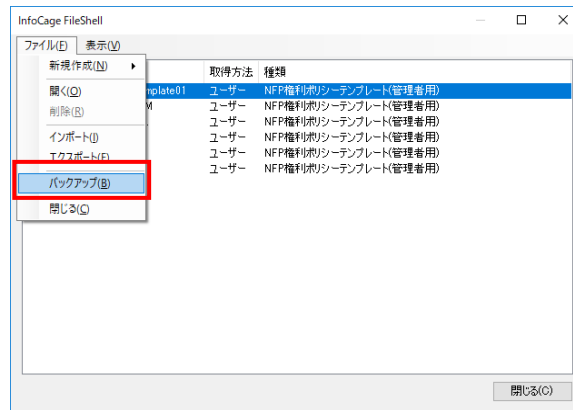


権限については、「1.3 権限について」を参照してください。

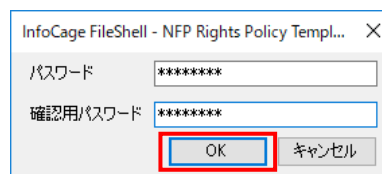
- \* この手順でバックアップした NFP 権利ポリシーテンプレートは、以下のように設定されます。

項目	設定
権限の種類	フルコントロール
作成者フルコントロール	設定あり
権利ポリシーテンプレートの種類	管理者用
有効期限	設定なし

1. 権利ポリシーテンプレート管理画面の権利ポリシーテンプレート一覧で NFP 権利ポリシーテンプレートを選択し、[ファイル]メニューから、[バックアップ]をクリックします。

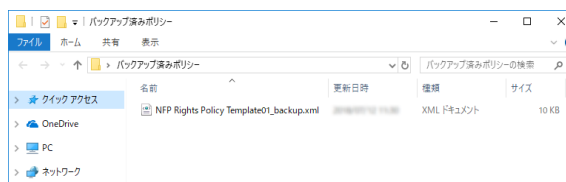


2. パスワード暗号をおこないます。  
パスワード設定画面でパスワードを設定し、[OK]をクリックします。



\* パスワードは、1～256 文字で設定してください。

3. [名前を付けて保存]画面が表示されます。  
任意のファイル名を入力し、[保存]をクリックします。
4. バックアップされた NFP 権利ポリシーファイルが作成されます。



以上で、バックアップは、終了です。

### 3.6.5.10 バックアップとエクスポートについて

バックアップとエクスポートの違いについて説明します。

バックアップは、主に NFP 権利ポリシーテンプレートを管理している FileShell クライアント PC の移行の際や故障への備えとして使用します。

バックアップした NFP 権利ポリシーテンプレートは、他の FileShell クライアントへインポートした後、エクスポートおよびバックアップすることができます。

エクスポートは、FileShell 利用者用に NFP 権利ポリシーテンプレートを配布する際に使用します。

エクスポートした NFP 権利ポリシーテンプレートは、他の FileShell クライアントへインポートした後、エクスポートおよびバックアップすることはできません。

NFP 権利ポリシーテンプレートをバックアップまたはエクスポートした NFP 権利ポリシーテンプレートを FileShell クライアントにインポートした場合、状態は下記のように異なります。

出力方法	インポート後の状態	編集 <sup>*1</sup>	更新 <sup>*1</sup>	エクスポート	バックアップ
バックアップ	管理者用	○	×	○	○
エクスポート	標準利用者用	×	○	×	×

<sup>\*1</sup>「編集」は、NFP 権利ポリシーテンプレートの名前および説明を編集することを指します。

「更新」は、既存の NFP 権利ポリシーテンプレートを上書きでインポートすることを指します。



NFP 権利ポリシーテンプレートのバックアップについては、「3.6.5.9 バックアップ」を参照してください。



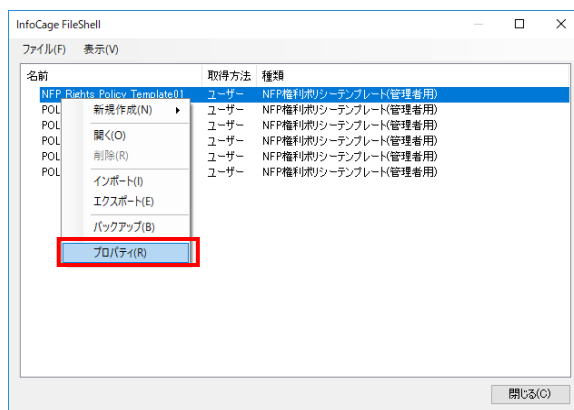
NFP 権利ポリシーテンプレートのエクスポートについては、「3.6.5.7 エクスポート（パスワード暗号）」または「3.6.5.8 エクスポート（公開鍵暗号）」を参照してください。

### 3.6.5.11 プロパティ

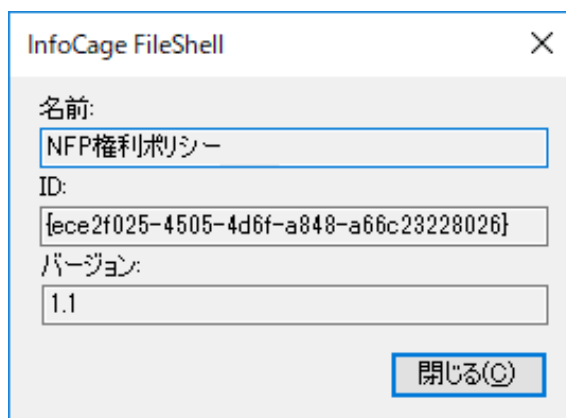
NFP 権利ポリシーテンプレートのプロパティを確認する手順を説明します。



1. 権利ポリシーテンプレート管理画面の権利ポリシーテンプレート一覧で NFP 権利ポリシーテンプレートを選択し、右クリックして表示されるメニューから、[プロパティ]をクリックします。



2. NFP 権利ポリシーテンプレートのプロパティが表示されます。



項目		内容
(1)	名前	NFP 権利ポリシーテンプレートの名前が表示されます。 OS の言語設定に合わせて日本語または英語で表示されます。 * 日本語および英語以外の言語設定の場合は、英語で表示されます。
	ID	NFP 権利ポリシーテンプレートの ID が表示されます。
	バージョン	NFP 権利ポリシーテンプレートのバージョンが表示されます。

以上で、プロパティの確認は、終了です。

### 3.6.5.12 詳細表示

NFP 権利ポリシーテンプレートの詳細を表示します。

- \* サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートと、鍵配布版の NFP 権利ポリシーテンプレートで、一部項目が異なります。

#### サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートの詳細画面

項目		内容
(1)	[ポリシー名と説明]リスト	NFP 権利ポリシーテンプレートに登録されている言語およびその言語を使用する環境で表示されるポリシー名と説明が表示されます。
(2)	ファイルを保護したユーザーに無期限のフルコントロールの権限を付与する	設定が有効の場合は、有効期限が表示されます。 * 設定されていない場合は、「-」が表示されます。
	有効期限	設定が有効の場合は、有効期限が表示されます。 * 設定されていない場合は、「-」が表示されます。
(3)	[閉じる]ボタン	権利ポリシーテンプレート管理画面に戻ります。

#### 鍵配布版の NFP 権利ポリシーテンプレートの詳細画面

項目		内容	参照	
(1)	[ポリシー名と説明]リスト	NFP 権利ポリシーテンプレートに登録されている言語およびその言語を使用する環境で表示されるポリシー名と説明が表示されます。	—	
(2)	[追加]ボタン	言語設定を追加します。 * 標準利用者用 NFP 権利ポリシーテンプレートの場合はクリックすることはできません。	3.6.5.3 の手順 3	
	[編集]ボタン	選択した言語設定を編集します。 * 標準利用者用 NFP 権利ポリシーテンプレートの場合はクリックすることはできません。	3.6.5.3 の手順 3	
	[削除]ボタン	選択した言語設定を削除します。 * 複数の言語を選択することはできません。 * 標準利用者用 NFP 権利ポリシーテンプレートの場合はクリックすることはできません。	—	
(3)	情報			
	権限	フルコントロール	フルコントロール権限を有する場合は、「はい」が表示されます。 * ユーザーが[フルコントロール]の権限を有する場合は、他の項目もすべて「はい」と表示されます。	—
		編集	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が表示されます。	—
		閲覧	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が表示されます。 * ユーザーが[フルコントロール]、[編集]、[印刷]、[抽出]のいずれかの権限を有する場合は、本項目も「はい」と表示されます。	—
		印刷	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が表示されます。	—
		抽出	ユーザーがこの権限を有する場合は、「はい」が表示されます。	—
	オプション	ファイルを保護したユーザーに無期限のフルコントロールの権限を付与する	設定が有効の場合は、「はい」が表示されます。	—
		有効期限	設定が有効の場合は、有効期限が表示されます。 * 設定されていない場合は、「-」が表示されます。	—
(4)	[OK]ボタン	変更を保存し、権利ポリシーテンプレート管理画面に戻ります。 * [ポリシー名と説明]リストに言語設定の登録がない場合は、クリックすることはできません。	—	
	[キャンセル]ボタン	変更を保存せずに権利ポリシーテンプレート管理画面に戻ります。 * 標準利用者用 NFP 権利ポリシーテンプレートの場合は表示されません。	—	

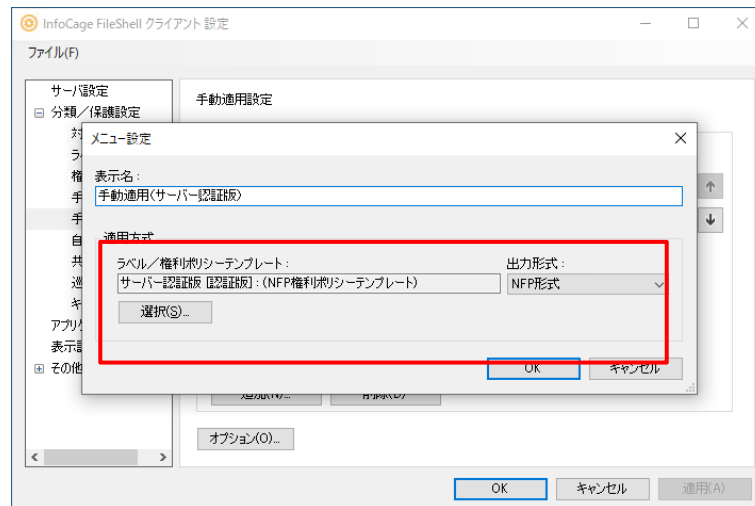


### 3.6.5.13 NFP 権利ポリシーテンプレートを使用して保護をおこなう場合の設定

NFP の環境で、NFP 権利ポリシーテンプレートを使用して保護(手動適用、自動適用、共有フォルダー適用、および巡回ツール適用による保護)をおこなう場合は、クライアント設定ツールの各保護方法の設定画面の[適用方式]で[選択]をクリックし、使用する権利ポリシーテンプレートのリストから、NFP 権利ポリシーテンプレートを選択してください。

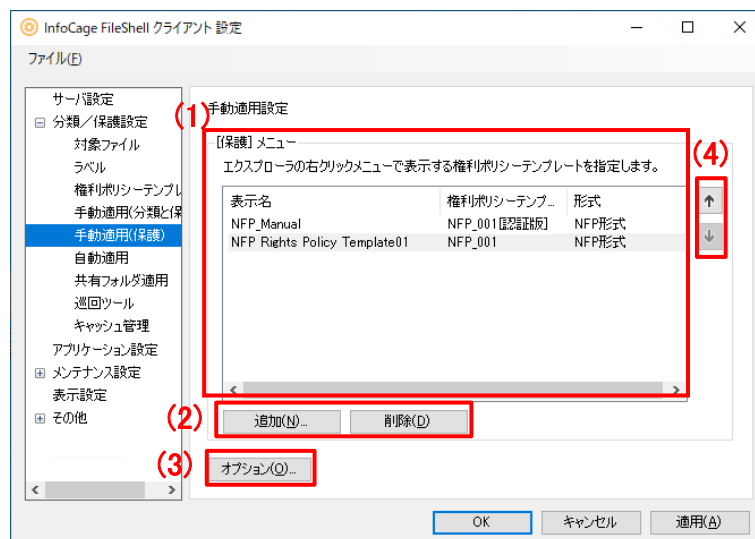
なお、リストから NFP 権利ポリシーテンプレートを選択した場合は、[出力形式]に「NFP 形式」と表示されます。

#### 例) 手動適用(保護)の場合



### 3.6.6 手動適用

#### 手動適用設定画面



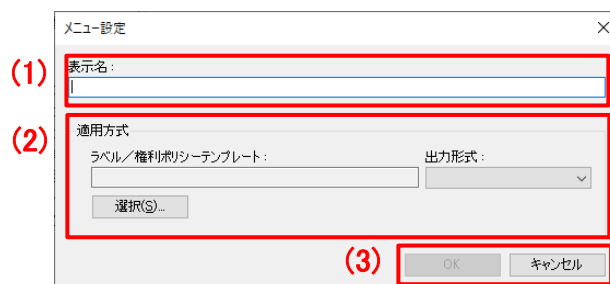
項目	内容
(1) [保護メニュー] リスト	エクスプローラーのコンテキストメニューで表示する権利ポリシーテンプレートを指定します。 * サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートの場合、権利ポリシーテンプレート名に[認証版]の文字が付加されます。
(2)	[追加]ボタン
	[削除]ボタン
	[既定値に戻す]ボタン
(3) [オプション]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない、または受信したポリシーに手動保護ポリシーが設定されていない場合は表示されません。
(4) [表示順序変更]ボタン	「手動保護 オプション画面」を開きます。 右クリックして表示される[InfoCage FileShell]メニュー - [保護]に表示される権利ポリシーテンプレートの順番を変更します。



権利ポリシーテンプレートの作成の詳細は『クライアント利用ガイド』の「権利ポリシーテンプレートの作成での共通操作」を参照してください。

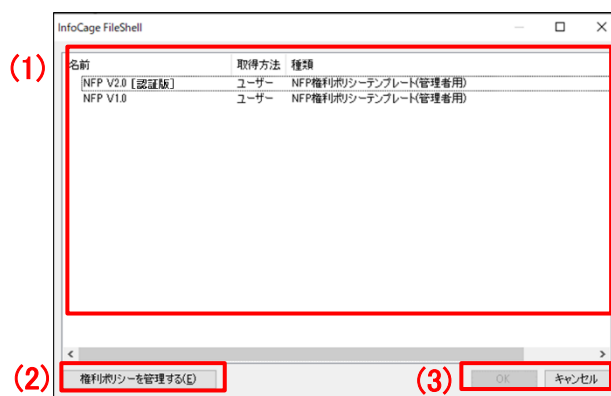
- \* 手動適用ポリシーの表示順序を変更している場合は、手動適用ポリシーの設定変更を含んだ FileShell ポリシーを受信しても FileShell クライアント側には反映されません。  
この場合、[既定値に戻す] をクリックして、手動適用ポリシーを反映させてください。  
なお、この操作をおこなうと、手動適用ポリシーの表示順序が破棄され FileShell サーバー側の設定が反映されます。必要に応じて再度並び替えてください。

#### メニュー設定 画面



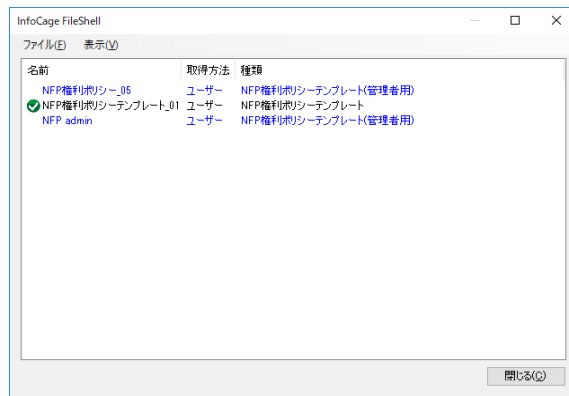
項目		内容
(1)	表示名	FileShell の右クリックメニュー[保護]に表示される名称を入力します。 * 1～64 文字で設定してください。 * 以下の文字は使用できません。 ¥ / * ? “ < >   . & : および タブ文字 先頭および末尾に 全角/半角スペース
(2)	適用方式	権利ポリシーテンプレートおよび出力形式を設定します。
	ラベル／権利ポリシーテンプレート	選択されたラベル／権利ポリシーテンプレートが表示されます。
	[選択]ボタン	[権利ポリシーテンプレート選択]画面を表示します。
(3)	[出力形式]選択ボタン	対象ファイルおよびフォルダーの手動適用に利用する出力形式を選択します。 * 「NFP 形式」が選択できます。
	[OK]ボタン	設定内容を手動適用設定画面に反映します。
	[キャンセル]ボタン	メニュー設定画面を閉じます。

### 権利ポリシーテンプレート選択画面

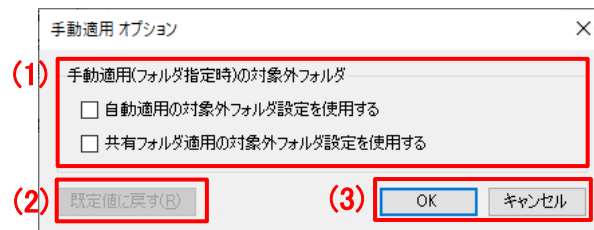


項目		内容
(1)	権利ポリシーテンプレート一覧	リストから手動保護に利用可能な権利ポリシーテンプレートを選択します。 * サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートの場合、権利ポリシーテンプレート名に[認証版]の文字が付加されます。
(2)	[権利ポリシーを管理する]ボタン	「権利ポリシーテンプレート管理画面」を開きます。
(3)	[OK]ボタン	選択した権利ポリシーテンプレートを手動保護メニュー設定画面に反映します。
	[キャンセル]ボタン	権利ポリシーテンプレート選択画面を閉じます。

## 権利ポリシーテンプレート選択画面



## 手動適用 オプション画面

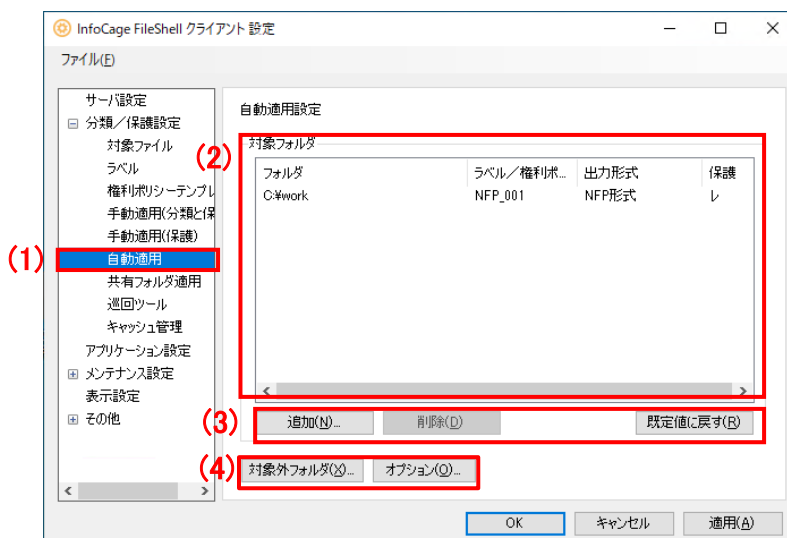


項目	内容
▼手動適用(フォルダ指定時)の対象外フォルダ	
(1)	<div>[自動適用の対象外フォルダ設定を使用する]チェックボックス</div> <div>手動適用の対象外フォルダーとして自動適用の対象外の設定を使用する場合にチェックします。</div> <div>[共有フォルダ適用の対象外フォルダー設定を使用する]チェックボックス</div> <div>手動適用の対象外フォルダーとして共有フォルダー設定の対象外の設定を使用する場合にチェックします。</div>
(2)	[既定値に戻す]ボタン 手動適用オプションの設定を既定値((1)の項目がチェックされていない状態)に戻します。
(3)	[OK]ボタン 手動設定オプションを設定し「手動設定」画面(保護)に戻ります。
	[キャンセル]ボタン 「手動適用 オプション画面」を閉じます。

- \* 手動適用(フォルダー指定時)の適用対象外フォルダーの設定は、フォルダーやドライブを指定して手動適用をおこなった際に、自動適用および共有フォルダー適用で指定した対象外フォルダーを除外する、等の場合に使用します。

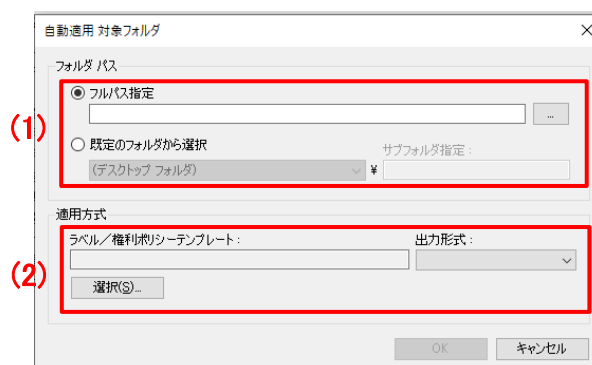
### 3.6.7 自動適用

#### 自動適用設定画面



項目	内容	参照
(1)	分類／保護設定から自動保護を選択します。	
(2)	対象フォルダー一覧	自動適用対象となるフォルダー、権利ポリシーテンプレート、出力形式、保護の有無を表示します。
(3)	[追加] ボタン	「自動適用対象フォルダー追加」画面を開きます。
	[削除] ボタン	選択されている自動適用設定を削除します。
	[既定値に戻す] ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない、または受信したポリシーに自動適用対象となるフォルダーが設定されていない場合は表示されません。
(4)	[対象外フォルダー] ボタン	「対象外フォルダー設定」画面を開きます。
	[オプション] ボタン	「自動適用オプション設定」画面を開きます。

#### 自動適用対象フォルダー追加画面



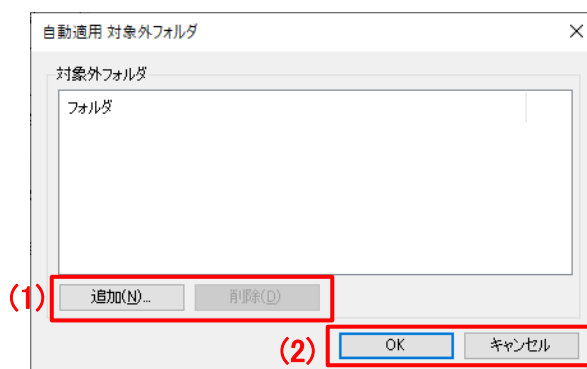
項目		内容
(1)	フルパス指定	<p>自動適用対象となるフォルダーをフルパスで設定します。</p> <p>* 以下の文字は使用できません。  “&lt;&gt;  ? および タブ文字  先頭に ¥ . および 全角/半角スペース  末尾に . および 全角/半角スペース  AUX CON NUL PRN  COMn LPTn ※小文字 n は 1～9 の数字</p> <p>* 共有フォルダーを特定のドライブにアサインした「ネットワークドライブ」を指定することはできません。</p>
	既定のフォルダから選択	<p>自動適用対象となるフォルダーを以下から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デスクトップ フォルダ</li> <li>・ マイドキュメント フォルダ</li> <li>・ ユーザプロファイル フォルダ</li> <li>・ フロッピードライブおよびリムーバブルドライブ</li> <li>・ OneDrive の同期フォルダ(個人用)</li> <li>・ OneDrive の同期フォルダ(仕事用)</li> <li>・ Box Drive の同期フォルダ</li> <li>・ すべてのローカルドライブ</li> </ul> <p>* OneDrive for Business の同期フォルダーを指定する場合は、[OneDrive の同期フォルダ(仕事用)]を選択してください。  OneDrive (個人向け)の同期フォルダーを指定する場合は、[OneDrive の同期フォルダ(個人用)]を選択してください。</p>
(2)	適用方式	対象フォルダーの自動適用に利用する適用方式を指定します。
	ラベル／権利ポリシーテンプレート	自動適用に利用可能な「権利ポリシーテンプレート選択」画面を開きます。
	[出力形式]選択ボタン	<p>対象フォルダーの自動適用に利用する出力形式を選択します。</p> <p>* 「NFP 形式」が選択できます。</p>

## Notice

- OneDrive および OneDrive for Business でクラウド領域を複数の FileShell クライアントで共有している環境では、FileShell クライアントのうち、1 台で同期フォルダーの自動適用を設定し、その他のクライアントには同期フォルダーの自動適用を設定しない運用としてください。  
クラウド領域を共有している FileShell クライアントすべてに同期フォルダーの自動適用を設定した場合、同期の競合により、分類／保護済みのファイルが多数複製される場合があります。  
なお、クラウド領域および自動適用を設定していない FileShell クライアント上の同期ファイルは、自動適用が設定された FileShell クライアントと同期する際に分類／保護され、そのファイルが再度クラウド領域や他の FileShell クライアントと同期されることで分類／保護されます。  
このため、同期フォルダーの自動適用を設定した FileShell クライアントがインターネット回線に接続されていない場合、クラウド領域や同期フォルダーの自動適用を設定していない FileShell クライアントの分類／保護されていないファイルは分類／保護されません。
- 保護された OneDrive 上のファイルを Web 上のアプリケーション(Office Online、テキストビューアなど)で開いたり編集したりすることはできません。  
また、FileShell で OneDrive の同期フォルダー(個人用または仕事用)を自動適用の対象にしている場合は、クラウド領域で新規作成されたファイルも同期されます。  
このため、FileShell 非搭載 PC や Andriod/iOS 搭載など端末からクラウド上のファイルを開く必要がある場合は、これらのフォルダーを自動適用の対象にしないでください。
- OneDrive の機能により、隠し属性のファイルが、属性が外れた状態で分類／保護される場合があります。

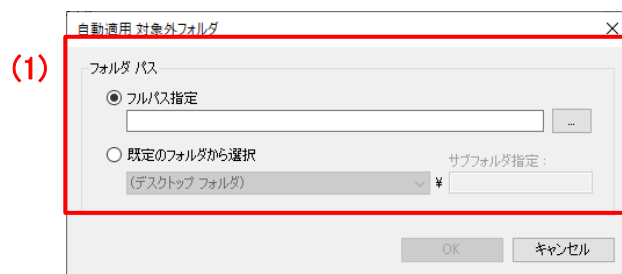
### 3.6.7.1 自動適用対象外フォルダー設定

自動適用対象外フォルダー設定画面



項目		内容
(1)	[追加]ボタン	「自動適用対象外フォルダ追加」画面を開きます。
	[削除]ボタン	選択されているフォルダーを対象外フォルダーから削除します。
	[既定値に戻す]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない、または受信したポリシーに自動設定除外対象となるフォルダーが設定されていない場合は表示されません。
(2)	[OK]ボタン	自動適用対象外フォルダーを設定し「自動設定」画面に戻ります。
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

自動適用対象外フォルダー追加設定画面



項目		内容
(1)	[フルパス指定]ラジオボタン	自動適用の対象外となるフォルダーをフルパスで設定します。 * 以下の文字は使用できません。 " < >   ? および タブ文字 先頭に ¥ . および 全角/半角スペース 末尾に . および 全角/半角スペース AUX CON NUL PRN COMn LPTn ※小文字 n は 1～9 の数字
	[既定のフォルダから選択]ラジオボタン	自動適用の対象外となるフォルダーを以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デスクトップ フォルダ</li> <li>・ マイドキュメント フォルダ</li> <li>・ ユーザプロファイル フォルダ</li> <li>・ フロッピードライブおよびリムーバブルドライブ</li> <li>・ OneDrive の同期フォルダ(個人用)</li> <li>・ OneDrive の同期フォルダ(仕事用)</li> <li>・ Box Drive の同期フォルダ</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全てのローカルドライブ</li> <li>• WindowsUpdate で使用される可能性のあるフォルダ</li> </ul> <p>* OneDrive for Business の同期フォルダを指定する場合は、[OneDrive の同期フォルダ(仕事用)]を選択してください。OneDrive (個人向け)の同期フォルダを指定する場合は、[OneDrive の同期フォルダ(個人用)]を選択してください。</p>
	サブフォルダ指定	<p>「既定のフォルダ」のサブフォルダを指定します。</p> <p>* [既定のフォルダから選択]が未選択の場合は無効となります。</p> <p>* [全てのローカルドライブ]選択時は指定できません。</p>

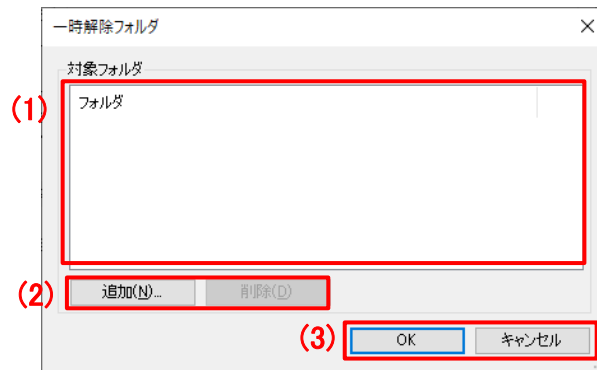
### 3.6.7.2 自動適用オプション

自動適用オプション画面

項目	内容
(1)	<p>ファイル更新検出による自動適用間隔</p> <p>ファイル更新検出による自動適用間隔を指定します。 * 設定可能範囲は 1～9000 秒です。</p> <p>適用失敗時のリトライ間隔</p> <p>適用失敗時のリトライ間隔を指定します。 * 設定可能範囲は 1～9000 秒です。</p>
(2)	<p>[対象フォルダ内での一時解除を有効にする]チェックボックス</p> <p>適用対象フォルダ内で一時解除を有効にする場合はこちらにチェックを入れ下記の設定をおこないます。</p> <p>解除されたファイルの再適用間隔</p> <p>一時的に適用解除したファイルを自動適用を再適用するまでの時間を指定します。 * 設定可能範囲は 1～9000 秒です。</p> <p>[全てのフォルダで有効にする]ラジオボタン</p> <p>一時的に適用解除するフォルダをすべての自動適用対象フォルダにする場合に選択してください。</p> <p>[指定フォルダでのみ有効にする]ラジオボタン</p> <p>一時的に適用解除するフォルダを「一時解除フォルダ」画面で設定されたフォルダのみにする場合に選択してください。</p> <p>[フォルダ選択]ボタン</p> <p>「一時解除フォルダ」画面を開きます。</p>
(3)	<p>[既定値に戻す]ボタン</p> <p>既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合は表示されません。</p> <p>[OK]ボタン</p> <p>自動適用に対するオプション設定の変更を反映し「自動設定」画面に戻ります。</p> <p>[キャンセル]ボタン</p> <p>自動適用に対するオプション設定の変更を反映せずに「自動設定」画面に戻ります。</p>



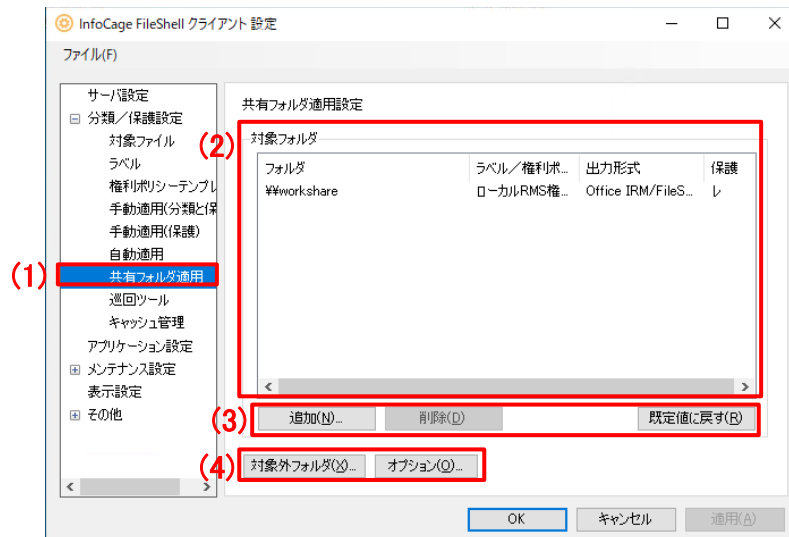
### 一時解除フォルダ画面



項目	内容
(1) 対象フォルダ	一時解除を許可するフォルダーを表示します。
(2) [追加]ボタン	一時解除を許可するフォルダーをフルパスで設定します。
[削除]ボタン	選択したフォルダを対象フォルダから削除します。
(3) [OK]ボタン	一時解除を許可するフォルダーを設定し「自動適用オプション」画面に戻ります。
[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

## 3.6.8 共有フォルダー保護

### 共有フォルダ適用設定画面



項目	内容	参照
(1) 分類/保護設定から[共有フォルダ適用]を選択します。		
(2) 共有フォルダ適用対象フォルダ一覧	共有フォルダー適用の対象となるフォルダー、ラベル／権利ポリシーテンプレート、出力形式、および保護の有無を表示します。	—
(3) [追加]ボタン	「共有フォルダ適用対象フォルダ追加」画面を開きます。	—
[削除]ボタン	選択されている共有フォルダー適用設定を削除します。	—

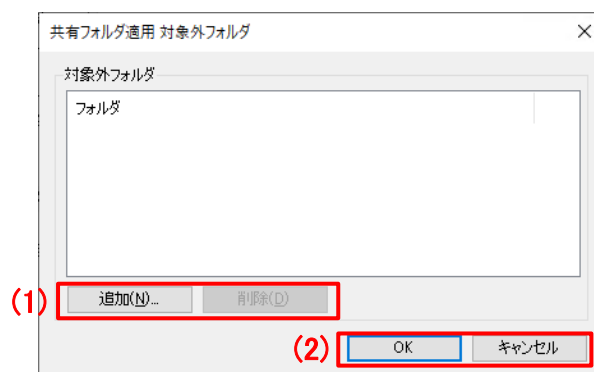
	[既定値に戻す]ボタン	既定値 (ポリシー受信した状態) に戻します。 * ポリシー受信をしていない、または受信したポリシーに共有保護対象となるフォルダーが設定されていない場合は表示されません。	—
(4)	[対象外フォルダ]ボタン	「共有フォルダ適用対象外フォルダ設定」画面を開きます。	3.6.8.1
	[オプション]ボタン	「共有フォルダ適用オプション」画面を開きます。	3.6.8.2

### 共有フォルダ適用対象フォルダ追加画面

項目		内容
(1)	フォルダパス	共有フォルダー適用の対象となるフォルダーを設定します。
	UNC パス	共有フォルダー適用の対象となるフォルダーを UNC 形式で設定します。 * 共有フォルダーを特定のドライブにアサインした「ネットワークドライブ」を指定することはできません。 * 以下の文字は指定できません。 ”<> ? および タブ文字 末尾に . および 全角/半角スペース
(2)	適用方式	対象フォルダーの共有フォルダー適用に利用する設定方式を指定します。
	ラベル/権利ポリシーテンプレート	選択された共有フォルダー適用に利用可能なラベル/権利ポリシーテンプレートが表示されます。
	[選択]ボタン	共有フォルダー適用に利用可能な「権利ポリシーテンプレート選択」画面を開きます。 * MIP での保護を利用する RMS 環境と併用している場合は、共有フォルダー適用にラベル、権利ポリシーテンプレートのいずれの形式を利用するかを選択する「ラベル/権利ポリシーテンプレート選択」画面を開きます。詳しくは『クライアント利用ガイド』の「共有フォルダー適用」を参照してください。
	[出力形式]リストボタン	対象フォルダーの共有フォルダー適用に利用する出力形式を選択します。 * 「NFP 形式」が選択できます。
(3)	[OK]ボタン	設定内容を共有フォルダー適用画面に反映して、共有フォルダ適用対象フォルダ追加画面を閉じます。
	[キャンセル]ボタン	設定内容を反映せずに共有フォルダ適用対象フォルダ追加画面を閉じます。

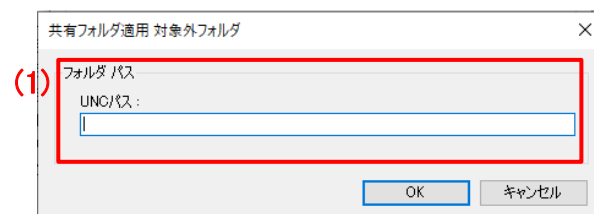
### 3.6.8.1 共有フォルダー適用 対象外フォルダー設定

共有フォルダー適用 対象外フォルダー設定画面



項目		内容
(1)	[追加]ボタン	共有フォルダー適用 対象外フォルダー追加画面を開きます。
	[削除]ボタン	選択されているフォルダーを共有フォルダー適用の適用対象外から削除します。
	[既定値に戻す]ボタン	既定値 (ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない、または受信したポリシーに共有フォルダー保護除外対象となるフォルダーが設定されていない場合は表示されません。
(2)	[OK] ボタン	共有フォルダー設定除外フォルダーを設定し「共有フォルダ設定」画面に戻ります。
	[キャンセル] ボタン	キャンセルします。

共有フォルダー適用対象外フォルダー追加画面



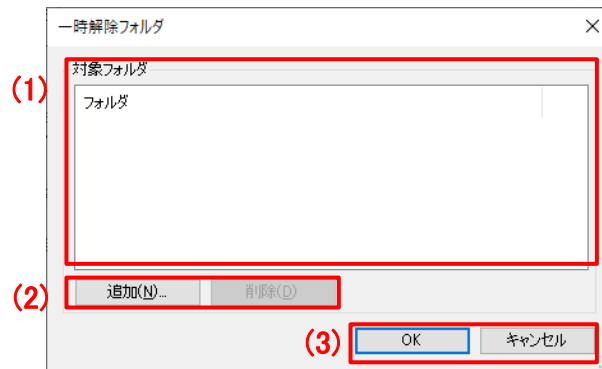
項目		内容
(1)	フォルダ パス	共有フォルダー適用の対象外となるフォルダーを設定します。
	UNC パス指定	共有フォルダー適用の対象外となるフォルダーを UNC 形式で設定します。 * 以下の文字は指定できません。 " < >   ? および タブ文字 末尾に . および 全角/半角スペース

### 3.6.8.2 共有フォルダー適用オプション

共有フォルダ適用オプション画面

項目		内容
(1)	ファイル更新検出による自動適用間隔	ファイル更新検出による自動適用間隔を指定します。 * 設定可能範囲は 1～9000 秒です。
	適用失敗時のリトライ間隔	適用失敗時のリトライ間隔を指定します。 * 設定可能範囲は 1～9000 秒です。
	リトライ最大期間	適用失敗時のリトライ期間を指定します。 * 設定可能範囲は 1～1000 日です。 * 0 日に設定した場合は、無期限として設定されます。
(2)	[対象フォルダ内での一時解除を有効にする] チェックボックス	対象フォルダー内での適用の一時解除を有効にする場合はこちらにチェックを入れ下記の設定をおこないます。
	解除されたファイルの再適用間隔	一時的に適用を解除したファイルを再適用するまでの時間を指定します。 * 設定可能範囲は 1～9000 秒です。
	[全てのフォルダで有効にする]ラジオボタン	一時的に適用解除するフォルダーを、すべての共有フォルダー適用対象フォルダーにする場合に選択してください。
	[指定フォルダでのみ有効にする]ラジオボタン	一時的に適用解除するフォルダーを「一時解除フォルダ」画面で指定したフォルダーのみにする場合に選択してください。
	[フォルダ選択]ボタン	「一時解除フォルダ」画面を開きます。
(3)	[既定値に戻す] ボタン	既定値 (ポリシー受信した状態) に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合は表示されません。
	[OK] ボタン	変更したオプション設定の変更を、共有フォルダー適用に反映し「共有フォルダ適用設定」画面に戻ります。
	[キャンセル] ボタン	変更したオプション設定の変更を、共有フォルダー適用に反映せずに「共有フォルダ適用設定」画面に戻ります。

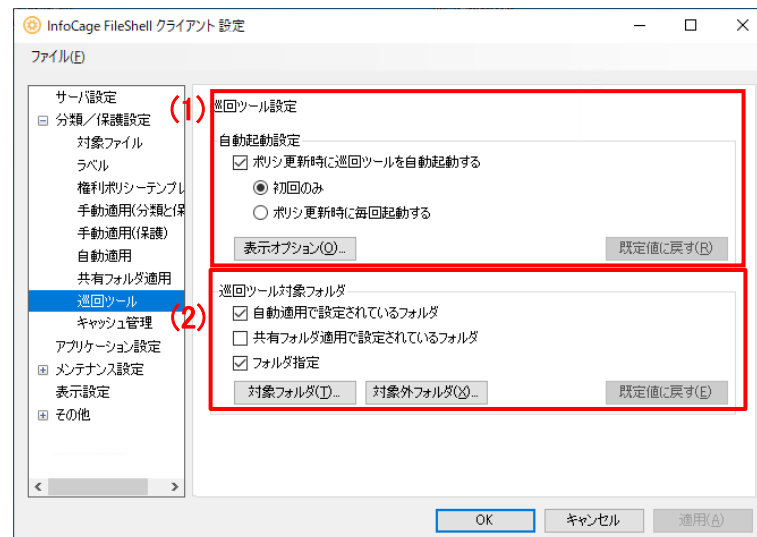
### 一時解除フォルダ画面



項目		内容
(1)	対象フォルダー	一時解除を許可するフォルダーを表示します。
(2)	[追加]ボタン	一時解除を許可するフォルダーをフルパスで設定します。
(3)	[OK]ボタン	一時解除を許可するフォルダーを設定し「共有フォルダ適用オプション」画面に戻ります。
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

## 3.6.9 巡回ツール設定

### 巡回ツール設定画面



項目		内容	参照
(1)	▼自動起動設定		
	[ポリシー更新時に巡回ツールを自動起動する]チェックボックス	ポリシー受信(更新)後の巡回ツールの動作を設定する場合にチェックを入れます。	—
	[初回のみ]ラジオボタン	初回ポリシー受信時のみ巡回ツールを起動する場合はチェックを入れます	—

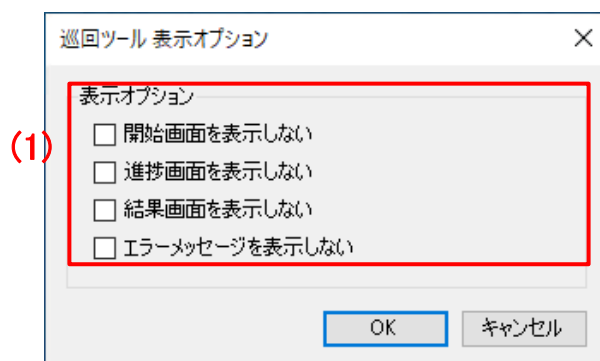
	[ポリシー更新時に毎回起動する]ラジオボタン	ポリシー更新時に毎回巡回ツールを起動する場合はチェックを入れます。	—
	[表示オプション]ボタン	表示オプション設定画面を開きます。	3.6.9.1
	[既定値に戻す]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合は表示されません。	—
(2)	▼巡回ツール対象フォルダ		
	[自動適用で設定されているフォルダ]チェックボックス	自動適用で設定されたフォルダーを適用対象に含める場合はチェックを入れます。	—
	[共有フォルダ適用で設定されているフォルダ]チェックボックス	共有フォルダー適用で設定されたフォルダーを適用対象に含める場合はチェックを入れます。	—
	[フォルダ指定]チェックボックス	「巡回ツール対象フォルダ」画面で指定したフォルダーを適用対象に含める場合はチェックを入れます。	—
	[対象フォルダ]ボタン	「巡回ツール対象フォルダ」画面を開きます。	3.6.9.2
	[対象外フォルダ]ボタン	「巡回ツール対象外フォルダ」画面を開きます。	3.6.9.3
	[既定値に戻す]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合は表示されません。	—

## Notice

- OneDrive および OneDrive for Business でクラウド領域を複数の FileShell クライアントで共有している環境では、FileShell クライアントのうち、1 台で同期フォルダーの巡回ツール適用を設定し、その他のクライアントには同期フォルダーの巡回ツール適用を設定しない運用としてください(自動適用対象フォルダーに同期フォルダーを設定し、かつ巡回ツール適用で「自動適用で設定されているフォルダー」のチェックを入れる場合も同様です)。クラウド領域を共有している FileShell クライアントすべてに同期フォルダーの巡回ツール適用を設定した場合、同期の競合により、分類／適用済みのファイルが多数複製される場合があります。  
なお、クラウド領域および巡回ツール適用を設定していない FileShell クライアント上の同期ファイルは、巡回ツール適用が設定された FileShell クライアントと同期する際に適用され、そのファイルが再度クラウド領域や他の FileShell クライアントと同期されることで適用されます。  
このため、同期フォルダーの巡回ツール適用を設定した FileShell クライアントがインターネット回線に接続されていない場合、クラウド領域や同期フォルダーの巡回ツール適用を設定した FileShell クライアントの設定されていないファイルは適用されません。
- 保護された OneDrive 上のファイルを Web 上のアプリケーション(Office Online、テキストビューアなど)で開いたり編集したりすることはできません。  
また、FileShell で OneDrive の同期フォルダー(個人用または仕事用)を巡回ツール適用対象に設定している場合は、クラウド領域で新規作成されたファイルも同期されます。  
このため、FileShell 非搭載 PC や Android/iOS 搭載など端末からクラウド上のファイルを開く必要がある場合は、これらのフォルダーを巡回ツール適用対象に設定しないでください。
- OneDrive の機能により、隠し属性のファイルが、属性が外れた状態で適用される場合があります。

### 3.6.9.1 巡回ツール 表示オプション設定

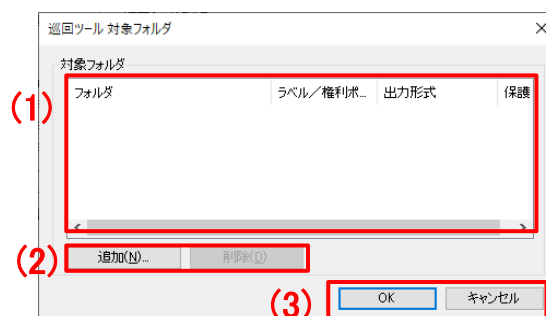
巡回ツール 表示オプション設定画面



項目		内容
(1)	[開始画面を表示しない] チェックボックス	巡回ツールの開始画面を表示しない場合はチェックを入れます。
	[進捗画面を表示しない] チェックボックス	巡回ツールの進捗画面を表示しない場合はチェックを入れます。
	[結果画面を表示しない] チェックボックス	巡回ツールの結果画面を表示しない場合はチェックを入れます。
	[エラーメッセージを表示しない] チェックボックス	巡回ツールのエラーメッセージを表示しない場合はチェックを入れます。

### 3.6.9.2 巡回ツール 対象フォルダー設定

巡回ツール 対象フォルダ設定画面



項目		内容
(1)	対象フォルダーリスト表示	巡回ツールの保護対象となるフォルダー、権利ポリシーテンプレート、保護形式を表示します。
(2)	[追加]ボタン	「対象フォルダー編集画面」を開きます。
	[削除]ボタン	選択されているフォルダーを削除します。
	[既定値に戻す]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合、または受信したポリシーに巡回ツールの保護対象となるフォルダーが設定されていない場合は表示されません。
(3)	[OK]ボタン	対象フォルダーの設定を反映し「巡回保護ツール設定画面」に戻ります。
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

## 巡回ツール 対象フォルダ編集画面

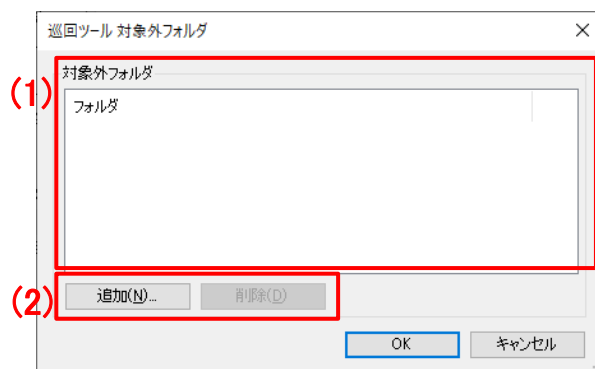
項目		内容
(1)	フォルダパス	巡回ツール適用の対象フォルダーの設定をおこないます。
	[フルパス指定]ラジオボタン	<p>巡回ツール適用の対象フォルダーをフルパスで設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* フォルダーは「¥¥」または「DOMAIN: (大文字小文字問わない)」から始まる場合以下の文字は使用できません。 " &lt; &gt;   ? タブ文字 末尾に . 全角/半角スペース</li> <li>* フォルダーは「¥¥」または「DOMAIN: (大文字小文字問わない)」から始まらない場合以下の文字は使用できません。 " &lt; &gt;   ? タブ文字 先頭に ¥ 先頭および末尾に . 先頭および末尾に 全角/半角スペース 「AUX」「CON」「NUL」「PRN」「COMn(n は 1～9 の数字)」「LPTn(n は 1～9 の数字)」にしないようにしてください</li> <li>* 「*」のみの入力はできません。</li> </ul>
	[既定のフォルダから選択]ラジオボタン	<p>巡回ツール適用の対象となるフォルダーを以下から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デスクトップ フォルダ</li> <li>・ マイドキュメント フォルダ</li> <li>・ ユーザプロファイル フォルダ</li> <li>・ フロッピードライブおよびリムーバブルドライブ</li> <li>・ OneDrive の同期フォルダ(個人用)</li> <li>・ OneDrive の同期フォルダ(仕事用)</li> <li>・ Box Drive の同期フォルダ</li> <li>・ 全てのローカルドライブ</li> <li>・ 全てのローカルドライブ:サブフォルダ指定</li> <li>・ 全てのネットワークドライブ:サブフォルダ指定</li> </ul> <p>* OneDrive for Business の同期フォルダーを指定する場合は、[OneDrive の同期フォルダ(仕事用)]を選択してください。OneDrive (個人向け)の同期フォルダーを指定する場合は、[OneDrive の同期フォルダ(個人用)]を選択してください。</p>
	サブフォルダ指定	<p>「既定のフォルダ」のサブフォルダーを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「既定のフォルダーから選択」が未選択の場合は無効となります。</li> <li>* [全てのローカルドライブ]選択時は指定できません。</li> </ul>
(2)	適用方式	対象フォルダーの巡回ツール適用に利用する適用方式を指定します。
	ラベル/権利ポリシーテンプレート	選択された適用方式に利用可能なラベル/権利ポリシーテンプレートが表示されます。
	[選択]ボタン	巡回ツール適用にラベル、権利ポリシーテンプレートのいずれの形式を利用するかを選択する「ラベル/権利ポリシーテンプレート選択」画面を開きます。



	[出力形式]リストボタン	巡回ツール適用の対象フォルダーの適用に利用する出力形式を選択します。指定されたラベル／権利ポリシーテンプレートに応じて、以下の出力形式が選択できます。  * 「NFP 形式」が選択できます。
(3)	[OK]ボタン	設定内容を巡回ツール 対象フォルダ設定画面に反映します。
	[キャンセル]ボタン	巡回ツール 対象フォルダ編集画面を閉じます。

### 3.6.9.3 巡回ツール 対象外フォルダー設定

#### 巡回ツール 対象外フォルダ画面



項目		内容
(1)	対象外フォルダリスト表示	巡回ツール適用の対象外となるフォルダーを表示します。
(2)	[追加]ボタン	「巡回ツール 対象外フォルダ編集画面」を開きます。
	[削除]ボタン	選択されているフォルダーを対象外フォルダーから削除します。
	[既定値に戻す]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合、または受信したポリシーに巡回ツールの除外対象となるフォルダーが設定されていない場合は表示されません。

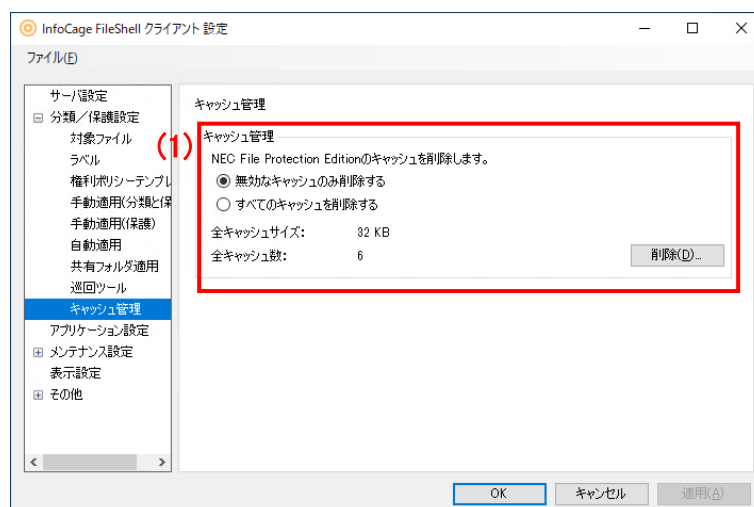
## 巡回ツール 対象外フォルダ編集画面

(1)

項目		内容
(1)	フォルダパス	巡回ツール適用の対象外となるフォルダーを設定します。
	フルパス指定	<p>適用対象外となるフォルダーをフルパスで設定します。</p> <p>* フォルダーは「¥¥」または「DOMAIN:(大文字小文字問わない)」から始まる場合以下の文字は使用できません。</p> <p>”&lt;&gt; ? タブ文字 末尾に . 全角/半角スペース</p> <p>* フォルダーは「¥¥」または「DOMAIN:(大文字小文字問わない)」から始まらない場合以下の文字は使用できません。</p> <p>”&lt;&gt; ? タブ文字 先頭に ¥ 先頭および末尾に . 先頭および末尾に 全角/半角スペース</p> <p>「AUX」「CON」「NUL」「PRN」「COMn(n は 1～9 の数字)」「LPTn(n は 1～9 の数字)」にしないようにしてください</p> <p>* 「*」のみの入力はできません。</p>
	既定のフォルダから選択	<p>適用対象外となるフォルダーを以下から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デスクトップ フォルダ</li> <li>・ マイドキュメント フォルダ</li> <li>・ ユーザプロファイル フォルダ</li> <li>・ フロッピードライブおよびリムーバブルドライブ</li> <li>・ OneDrive の同期フォルダ(個人用)</li> <li>・ OneDrive の同期フォルダ(仕事用)</li> <li>・ Box Drive の同期フォルダ</li> <li>・ WindowsUpdate で使用される可能性のあるフォルダ</li> <li>・ 全てのローカルドライブ</li> <li>・ 全てのローカルドライブ:サブフォルダ指定</li> <li>・ 全てのネットワークドライブ:サブフォルダ指定</li> </ul> <p>* * OneDrive for Business の同期フォルダーを指定する場合は、[OneDrive の同期フォルダ(仕事用)]を選択してください。OneDrive (個人向け)の同期フォルダーを指定する場合は、[OneDrive の同期フォルダ(個人用)]を選択してください。</p>
	サブフォルダ指定	<p>「既定のフォルダ」のサブフォルダーを指定します。</p> <p>* 「既定のフォルダから選択」が未選択の場合は無効となります。</p> <p>* [全てのローカルドライブ]選択時は指定できません。</p>

## 3.6.10 キャッシュ管理

### キャッシュ管理画面



項目	内容
キャッシュ管理	NFP で保護されたファイルをオフラインで閲覧する際に使用するキャッシュを削除します。
(1) [無効なキャッシュのみ削除する]ラジオボタン	生成されたキャッシュのうち、有効期限が切れたキャッシュのみを削除する場合に選択します。
[すべてのキャッシュを削除する]ラジオボタン	生成されたキャッシュをすべて削除する場合に選択します。
全キャッシュサイズ	格納されているすべてのキャッシュの合計サイズを表示します。 * 小数点以下は切り上げて表示されます(1KB 未満の場合、1KB となります)
全キャッシュ数	格納されているキャッシュ数を表示します。
[削除]ボタン	クリックすると、選択された内容でキャッシュの削除を実行します。

### 3.6.10.1 キャッシュの削除

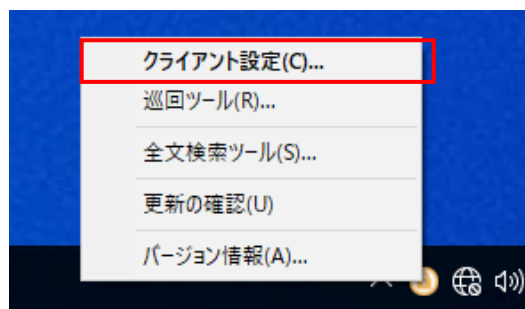
サーバー認証版の NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルを、オフラインで使用するためのキャッシュは以下のタイミングで作成されます。

- ・ 作成者フルコントロール設定が有効なサーバー認証版 NFP 権利ポリシーテンプレートでファイルを保護したとき
- ・ オフラインでの使用が許可されたサーバー認証版 NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルの閲覧、編集、保護解除、または権限の参照をおこなったとき
- ・ サーバー認証版 NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルに対し、右クリックメニューでキャッシュを作成したとき

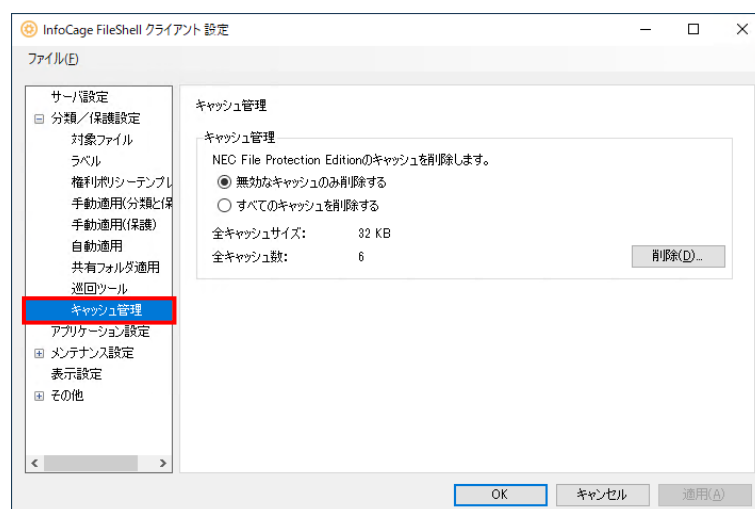
当該保護ファイルをオフライン状態で使用することがない場合や、オフラインで使用できる期間を過ぎた無効なキャッシュを削除したい場合は、以下の手順でキャッシュを削除することができます。

- \* 管理者の設定によってキャッシュ管理のメニューが表示されていない場合は、本設の手順によるキャッシュの削除はおこなえません。

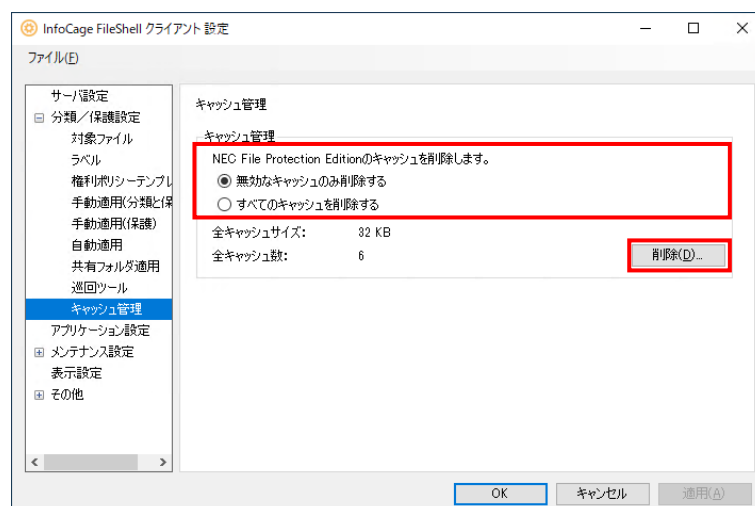
1. タスクトレイの FileShell アイコンからクライアント設定を起動します。



2. [分類／保護設定]-[キャッシュ管理]を選択し、キャッシュ管理画面を表示します。

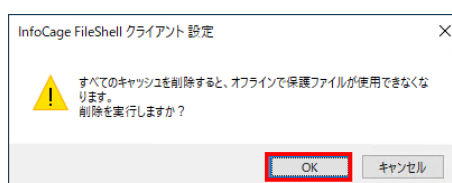


3. 削除対象とするキャッシュをラジオボタンで選択し、[削除]をクリックします。

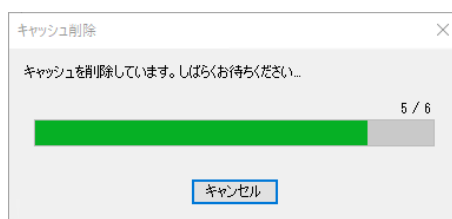


項目	内容
無効なキャッシュのみ削除する	有効期限が切れた NFP のキャッシュのみを削除する場合に選択します。
すべてのキャッシュを削除する	オフライン時に使用する NFP のキャッシュを、すべて削除する場合に選択します。

- \* [すべてのキャッシュを削除する]を選択して[削除]をクリックした場合は、再確認を促すメッセージボックスが表示されますので、内容を確認の上、[OK]をクリックしてください。

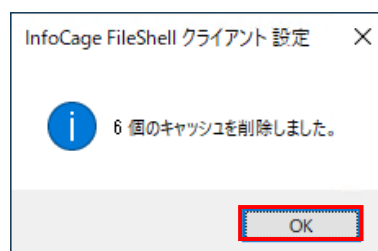


4. キャッシュの削除が実行されます。削除の進捗状況はプログレスバーで表示されます。



- \* キャッシュの削除中に[キャンセル]をクリックするとキャッシュの削除を中止するかを確認するメッセージボックスが表示されます

5. キャッシュの削除に成功するとキャッシュを削除した旨のメッセージボックスが表示されますので[OK]をクリックします。

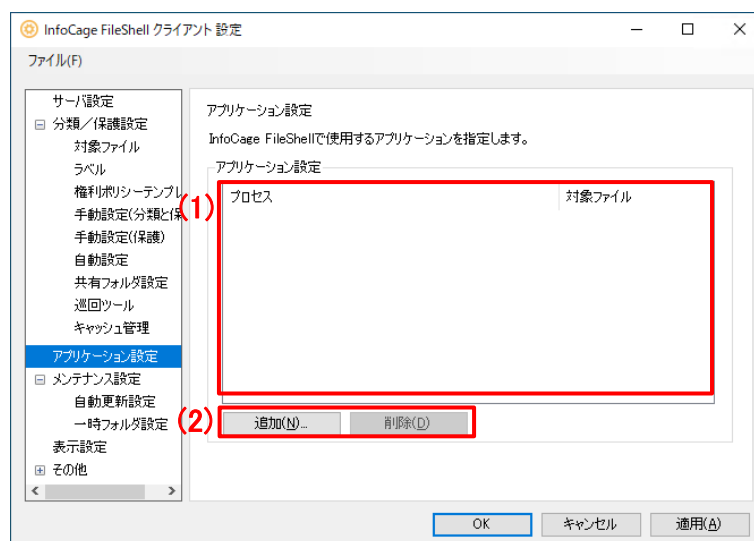


- \* キャッシュの削除に失敗した旨のメッセージボックスが表示された場合は、もう一度上記の手順に沿って、キャッシュの削除をリトライしてください。
- \* リトライをおこなったにもかかわらず、依然キャッシュの削除に失敗する場合は以下の対処をおこなってください。
  - [無効なキャッシュのみを削除する]を選択して削除に失敗する場合  
[すべてのキャッシュを削除する]を選択してキャッシュの削除をおこなってください。この場合、有効期限内のキャッシュも削除されますが、FileShell サーバーと接続できる状態で、本節冒頭に記載の操作をおこなうことで、キャッシュは再作成されます。
  - [すべてのキャッシュを削除する]を選択して削除に失敗する場合  
以下のフォルダのキャッシュファイルをエクスプローラーなどで直接削除してください。  
%LOCALAPPDATA%\NEC\InfoCageFileShell\Cache

以上で、NFP 権利ポリシーテンプレートで保護されたファイルのキャッシュの削除は終了です。

### 3.6.11 アプリケーション設定

#### 対象アプリケーション設定画面



項目		内容	参照
(1)	プロセス一覧	<p>InfoCage FileShell で使用するアプリケーションのプロセス名を一覧表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>対象アプリケーションを選択し右クリックした場合、右クリックメニュー（対象アプリケーション選択）が表示されます。</li><li>対象アプリケーションを選択せずに右クリックした場合、右クリックメニュー（対象アプリケーション選択なし）が表示されます。</li><li>対象アプリケーションをダブルクリックすると「対象アプリケーション編集」画面を開きます。</li></ul> <p>* 設定内容により、文字色が変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>灰色:FileShell ポリシーで設定した利用者が変更できないアプリケーション</li><li>青色:FileShell ポリシーで設定したユーザー定義アプリケーション</li><li>黒色:クライアントで設定したユーザー定義アプリケーション</li></ul>	—
(2)	[追加]ボタン	「対象アプリケーション追加」画面を開きます。	3.6.11.1
	[削除]ボタン	<p>選択されているプロセスを削除します。</p> <p>* 標準対応アプリケーション、サーバーで設定したユーザー定義アプリケーションは選択できません。</p>	—

#### 右クリックメニュー(対象アプリケーション選択時)

項目	内容	参照
[編集]メニュー	「対象アプリケーション編集画面」を開きます。 * 標準対応アプリケーションは選択できません。	—
[削除]メニュー	選択されているプロセスを削除します。 * 標準対応アプリケーション、サーバーで設定したユーザー定義アプリケーションは選択できません。	—
[選択項目をエクスポート]メニュー	選択されているアプリケーション情報を XML 形式でエクスポートします。	—

#### 右クリックメニュー(対象アプリケーション選択なし)

項目	内容
[追加]メニュー	「対象アプリケーション追加画面」を開きます。
[インポート]メニュー	アプリケーション情報をインポートします。

### 3.6.11.1 対象アプリケーション追加画面

#### 対象アプリケーション追加画面

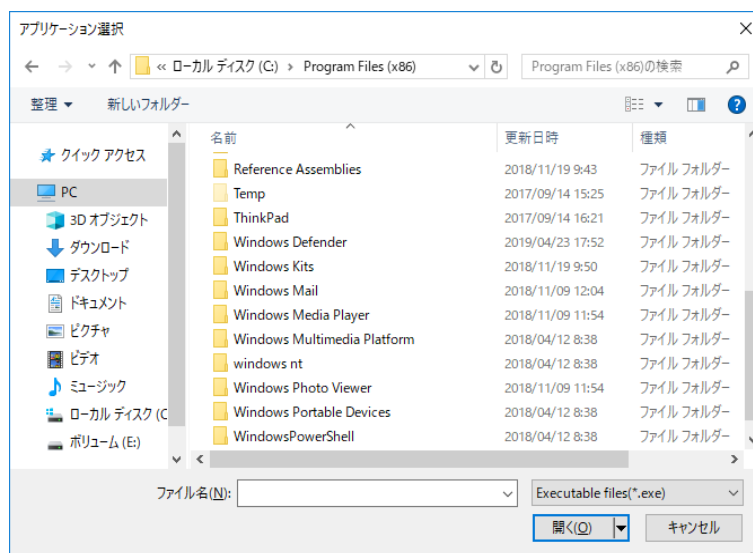
The screenshot shows the 'アプリケーション設定' (Application Settings) dialog box. It contains two main input fields: 'プロセス' (Process) and '対象ファイル' (Target File). Below the '対象ファイル' field is a button labeled 'アプリケーション検索(S)...'. At the bottom right are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Red boxes and numbers highlight the following elements: (1) Process field, (2) Process field title, (3) Process field search icon, (4) Target File field, (5) Target File field search icon, (6) Application Search button, and (7) OK/Cancel buttons.

項目	内容	参照
(1) プロセス	プロセスの絶対パス、または、プロセス名を指定します。 * 255 文字まで入力可能です。 * 拡張子まで含めて設定してください。 例 1) c:\program files\nec\sample.exe 例 2) sample.exe * 以下のアプリケーションは登録できません。 explorer.exe cmd.exe * 実在するプロセス名を指定してください。	—
(2) [ファイルオープンダイアログで選択]ボタン	「アプリケーション選択」画面を開いて、対象のアプリケーションを参照し、選択します。	3.6.11.1.1
(3) [起動中のアプリケーションから選択]ボタン	「起動中のアプリケーションから選択」参照画面を開きます。 * アプリケーションの状態によっては、一覧に表示されない場合があります。 * 一覧に表示されない場合は、プロセスの項目を直接入力する等、別の指定方法をご利用ください。	3.6.11.1.2
(4) 対象ファイル	アプリケーションに関連付ける拡張子を指定します。 * 1～511 文字で設定してください。 * 複数の拡張子を指定する場合は   で区切ってください。	—

		<p>(例 txt csv xml)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 拡張子に、以下の文字は使用しないでください。 ¥ / : ? " &lt; &gt;   および タブ文字 先頭および末尾に 全角/半角スペース</li> <li>* [...]ボタンより、各行に1つずつの一覧形式で入力することも可能です。</li> <li>* 拡張子として"*"は指定できません。</li> </ul>	
(5)	「対象ファイル」ウィンドウを開くボタン	「対象ファイル」画面を開きます。	3.6.11.1.3
(6)	[アプリケーション検索]ボタン	<p>「対象ファイルからアプリケーション検索」画面を開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 対象ファイルが未設定の場合は無効になります。</li> <li>* 拡張子は1つだけ指定してください。複数指定した場合はアプリケーション選択ボタンがグレーアウトされ、関連付けされたアプリケーションを選択することができません。</li> <li>* アプリケーションの状態によっては、一覧に表示されない場合があります。一覧に表示されない場合は、プロセスの項目を直接入力する等、別の指定方法をご利用ください。</li> </ul>	3.6.11.1.4
(7)	[OK]ボタン	対象アプリケーションを追加し対象アプリケーション設定画面に戻ります。	—
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。	—

### 3.6.11.1.1 アプリケーション選択画面

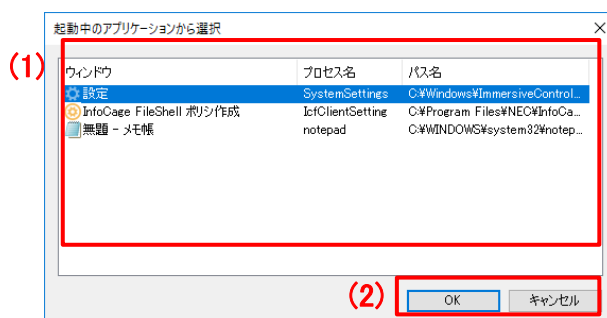
エクスプローラーの画面から対象のアプリケーションを選択します





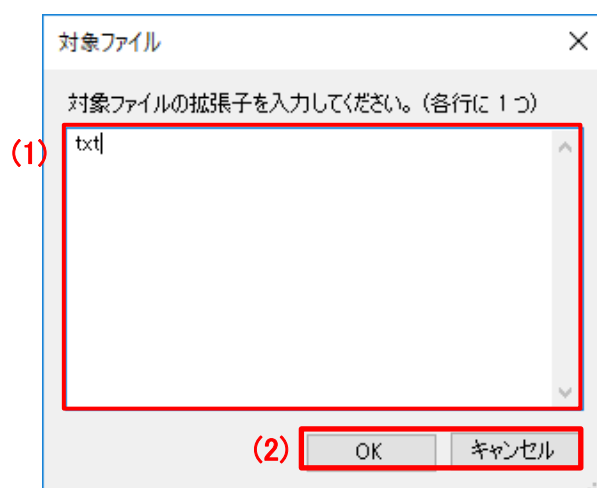
### 3.6.11.1.2 起動中のアプリケーションから選択画面

起動中のアプリケーション一覧から対象のアプリケーションを選択します。



項目		内容
(1)	起動中のプロセス	起動中のプロセス一覧を表示します。
(2)	[OK]ボタン	起動中のプロセスを「対象アプリケーション追加」画面に反映します。
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

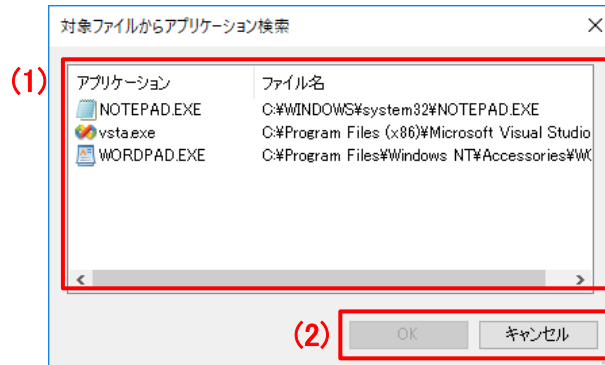
### 3.6.11.1.3 対象ファイル(拡張子)追加・編集画面



項目		内容
(1)	対象ファイルの拡張子を入力してください。(各行に1つ)	対象アプリケーションが使用するファイル(拡張子)を指定します。
(2)	[OK]ボタン	対象アプリケーションが使用するファイル(拡張子)を「対象アプリケーション追加」画面に反映します。
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

### 3.6.11.1.4 アプリケーション検索画面

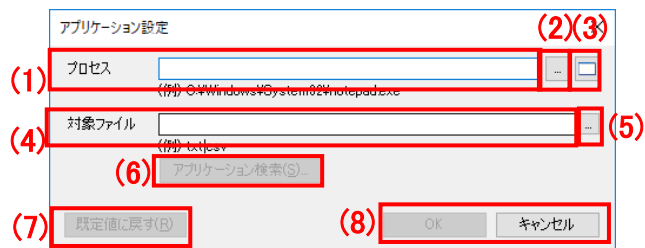
対象ファイルに紐づいた対象アプリケーションを表示します。



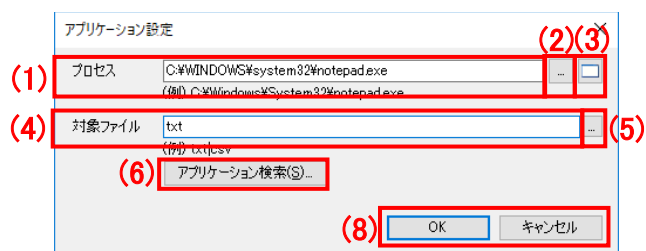
項目		内容
(1)	対象アプリケーション	対象ファイルに紐づいた対象アプリケーションを表示します。
(2)	[OK]ボタン	対象アプリケーションを「対象アプリケーション追加」画面に反映します。
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。

### 3.6.11.2 対象アプリケーション編集画面

対象アプリケーション編集画面 (サーバーで設定したユーザー定義アプリケーション)



対象アプリケーション編集画面 (クライアントで設定した対象アプリケーション)

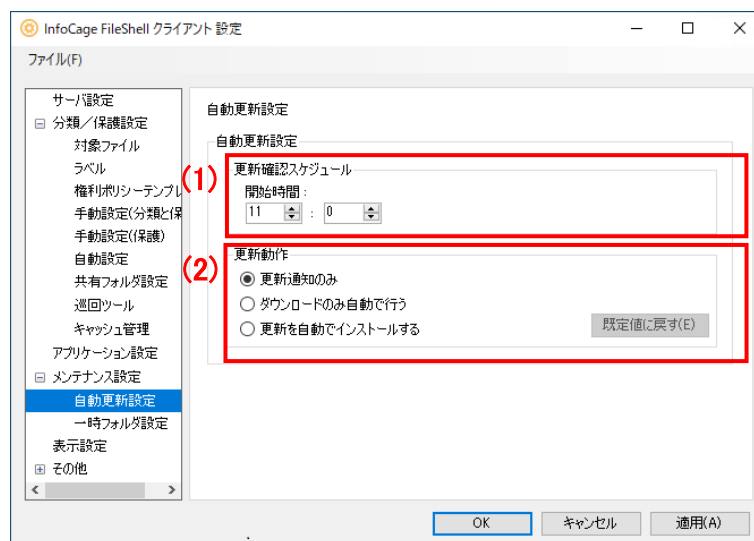


項目		内容	参照
(1)	プロセス	<p>プロセスの絶対パス、または、プロセス名を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 255 文字まで入力可能です。</li> <li>* 拡張子まで含めて設定してください。 例 1) c:\program files\mec\sample.exe 例 2) sample.exe</li> <li>* 以下のアプリケーションは登録できません。 explorer.exe、cmd.exe</li> </ul>	—
(2)	[対象アプリケーション選択]参照ボタン	「対象アプリケーション選択」参照画面を開きます	3.6.11.1.1
(3)	[起動中のアプリケーションから選択]ボタン	<p>「起動中のアプリケーションから選択」参照画面を開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* アプリケーションの状態によっては、一覧に表示されない場合があります。</li> <li>* 一覧に表示されない場合は、プロセスの項目を直接入力する等、別の指定方法をご利用ください。</li> </ul>	3.6.11.1.2
(4)	対象ファイル	<p>アプリケーションに関連付ける拡張子を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1～511 文字で設定してください。</li> <li>* 複数の拡張子を指定する場合は   で区切ってください。 (例 txt csv xml)</li> <li>* 拡張子に、以下の文字は使用しないでください。 ¥ / : ? " &lt; &gt;   および タブ文字 先頭および末尾に 全角/半角スペース</li> <li>* [...]ボタンより、各行に1つずつの一覧形式で入力することも可能です。</li> <li>* 拡張子として "*" は指定できません。</li> </ul>	—
(5)	「対象ファイル」ウィンドウを開くボタン	「対象ファイル」画面を開きます。	3.6.11.1.3
(6)	[アプリケーション検索]ボタン	<p>「対象ファイルからアプリケーション検索」画面を開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 対象ファイルが未設定の場合は無効になります。</li> <li>* 拡張子は1つだけ指定してください。複数指定した場合はアプリケーション検索ボタンがグレースアウトされ、関連付けされたアプリケーションを選択することができません。</li> <li>* アプリケーションの状態によっては、一覧に表示されない場合があります。一覧に表示されない場合は、プロセスの項目を直接入力する等、別の指定方法をご利用ください。</li> </ul>	3.6.11.1.4
(7)	[既定値に戻す]ボタン	<p>既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ポリシー受信をしていない場合は表示されません。</li> <li>* クライアントで設定した対象アプリケーションの編集ではボタンは表示されません。</li> </ul>	—
(8)	[OK]ボタン	対象アプリケーションを編集し対象アプリケーション設定画面に戻ります。	—
	[キャンセル]ボタン	キャンセルします。	—

### 3.6.12 メンテナンス設定ツール

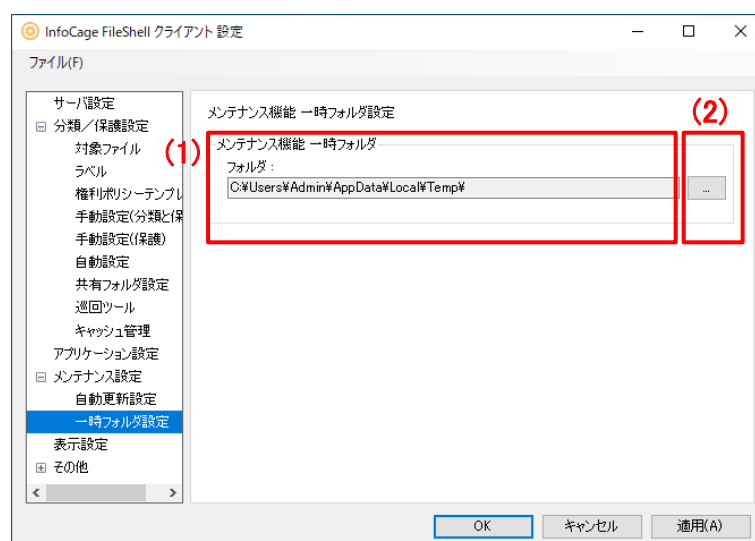
FileShell のメンテナンス情報を設定をする場合は、「メンテナンス設定ツール」を利用します。

#### メンテナンス設定（自動更新設定画面）



項目		内容
▼更新確認のスケジュール設定をします。		
(1)	開始時刻設定	更新の確認を開始する時間を設定します。 * 00:00～23:59 までの範囲で設定が可能です。
	[既定値に戻す]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合は表示されません。
▼更新時の動作を設定します。		
(2)	[更新通知のみ]ラジオボタン	更新時にユーザーに通知のみを表示します
	[ダウンロードのみ自動で行う]ラジオボタン	更新時に更新ファイルのダウンロードまで自動実行します。
	[更新を自動でインストールする]ラジオボタン	更新時にインストールまで自動実行します。
	[既定値に戻す]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合は表示されません。

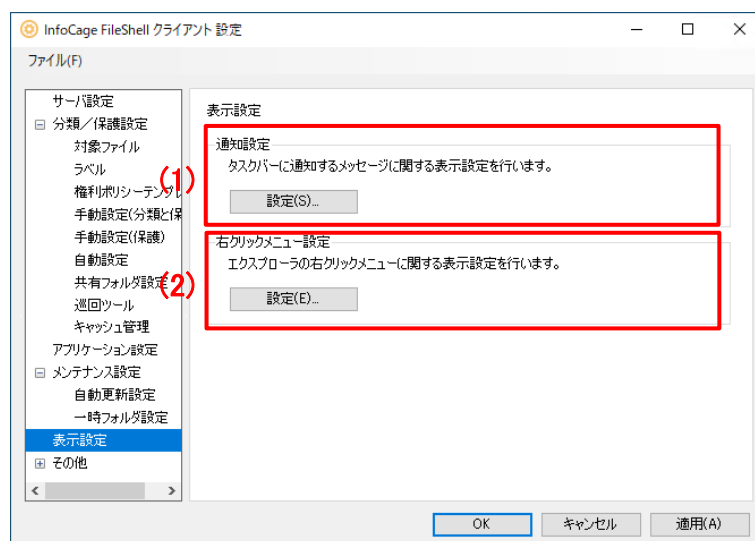
## メンテナンス設定（一時フォルダー設定画面）



項目		内容
(1)	フォルダ	メンテナンスを実行する際に使用する一時フォルダーを設定します。 * 直接入力はできません。(2)の参照ボタンから設定をしてください。
(2)	[フォルダ参照]ボタン	フォルダー参照ダイアログが表示されますので、一時フォルダーに指定するフォルダーを選択してください。

### 3.6.13 表示設定

#### 表示設定画面



項目	内容	参照
▼通知設定		—
(1) タスクバーに通知するメッセージに関する表示設定をおこないます。		—
[設定]ボタン	「通知設定」画面を開きます。	3.6.13.1
▼右クリックメニュー設定		—
(2) エクスプローラの右クリックメニューに関する表示設定をおこないます。		—
[設定]ボタン	「右クリックメニュー設定」画面を開きます。	3.6.13.2

### 3.6.13.1 通知設定画面

通知設定画面

項目	内容
▼アプリケーション操作時の通知表示の設定をします	
(1)	<div> <div> [保護ファイルオープン時の通知メッセージを表示しない]チェックボックス </div> <div> 保護ファイルをオープンする時にタスクバーに通知メッセージを表示しない場合にチェックを入れます </div> </div> <div> <div> [保護ファイル保存時の通知メッセージを表示しない]チェックボックス </div> <div> 保護ファイルを保存する時にタスクバーに通知メッセージを表示しない場合にチェックを入れます。 </div> </div>
▼ポリシー受信	
(2)	<div> <div> [ポリシー受信に関する通知メッセージを表示しない]チェックボックス </div> <div> タスクバーにポリシー受信に関する通知メッセージを表示しない場合にチェックを入れます。 </div> </div>
▼NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限切れの警告	
(3)	<div> <div> ログイン時の通知メッセージを表示しない。 </div> <div> NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限が迫っているときに、ログインした際に、有効期限切れの警告メッセージを表示しない場合にチェックを入れます。 </div> </div>
	<div> <div> 保護ファイルオープン時の通知メッセージを表示しない。 </div> <div> NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限が迫っているときに、保護ファイルをオープンした際に、有効期限切れの警告メッセージを表示しない場合にチェックを入れます。 </div> </div>
	<div> <div> 有効期限切れを警告として通知する日数 </div> <div> NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限の何日前から有効期限切れの警告メッセージを表示するかを設定します。 </div> </div>
(4)	<div> <div> [OK]ボタン </div> <div> 通知メッセージに関する設定を反映し表示設定画面に戻ります。 </div> </div>
	<div> <div> [キャンセル]ボタン </div> <div> 通知メッセージに関する設定をせずに表示設定画面に戻ります。 </div> </div>

3.6.13.2 右クリックメニュー設定

右クリックメニュー設定画面

(1) 右クリックメニュー設定

エクスプローラの右クリックメニューから以下の項目を非表示にします

☐ 分類／保護に関するメニューを非表示にする

☐ 解除に関するメニューを非表示にする

☐ キャッシュ作成に関するメニューを非表示にする

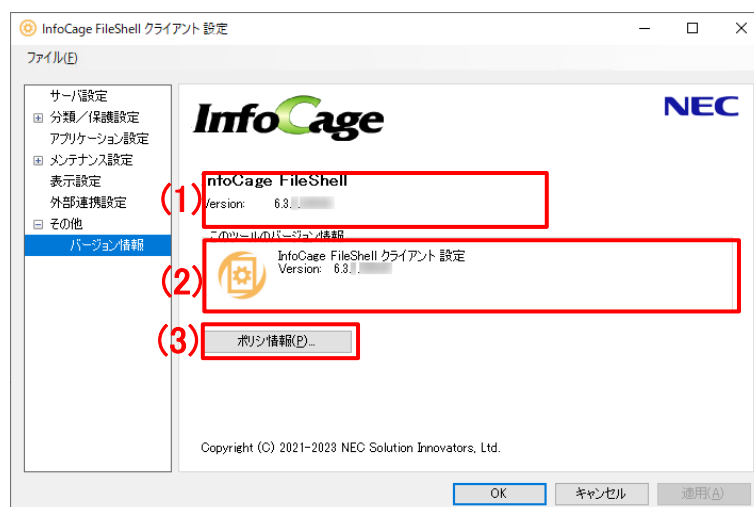
(2) 既定値に戻す(R) OK キャンセル

項目	内容
▼エクスプローラの右クリックメニューから以下の項目を非表示にする場合の設定をします。	
(1) [分類／保護に関するメニューを非表示にする]チェックボックス	分類／保護に関するメニューを非表示にする場合に選択します。
[解除に関するメニューを非表示にする]チェックボックス	解除に関するメニューを非表示にする場合に選択します。
[キャッシュ作成に関するメニューを非表示にする]チェックボックス	キャッシュ作成に関するメニューを非表示にする場合に選択します。
(2) [既定値に戻す]ボタン	既定値(ポリシー受信した状態)に戻します。 * ポリシー受信をしていない場合は表示されません。
[OK]ボタン	右クリックメニューに関する設定を反映し表示設定画面に戻ります。
[キャンセル]ボタン	設定をせずに表示設定画面に戻ります。



### 3.6.14 バージョン情報

InfoCage FileShell クライアントのバージョンを表示します。



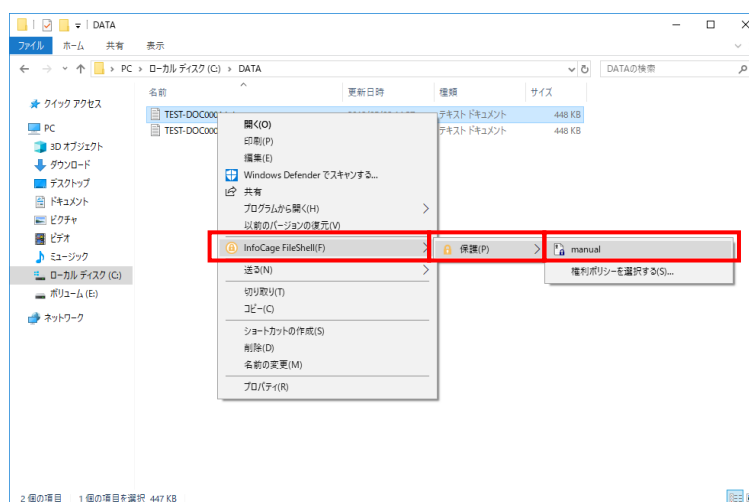
項目		内容	参照
(1)	バージョン	FileShell クライアントのバージョンを表示します。	—
(2)	このツールのバージョン情報	クライアント設定ツールのバージョンを表示します。	—
(3)	[ポリシー情報]ボタン	「ポリシー情報」画面を開きます。 * サーバ設定で「FileShell サーバーからポリシー設定を受信する」にチェックが入っている場合に表示されます。	3.6.2.2

## 3.7 ファイルの保護・保護解除結果の詳細確認

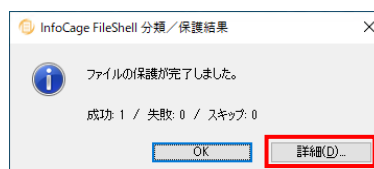
エクスプローラーや、「巡回ツール」からファイルの保護・保護解除をおこなった場合には、ファイルの保護・保護解除の詳細な結果を確認することができます。



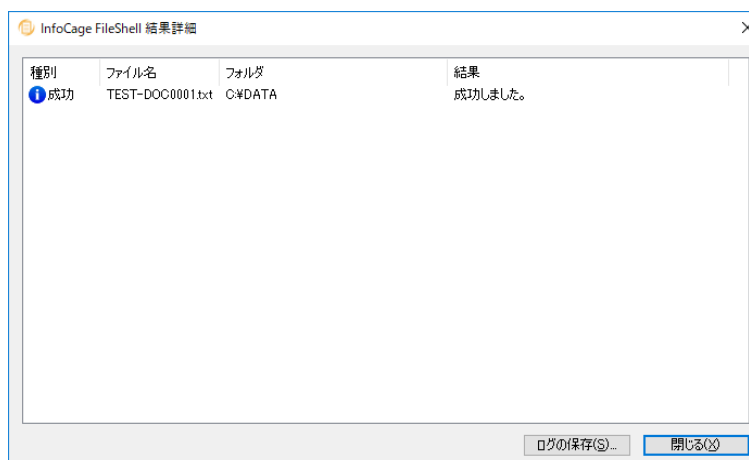
1. エクスプローラーや「巡回ツール」からファイルの保護・保護解除をおこないます。



2. ファイルの保護が完了すると結果画面が表示されます。[詳細]をクリックします。



3. 詳細画面が表示されます。



項目	内容
種別	「成功」「警告」「エラー」「スキップ」が表示されます。
ファイル名	ファイル名が表示されます。
フォルダ	ファイルが格納されているフォルダー名が表示されます。
結果	ファイルに対する保護・保護解除結果が表示されます。 * 保護・保護解除が失敗したときには理由が表示されます。
ログの保存	保護・保護解除結果をログファイル(CSV 形式、タブ区切り)に保存します。
閉じる	詳細画面を閉じます。

## 3.8 NFP 権利ポリシーテンプレートのパスワード認証動作

NFP 権利ポリシーテンプレートが添付されているクライアントインストーラを使用して、FileShell クライアントをインストールした場合、または、FileShell 設定ファイルを FileShell クライアントに適用した場合、ファイルの保護などの NFP 権利ポリシーテンプレートを使用する操作をおこなったときに、初回のみパスワード認証画面が表示されます。これは、NFP 権利ポリシーテンプレートを使用可能な状態にするために必要な操作です。

- \* 上記の方法の他に、クライアント設定からパスワード認証を実行することもできます。



クライアント設定からのパスワード認証方法については、「3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定」の(3)の表内の注意事項を参照してください。

- \* パスワード認証が完了すると、認証が完了した PC を使用するすべてのユーザーが NFP 権利ポリシーテンプレートに設定された権限に基づいてファイルの保護/保護解除を実行できるようになります。



権限については、「1.3 権限について」を参照してください。



権限の確認方法については、3.6.5.12 詳細表示」を参照してください。

- \* パスワード認証画面は、認証が完了するまでの間、下記の操作をおこなった場合に表示されます。

- ・ 手動で保護または保護解除をおこなう
- ・ アプリケーションで保護されたファイルを開く
- ・ 自動保護、共有フォルダー保護および巡回保護機能が動作する

- \* パスワード認証が完了していない状態で 複数ファイルを自動保護した際、パスワード認証画面は処理するファイル毎に表示されます  
パスワード認証画面で[キャンセル]をクリックした場合、対象ファイルの保護/保護解除処理はキャンセルされますが、次のファイルの処理で再びパスワード認証画面が表示されます。

## 3.9 有効期限設定時の動作

NFP 権利ポリシーテンプレートに有効期限が設定されており、かつ有効期限を超過した場合は、この NFP 権利ポリシーテンプレートを使用したファイルに対する操作(ファイルの保護、保護ファイルの保護解除および利用)がおこなえなくなります。

ただし、NFP 権利ポリシーテンプレートに「作成者フルコントロール」が設定されている場合、自身で保護をおこなったファイルは、有効期限を超過した場合でも操作が可能です。



権限については、「1.3 権限について」を参照してください。

有効期限は、以下の方法で確認することができます。

### ● クライアント設定で確認

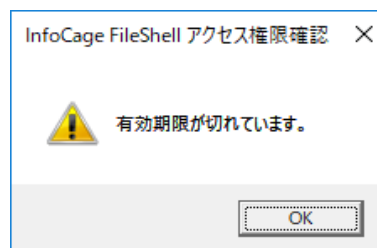
クライアント設定の「権利ポリシーテンプレート設定」のリストに表示されるアイコンおよび詳細表示から、有効期限を確認します。



権利ポリシーテンプレート設定については、「3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定」および「3.6.5.12 詳細表示」を参照してください。

### ● [アクセス権限の確認]から確認

保護されたファイルを右クリックし、[InfoCage FileShell] - [アクセス権限の確認]から確認します。  
有効期限切れの場合は、次の画面が表示されます。



[アクセス権限の確認]については、「3.4.3 アクセス権限の確認」を参照してください。

### ● ログイン時または保護されたファイルを開いた際に通知

ログイン時または保護されたファイルをアプリケーションで開いた際、自動的に NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限の確認をおこない、期限切れまたは期限切れが近い NFP 権利ポリシーテンプレートを通知します。

ログイン時におこなわれる NFP 権利ポリシーテンプレートの確認では、PC にログインしているユーザーが使用可能なすべての NFP 権利ポリシーテンプレートについて、有効期限を確認します。

期限切れまたは期限切れが近い NFP 権利ポリシーテンプレートを検出した場合は、次のメッセージを表示します。



保護されたファイルをアプリケーションで開いた際におこなわれる NFP 権利ポリシーテンプレートの確認では、このファイルの保護に使用した NFP 権利ポリシーテンプレートについて、有効期限を確認します。NFP 権利ポリシーテンプレートの期限切れが近い場合は、次のメッセージを表示します。

- \* 保護に使用したNFP権利ポリシーテンプレートによって、メッセージ内容が一部異なります。


サーバー認証版の  
NFP権利ポリシーテンプレートの場合




鍵配布版の  
NFP権利ポリシーテンプレートの場合



- \* 鍵配布版のNFP権利ポリシーテンプレートの場合、メッセージをクリックすると、クライアント設定の「権利ポリシーテンプレート設定」画面が表示されます。  
NFP 権利ポリシーテンプレートのリストに表示されるアイコンや、詳細設定から、有効期限を確認してください。


 権利ポリシーテンプレート設定については、「3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定」および「3.6.5.12 詳細表示」を参照してください。


- \* 有効期限を確認するために、「NFP 権利ポリシー確認ツール」を使用することもできます。

 「NFP 権利ポリシー確認ツール」については、「4.1 NFP 権利ポリシー確認ツールについて」を参照してください。

- \* FileShell サーバーからのポリシー配信を利用して運用している環境で、有効期限切れが近い、または有効期限が切れている旨のメッセージが表示された場合は、FileShell 管理者に有効期限の延長を要求してください。

- \* FileShell サーバーを利用しないで運用している環境で、有効期限切れが近い、または有効期限が切れている旨のメッセージが表示された場合は、FileShell 管理者に有効期限を更新した NFP 権利ポリシーファイルを要求してください。ファイルを手に入れた後、更新された NFP 権利ポリシーファイルをインポートしてください。

 有効期限を更新した NFP 権利ポリシーファイルの要求を公開鍵を使用しておこなう場合は、「3.6.5.4 公開鍵の作成」を参照してください。

 NFP 権利ポリシーファイルのインポートについては、「3.6.5.5 インポート (パスワード認証)」または「3.6.5.6 インポート (公開鍵認証)」を参照してください。

## 4.1 NFP 権利ポリシー確認ツールについて

「NFP 権利ポリシー確認ツール」は、FileShell クライアントにインポートされている NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限を確認するためのツールです。

本ツールは、コマンドプロンプトで動作します。

- \* 本ツールは、次の状態の NFP 権利ポリシーテンプレートの有無を検出します。
  - ・ 有効期限まで 7 日未満
  - ・ 有効期限を超過している
- \* 有効期限はクライアント設定ツールの表示設定の通知設定で変更可能です。  
(通知画面の設定の変更方法については、「3.6.13.1 通知設定画面」を参照してください。)
- \* 確認の対象となる NFP 権利ポリシーテンプレートは、本ツールを実行したユーザーが使用可能な NFP 権利ポリシーテンプレートのみです。
- \* 「未変換」の NFP 権利ポリシーテンプレートは、確認の対象外です。



未変換の NFP 権利ポリシーテンプレートについては、「3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定」を参照してください。



### Operation

1. コマンドプロンプトを起動します。
2. FileShell クライアントのインストールフォルダーをカレントディレクトリにします。
  - \* 本ツールは、FileShell クライアントのインストールフォルダーにインストールされます。  
デフォルトでは、“C:\Program Files\NEC\InfoCage\FileShell”です。

3. 以下のコマンドを実行します。  
また、目的に応じて、オプションを指定してください。

> IcfNFPPolicyTool.exe <オプション>

- \* オプションを指定する場合、“IcfNFPPolicyTool.exe”とオプションの間に半角スペースを入れてください。
- \* オプションに「/detail」と「/dialog」を同時に指定した場合は、「/dialog」が指定されたものとして動作します。
- \* オプションの指定なしの場合、メッセージは表示されません。確認結果を戻り値で返します。
- \* オプションの指定あり/なしに関わらず、コマンドの実行後に下記の戻り値を返します。
  - ・ 検出対象の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在する場合： 1
  - ・ 検出対象の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在しない場合： 0

オプション	内容
/detail	<p>検出対象の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在する場合のみ、権利ポリシーテンプレート管理画面を表示します。 詳細は、表示された画面で確認してください。</p> <p> 権利ポリシーテンプレート管理画面については、「3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定」を参照してください。</p>
/detail /always	<p>検出対象の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在しない場合でも、権利ポリシーテンプレート管理画面を表示します。 詳細は、表示された画面で確認してください。</p> <p> 権利ポリシーテンプレート管理画面については、「3.6.5 権利ポリシーテンプレート設定」を参照してください。</p>
/dialog	<p>検出対象の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在する場合のみ、メッセージを表示します。</p> <p>* メッセージの内容は、次のとおりです。 「有効期限が 7 日以内、またはすでに切れている権利ポリシーテンプレートがあります。」</p>
/dialog /always	<p>NFP 権利ポリシーテンプレートの確認結果に応じてメッセージを表示します。</p> <p>* メッセージの内容は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検出対象の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在する場合: ※「/dialog」を指定した場合と同じメッセージが表示されます。</li> <li>検出対象の NFP 権利ポリシーテンプレートが存在しない場合: 「有効期限が 7 日以内、またはすでに切れている権利ポリシーテンプレートはありません。」</li> </ul>

以上で、NFP 権利ポリシーテンプレートの有効期限の確認は、終了です。

InfoCage FileShell Version 6.3  
NEC File Protection Edition 利用ガイド

NEC ソリューションイノベータ株式会社  
東京都江東区新木場一丁目 18 番 7 号  
TEL(03)5534-2222 (代)

Copyright© NEC Solution Innovators, Ltd. 2021-2023.

NEC ソリューションイノベータ株式会社の許可なく複製・改変等を行うことはできません。